



**BMW
MOTORRAD**

RIDER'S MANUAL

S 1000 RR



MAKE LIFE A RIDE

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

電話番号

ディーラー所在地／電話(スタンプ)

BMWの世界へようこそ。

BMW Motorradをご購入いただき、ありがとうございます。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorradのライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された新規車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。

また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備とお手入れに関する情報が掲載されています。

将来、もしご使用のBMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。本書は、本車両にとって重要な構成部品のひとつです。

BMWと共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad.

01 一般的な情報	2	04 取扱方法	46
全体図	4	イグニッションスイッチ	
記号と意味	4	／ステアリングロック	48
装備	5	イグニッションキルス	
仕様(諸元)	5	イッチ	50
本書の記述について	6	照明	50
補足情報	6	ダイナミックトラクショ	
認証および運転許可	6	ンコントロール(DTC)	53
データ保存	6	走行モード	54
		クルーズコントロール	55
02 全体図	12	発進アシスト	58
左側面	14	シフトポイント用フラッ	
右側面	16	シュ	61
フロントシートの下	17	盗難警報装置(DWA)	61
左コンビネーションス		グリップヒーター	63
イッチ	18	オンボードコンピュー	
右コンビネーションス		ター	64
イッチ	19	フロントおよびリヤシー	
メーターパネル	20	ト	64
03 表示	22	05 TFT ディスプレイ	68
インジケーター／警告灯	24	一般的な情報	70
TFT ディスプレイ		原理	71
(Pure Ride 画面)	25	Pure Ride 画面	77
TFT ディスプレイ(メ		一般的な設定	78
ニュー画面)	26	Bluetooth	79
警告表示	27	My Motorcycle	82
		ナビゲーション	85
		メディア	87
		電話	88
		ソフトウェアバージョン	
		を表示する	88
		ライセンス情報を表示す	
		る	88

06 調整	90	サーキット走行用サスペンション調整	141
ミラー	92	ミラーを脱着する	142
ヘッドライト	92	ライセンスプレートベースを脱着する	145
ブレーキ	92	M Cover Kit	150
クラッチ	93	ABSをレースサーキット走行時にオフにする	152
フットレスト	94	逆シフトパターン	153
ステアリング	96	データ記録と2D ソフトウェア	154
スプリングプリロード	97		
ショックアブソーバー	101		
スイングアーム	104		
車高	107		
D/C キャリブレーション	108		
<hr/>		09 技術情報	156
07 走行	110	一般的な情報	158
安全に関する注意事項	112	アンチロックブレーキシステム (ABS)	158
定期点検	115	ダイナミックダンピングコントロール(D/C)	161
始動	116	ダイナミックトラクションコントロール (DTC)	162
慣らし走行	118	走行モード	163
ギヤチェンジ	119	Dynamic Brake Control	165
ブレーキ	121	シフトアシスト	166
駐車	123	ヒルスタートアシスト (Hill Start Control)	167
給油	123		
モーターサイクルを搬送用に固定します	126		
<hr/>		10 メインテナンス	170
08 レースサーキットで	128	一般的な情報	172
サーキット走行用表示	130	ツールキット	172
LAPTIMER	133	フロントホイールスタンド	173
サーキット走行用車両設定	134	リヤホイールスタンド	174
RACE PRO 走行モード	135	エンジンオイル	175
Launch Control	136	ブレーキシステム	176
Pit Lane Limiter	138	クラッチ	180
D/C	139		

クーラント	182	クーラント	230
タイヤ	183	エンジン	230
ホイールリム	184	クラッチ	230
ホイール	184	ギヤボックス	231
チェーン	192	リヤホイールドライブ	231
ライトバルブ	195	フレーム	231
トリム部品	195	サスペンション	232
ジャンプスタート	199	ブレーキ	233
バッテリー	200	ホイールとタイヤ	234
ヒューズ	203	電装系	235
診断コネクタ	205	盗難警報装置	236
		寸法	236
		重量	237
		性能	238
11 アクセサリー	208		
一般的な情報	210		
アクセサリ用コネクタ	210	14 サービス	240
USB 充電ポート	212	リサイクリング	242
		BMW Motorrad サービス	243
		BMW Motorrad サービス履歴	244
12 お手入れ	214	BMW Motorrad モバイルサービス	244
ケア用品	216	メンテナンス作業	244
洗車	216	BMW サービス	244
損傷しやすい車両部品の		メンテナンススケ	
お手入れ	217	ジュール	246
ペイントのお手入れ	218	メンテナンスの確認	247
保護コーティング	219	一般整備記録	259
長期保管	219		
モーターサイクルの再使用	219		
		付録	262
13 テクニカルデータ	220	電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー)に関する認証	263
トラブルシューティング	222	TFT メーターパネル用認証	266
ねじ止め部	225		
燃料	229		
エンジンオイル	229		

一般的な情報

01


全体図	4
記号と意味	4
装備	5
仕様(諸元)	5
本書の記述について	6
補足情報	6
認証および運転許可	6
データ保存	6


4 一般的な情報


全体図


本書の第2章には、ご使用になれるモーターサイクルの全体図があります。「サービス」の章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。Rider's Manualは、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用のBMWモーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。


記号と意味

 **注意** リスクレベルの低い危険にさらされます。回避しないことにより、軽度または中程度の怪我や損傷に至るおそれがあります。

 **警告** リスクレベルが中程度の危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至るおそれがあります。

 **危険** リスクレベルの高い危険にさらされます。回避しないことにより、死亡または重傷を負ったり、重度の損傷に至ります。

 **重要事項** 特別な注意事項および予防処置。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。

 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。

- 作業内容の指示を示します。
- » 作業の結果を示します。
- ➡ 説明のある参照ページを示します。

◁ アクセサリーや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様(諸元)。

LA 国別仕様。

OE オプション装備
BMW Motorrad オプション装備は、モーターサイクルの製造時に工場で装着されます。

OA	アクセサリー BMW Motorrad アクセサ リーのご購入および 取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディー ラーにて承ります。
ABS	アンチロックブレーキ システム。
DDC	ダイナミックダンピン グコントロール。
DTC	ダイナミックトラク ションコントロール。
DWA	盗難警報装置(DWA)。
EWS	電子式イモビライ ザー。
RDC	タイヤ空気圧コント ロール。

装備

BMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれお選びいただいたご希望の装備が装着されたモデルとなっています。本書では、BMW がご用意しているオプション(OE) および選択したアクセサリー(OA) について説明しています。そのため、ご使用のモーターサイクルには装着されていない装備についての説明が含まれている場合がございますことをご了承ください。同様に、国別の仕様により、図示されているモー

ターサイクルと異なる場合があります。ご使用のモーターサイクルに、本書に記載されていない装備が含まれている場合には、別途ある個別の説明書の記載をご参照ください。

仕様(諸元)

本書に掲載されている寸法、重量、性能に関する情報はすべて、DIN (ドイツ工業規格) およびその許容差規定に基づいて表記されています。

本取扱説明書のテクニカルデータと仕様は基準として参照してください。選択されたオプション装備、国別仕様または各国の測定方法などの理由により、モデル別のデータは本書と異なることがあります。詳細データについては自動車登録証でご確認いただけます。あるいは、BMW Motorrad ディーラー、その他の認定サービスパートナー、または専門の整備工場にお問い合わせください。車検証のデータが常にこの取扱説明書のデータより優先されます。

6 一般的な情報

本書の記述について

BMW Motorrad の高い安全性および品質は、デザイン、装備、アクセサリーに関する絶え間ない開発によって支えられています。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

補足情報

BMW Motorrad ディーラー

BMW Motorrad ディーラーはいつでもご質問にお答えします。

インターネット

車両の Rider's Manual、アクセサリーの操作および取付説明書、技術関連情報など、BMW Motorrad に関する一般的な情報については、bmw-motorrad.com/manuals をご覧ください。

認証および運転許可

車両の認証およびアクセサリーに関する官庁の使用許可については、bmw-motorrad.com/certification でご確認くださいませ。

データ保存

全般

車両にはコントロールユニットが取り付けられています。コントロールユニットは、データを車両センサーから受信したり、自身で生成または交換するなどの処理を行います。いくつかのコントロールユニットは車両の安全機能に必須であったり、ドライビングアシスタントシステムなどのように走行をサポートしたりします。さらにコントロールユニットはコンフォート機能やインフォテイメント機能を可能にします。

保存または転送されたデータの取り扱いに関する情報は、車両メーカーの個別カタログなどで得ることができます。

個人特定

各車両には一義的な車両識別番号が付けられています。国に応じて、車両識別番号、ライセンスナンバープレートおよび該当官庁により車両所有者を特定することができます。さらに、使用

した ConnectedDrive ユーザーアカウントなどにより車両で集められたデータによってもドライバーや車両所有者を特定することができます。

データ保護法

車両使用者は有効なデータ保護法にしたがい、メーカーや個人データを収集または処理する企業に対して特定の権利を有します。

車両使用者は、車両使用者の個人データを保存する機関に対して無償および包括的な情報開示請求権を有します。

この機関とは次のようなものがあります：

- 車両メーカー
- 認定サービスパートナー
- 専門の整備工場
- サービスプロバイダー

車両使用者はどの個人情報もが保存され、どのような目的でそのデータが利用され、どこに由来するのか、についての情報を請求することができます。これらの情報を請求するには、所有または使用証明が必要です。

情報開示請求は他の企業や機関に転送されたデータに関する情報も含みます。

車両メーカーのウェブページには、有効なデータ保護に関する注意事項が記載されています。このデータ保護に関する注意事

項には、データの削除や訂正を行う権利についての情報も含まれます。車両メーカーはインターネットでも、連絡先データやデータ保護委託会社の問い合わせ先を記載しています。

車両所有者はBMW Motorrad デイラーまたはその他の認定サービスパートナー、専門の整備工場において車両に保存されたデータを有償で読み出すことができます。

車両データの読み出しは、法的に定められた車載コンピューター診断装置(OBD) 用ソケットから行います。

データ開示請求のための法的要件

車両メーカーは有効な法の範囲内で、保存されているデータを官庁に提供する義務があります。必要範囲のデータ提供は、犯罪証明など個別のケースで行われます。

国の機関は有効な法の範囲内で、個別のケースにおいてその機関でデータを車両から読み出す権利を有します。

車両の作動データ

車両を作動させる際、コントロールユニットがデータを処理します。

例えば以下が含まれます：

8 一般的な情報

- ホイール回転数やホイール速度、動作遅延などの車両や個別コンポーネントのステータスメッセージ
- 温度などの環境状況

処理データは車内でのみ処理され、通常は揮発性データです。このデータは作動時間外にはメモリーされません。

コントロールユニットなどの電子部品は、技術情報を保存するためのコンポーネントを含みます。これは車両状態や部品への負荷、イベント、エラーに関する情報を一時的または長期的にメモリーすることができます。

これらの情報は一般に、以下のようなコンポーネント、モジュール、システム、および環境の状態を示すものです：

- システムコンポーネントの作動状態、例えば充填レベル、タイヤ空気圧など。
- 重要なシステムコンポーネントの機能異常、故障、例えばライトおよびブレーキ
- 特別な走行状況での車両の反応、例えばドライビングスタビリティコントロールの作動
- 車両損傷の状況に関する情報

これらのデータはコントロールユニット機能の実行に必要なです。さらにこれらのデータは機能不良の検出と解消、車両メー

カーによる車両機能の最適化に使用されます。

これらのデータの大部分は揮発性であり、車両自体でのみ処理されます。一部のデータのみ、状況に応じてイベントまたはディフェクトメモリーに保存されません。

例えば修理作業、サービスプロセス、保証、品質保証などでサービス業務が要求される場合、車両からこれらの技術的な情報と車両識別番号を読み出すことができます。

情報の読出しはBMW Motorradディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場で行うことができます。読出しには、法律で規定された車載コンピューター診断装置(OBD)用ソケットを使用します。

データはサービスネットワークの各拠点で集計、処理、利用されます。このデータは車両の技術的な状態を記録し、故障の発見や補償義務および品質改善の遵守のために使用されます。

さらにメーカーは製造物責任法により製品監視義務を担っています。この義務を果たすために、車両メーカーは車両からの技術的なデータを必要とします。これに加えて、車両からのデータは顧客からの補償および保証要求の検査にも使用されます。

車両のエラーおよびイベントメモリーは、BMW Motorrad ディーラーまたはその他の認定サービスパートナーあるいは専門の整備工場において修理またはサービス作業の範囲でリセットすることができます。

データ入力と車両へのデータ転送

全般

装備に応じて、コンフォート設定および個人設定を車両にメモリーし、いつでも変更することができます。

例えば以下が含まれます：

- サスペンション設定

例えばスマートフォンを介して、データを車両のエンターテイメントおよび通信システムに送信することができます。

これは装備に応じて異なります：

- 再生用音楽などのマルチメディアデータ

- ナビゲーションシステムまたは内蔵のナビゲーションシステムと接続して利用されるアドレス帳データ

- 入力された目的地

- インターネットサービスの利用に関するデータ。これらのデータは車両にローカルでメモリーすることができます。あるいはスマートフォン、USB メモリー、MP3 プレーヤーなど、車両と接

続された機器に入っています。これらのデータを車両にメモリーした場合は、いつでも削除することができます。

これらのデータを第三者へ転送することは、オンラインサービスの利用の枠組みにおいて個人の希望に基づいてのみ行われます。これはサービス利用時の希望設定によって異なります。

モバイル端末機器の接続

装備に応じて、スマートフォンなど、車両と接続されたモバイル端末機器を車両の操作エレメントにより制御することができます。

その場合、モバイル端末機器の画像と音声をマルチメディアシステムを介して出力することができます。同時に、モバイル端末機器に特定の情報が伝送されます。接続方式によって、位置データとその他の一般車両情報などがこれに含まれます。これにより、ナビゲーションや音楽再生など、選択したアプリを最適に利用することができます。

その他のデータ処理の方式は、使用される各アプリのプロバイダーによって規定されます。可能な設定の範囲は、各アプリとモバイル端末機器のオペレーティングシステムにより異なります。

10 一般的な情報

サービス

全般

車両が無線ネットワークを使用する場合、車両とその他のシステム間でのデータ交換が可能となります。無線ネットワークは、車両固有の送受信ユニットにより、または個人的に使用するスマートフォンなどのモバイル端末機器を介して実現されます。この無線ネットワークを介していわゆるオンライン機能を利用することができます。これには、車両メーカーまたは他のプロバイダーによって提供されるオンラインサービスやアプリが含まれます。

自動車メーカーのサービス

自動車メーカーのオンラインサービスの場合、各機能の説明は取扱説明書やメーカーのウェブページなど適切な箇所にあります。そこには、関連するデータ保護法の情報も記載されています。オンラインサービスを利用する際には、個人に関するデータが使用されることがあります。データ交換は、例えば車両メーカーの専用 IT システムとの安全な接続を介して行われます。サービス提供の範囲を超える個人データの収集、処理、利用は、法律による許可、契約による取決め、または同意に基づいてのみ行われます。また、全てのデータ接続をオンまたはオフにすること

もできます。法で定められた機能については除外されます。

他のプロバイダーのサービス

他のプロバイダーのオンラインサービスを利用する場合、これらのサービスは該当するプロバイダーの責任ならびにデータ保護および利用条件に従うこととなります。その際に交換される内容に対し、車両メーカーは何ら影響を与えません。第三者のサービス範囲における個人データの収集および処理の方法、範囲、目的についての情報は、該当するサービスプロバイダーにお問い合わせください。

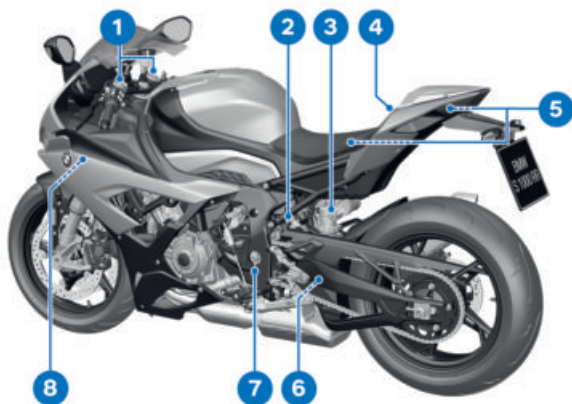
全体図

02

左側面	14
右側面	16
フロントシートの下	17
左コンビネーションスイッチ	18
右コンビネーションスイッチ	19
メーターパネル	20

14 全体図

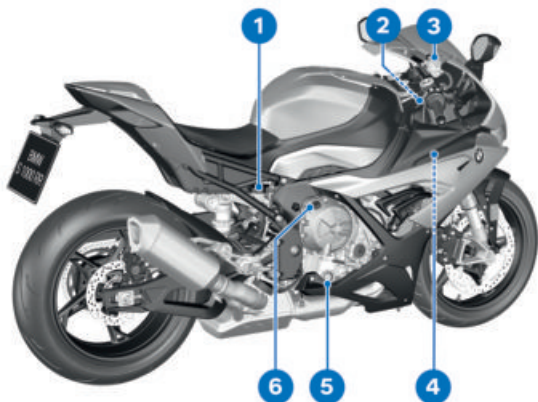
左側面



- 1 フロントホイールのリバウンドダンピング (▶▶▶ 102)
フロントホイールのスプリングプリロード (▶▶▶ 97)
フロントホイールのコンプレッションダンピング (▶▶▶ 101)
- 2 車高をプッシュストラットで調整する (▶▶▶ 107)
- 3 リヤホイールのコンプレッションダンピング (▶▶▶ 102)
リヤホイールのスプリングプリロード (▶▶▶ 98)
-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 100)。
- 4 リヤセクションカバーのロック (▶▶▶ 64)
- 5 タイヤ空気圧表
積載荷重一覧
チェーン調整値
- 6 リヤホイールのリバウンドダンピング (▶▶▶ 103)

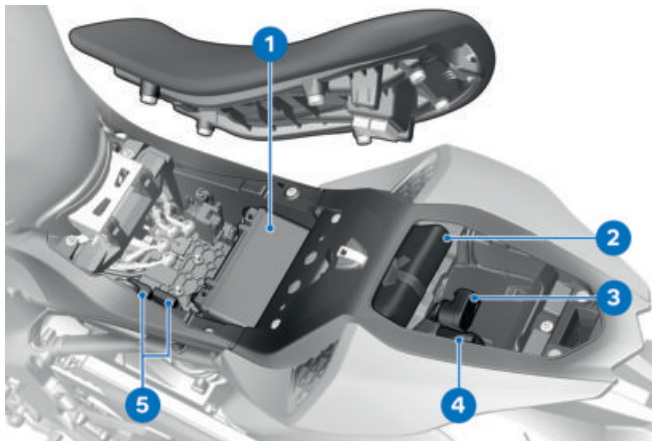
16 全体図

右側面



- 1 リヤブレーキフルードリザーバータンク (☞ 179)
- 2 車両識別番号(ステアリングヘッドベアリングのところ)
型式プレート(ステアリングヘッドベアリングのところ)
- 3 フロントブレーキフルードリザーバータンク (☞ 178)
- 4 クーラントリザーバータンク (☞ 182)
- 5 エンジンオイルレベル表示 (☞ 175)
- 6 オイル注入口 (☞ 176)

フロントシートの下



- 1 バッテリー (⇒ 200)
- 2 ツールキット (⇒ 172)
- 3 USB 充電ポート (⇒ 212)
- 4 診断コネクタ (⇒ 205)
- 5 ヒューズ (⇒ 203)

18 全体図

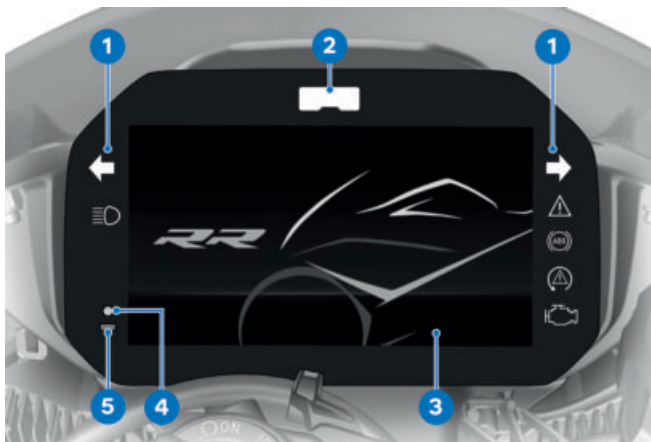
左コンビネーションスイッチ



- 1 DTC を OFF にする (▶▶▶ 53)
- 2 ハイビームとパッシングライト (▶▶▶ 51)
- 3 クルーズコントロール (▶▶▶ 56)
- 4 ハザードランプ (▶▶▶ 52)
- 5 DTC を調整する (▶▶▶ 139)
- 6 ウインカー (▶▶▶ 52)
- 7 ホーン
- 8 Multi-Controller 操作エレメント (▶▶▶ 71)
- 9 MENU ロックスイッチ (▶▶▶ 71)

20 全体図

メーターパネル



- 1 インジケーター／警告灯 (☞ 24)
- 2 シフトポイント用フラッシュ (☞ 120)
- 3 TFT ディスプレイ (☞ 25)
- 4 DWA 発光ダイオード(LED) (☞ 62)
- 5 フォトダイオード(メーターパネルライトの明るさの調整用)

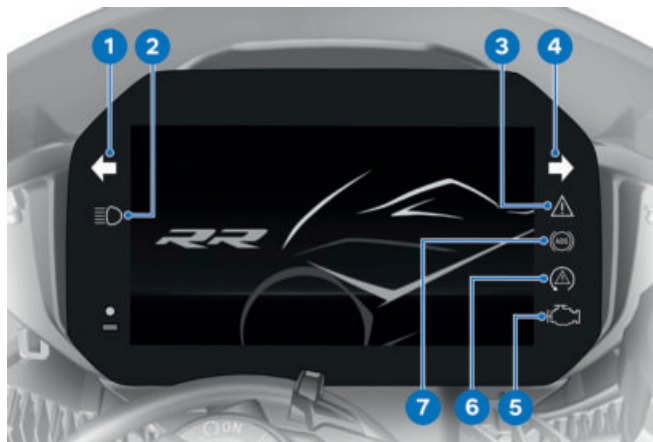
表示

03

インジケーター／警告灯	24
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)	25
TFT ディスプレイ(メニュー画面)	26
警告表示	27

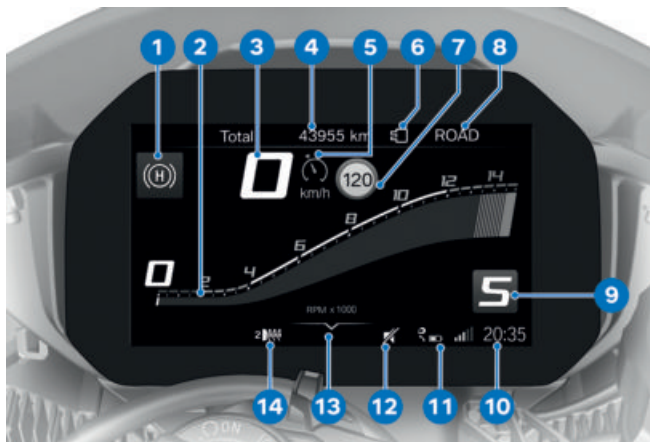
24 表示

インジケーター／警告灯



- 1 左側ウインカー (▶▶▶▶ 52)
- 2 ハイビーム (▶▶▶▶ 51)
- 3 ジェネラル警告灯 (▶▶▶▶ 27)
- 4 右側ウインカー (▶▶▶▶ 52)
- 5 駆動システム故障警告灯 (▶▶▶▶ 36)
- 6 DTC (▶▶▶▶ 40)
- 7 ABS (▶▶▶▶ 152)

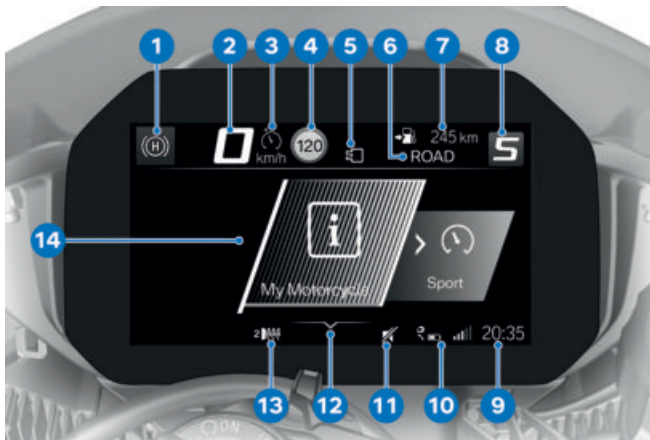
TFT ディスプレイ(PURE RIDE 画面)



- | | |
|--|--|
| 1 Hill Start Control (▶▶▶▶ 43) | 9 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング)が表示されます。 |
| 2 エンジン回転数表示 (▶▶▶▶ 77) | 10 時計 (▶▶▶▶ 78) |
| 3 スピードメーター | 11 接続ステータス (▶▶▶▶ 80) |
| 4 上側ステータスバー (▶▶▶▶ 75) | 12 ミュートスイッチ (▶▶▶▶ 78) |
| 5 クルーズコントロール (▶▶▶▶ 56) | 13 操作サポート |
| 6 走行モード RACE PRO (▶▶▶▶ 135) | 14 グリップヒーターレベル (▶▶▶▶ 63) |
| 7 制限速度情報 (▶▶▶▶ 76)
DTC を調整する (▶▶▶▶ 139) | |
| 8 走行モード (▶▶▶▶ 54) | |

26 表示

TFT ディスプレイ(メニュー画面)



- | | |
|--|--------------------------|
| 1 Hill Start Control (▶▶▶▶ 43) | 9 時計 (▶▶▶▶ 78) |
| 2 スピードメーター | 10 接続ステータス (▶▶▶▶ 80) |
| 3 クルーズコントロール (▶▶▶▶ 56) | 11 ミュートスイッチ (▶▶▶▶ 78) |
| 4 制限速度情報 (▶▶▶▶ 76)
DTC を調整する (▶▶▶▶ 139) | 12 操作サポート |
| 5 走行モード RACE PRO (▶▶▶▶ 135) | 13 グリップヒーターレベル (▶▶▶▶ 63) |
| 6 走行モード (▶▶▶▶ 54) | 14 メニューエリア |
| 7 上側ステータスバー (▶▶▶▶ 75) | |
| 8 ギヤインジケーター、ニュートラル位置で「N」(アイドリング)が表示されません。 | |

警告表示

表示

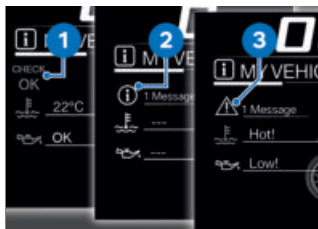
警告は対応する警告灯により表示されます。

警告はジェネラル警告灯と TFT ディスプレイのダイアログ画面の組み合わせで表示されます。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が黄または赤に点灯します。



ジェネラル警告灯が、警告の緊急度に応じて表示されます。

以降のページに警告表示の一覧があります。

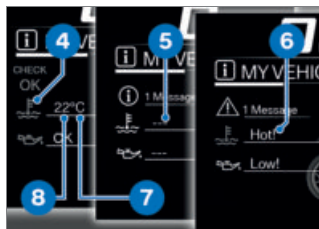


チェックコントロール表示

ディスプレイのメッセージには複数の異なる表示方法があります。優先度に応じて異なる色と記号が使用されます：

- 緑色の CHECK OK **1**：メッセージなし、値は最適。
- 白い円と小さな「i」 **2**：情報。
- 黄色の三角表示 **3**：警告メッセージ、値が最適でない。

- 赤色の三角表示 **3**：警告メッセージ、値が限界域



値の表示

アイコン **4** には複数の異なる表示方法があります。評価に応じて異なる色が使用されます。数値 **8** と単位 **7** の代わりに、テキスト **6** も表示されます：

アイコンの色

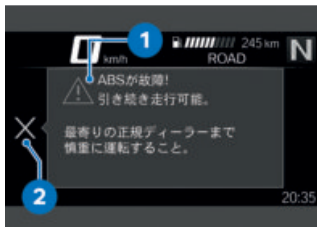
- 緑：(OK) 現在の値は最適。
- 青：(冷たい！) 現在の温度は低すぎる。
- 黄：(低い！ / 高い！) 現在の値は低すぎるか高すぎる。
- 赤：(熱い！ / 高い！) 現在の温度または値は高すぎる。
- 白：(---) 有効な値がない。値の代わりに線 **5** が表示されます。



個々の値の評価の一部は、一定の走行時間または速度を超えて初めて可能になります。測定条件が満たされていないために測定値が表示可能になっていない場合は、値の代わりにプレースホルダーとして線が

28 表示

表示されます。有効な測定値がない間は、色付きアイコンの形式での評価も行われません。



チェックコントロールダイアログ画面

メッセージはチェックコントロールダイアログ画面 **1** として通知されます。

- 同じ優先度のチェックコントロールメッセージが複数ある場合、メッセージは発生した順序で切り替わりながら、了承確認するまで表示され続けます。
- アイコン **2** が有効表示されている場合、マルチコントローラーを左に傾けて了承確認することができます。
- チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のページに追加タブとして付加されます (▶▶ 73)。故障が存在している間は、メッセージを再度呼び出すことができます。

警告表示一覧

インジケーター／ディスプレイテキスト

意味

警告灯

		が黄色で表示されま す。	車両電装システ ム電圧が低すぎ る (▶▶▶ 33)	
			バッテリー電圧！	
	黄色で点灯 する。		が黄色で表示されま す。	車両電装システ ム電圧が限界 値 (▶▶▶ 33)
			バッテリー電圧が低 下している！	
	点滅します (黄)。		が黄色で表示されま す。	充電電圧が限界 値 (▶▶▶ 33)
			バッテリー電圧が限 界値！	
	黄色で点灯 する。		故障したライトバル ブが表示されます。	ライトバルブの故 障 (▶▶▶ 34)
	黄色で点灯 する。		ライトコントロール が故障！	ライトコントロー ルの故障 (▶▶▶ 35)
			DWA バッテリーが弱 い。	DWA バッテリ ーが弱ってい る (▶▶▶ 35)
			盗難防止用バッテ リーが放電状態。	DWA バッテリー が空になってい る (▶▶▶ 35)
			DWA が故障。	DWA が故障してい る (▶▶▶ 36)
	黄色で点灯 する。		クーラント温度が高 すぎる！	クーラント温度が 高すぎる (▶▶▶ 36)
	点灯しま す。		エンジン！	駆動システムの故 障 (▶▶▶ 36)

30 表示

インジケーター／ 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	駆動システムの重大な故障 (▶▶▶ 37)
 点滅します。		
 黄色で点灯する。	 エンジン制御の通信がない。	エンジンコントロール機能停止 (▶▶▶ 37)
 点灯します。		
 黄色で点灯する。	 エンジン制御内に故障。	エンジンがエマージェンシーモードになっている (▶▶▶ 37)
 赤色で点滅する。	 エンジン制御内に深刻な故障！	エンジン制御の重度の故障 (▶▶▶ 38)
	 転倒検知センサーが故障	転倒検知センサーが故障している (▶▶▶ 38)
	 エンジンを始動できない。	車両の転倒 (▶▶▶ 38)
 黄色で点灯する。	 サイドスタンドモニターが故障。	サイドスタンドモニター故障 (▶▶▶ 39)
 点滅します。		ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 39)
 点灯します。	 Off!	ABS が OFF になっている (▶▶▶ 39)
	 ABS は OFF の状態。	
 黄色で点灯する。	 ABS は制限付きで使用可能！	ABS の故障 (▶▶▶ 39)

インジケーター／ディスプレイテキスト 警告灯

意味

 点灯します。		ABS の故障 (▶▶▶▶ 39)
 黄色で点灯する。	 ABS が故障！	ABS 機能停止 (▶▶▶▶ 40)
 点灯します。		
 黄色で点灯する。	 ABS Pro が故障！	ABS Pro 機能停止 (▶▶▶▶ 40)
 点灯します。		
 素早く点滅します。		DTC 介入 (▶▶▶▶ 40)
 ゆっくりと点滅します。		DTC 自己診断が終了していない (▶▶▶▶ 40)
 点灯します。	 Off!	DTC が OFF になっている (▶▶▶▶ 41)
	 駆動制御はOFFの状態。	
 黄色で点灯する。	 駆動制御が故障！	DTC の故障 (▶▶▶▶ 41)
 点灯します。		
 黄色で点灯する。	 駆動制御の機能を制限している！	DTC の使用に制限 (▶▶▶▶ 42)
 点灯します。		
 黄色で点灯する。	 サスペンション調整が不具合！	DDC 故障 (▶▶▶▶ 42)

32 表示

インジケーター／ 警告灯	ディスプレイテキスト	意味
	タンクリザーブ容量に達した。	フューエルリザーブ容量に達している (▶▶▶ 42)
	が緑で表示されま す。	Hill Start Control オン (▶▶▶ 43)
	点滅します(黄)。	Hill Start Control は自動でオフ (▶▶▶ 43)
	が表示されます。	Hill Start Control 作動不可 (▶▶▶ 43)
	シフト表示が点滅し ます。	ギア未学習 (▶▶▶ 43)
	緑色で点滅 します。	ハザードランプは ON の状態です (▶▶▶ 44)
	緑色で点滅 します。	
シフトポイント用 フラッシュ が点灯または点滅し ます。	L-Con 使用不可。ク ラッチが熱すぎる。	ローンチコントロールが使用できない状態になっていない (▶▶▶ 44)
	が白で表示されま す。	サービス期限 (▶▶▶ 45)
	サービス実施時期！	
	黄色で点灯 する。	
	が黄色で表示されま す。	サービス時期を過ぎている (▶▶▶ 45)
	サービス時期超過！	

車両電装システム電圧が低すぎる



が黄色で表示されます。



バッテリー電圧！ 不要な電力消費機器をOFFにする。

車両電装システム電圧が低すぎます。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど)が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

- 不要な電装品をOFFにするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早くBMW Motorrad ディーラー(最善)または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

車両電装システム電圧が限界値



黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。



バッテリー電圧が低下している！ 電力消費機器

がOFFになった。バッテリーを点検すること。



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

- 走行を続けしないでください。

車両電装システム電圧が限界値です。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。

考えられる原因:

電流消費量の大きい電装品(ヒーター機能付きベストなど)が使用されている、多くの電装品が同時に使用されている、またはバッテリーの故障。

- 不要な電装品をOFFにするか、車両電装システムから外してください。
- 不具合がまだ生じるか、接続されている電装品がなくても発生する場合には、できる限り早くBMW Motorrad ディーラー(最善)または専門の整備工場に故障の修理を依頼してください。

充電電圧が限界値




点滅します(黄)。



が黄色で表示されます。

34 表示

 バッテリー電圧が限界値！
事故の危険があるため走行を続けられないこと。



警告

車両システムの機能停止

事故の危険

・走行を続けしないでください。


バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両エレクトロニクスがバッテリーを放電させます。


考えられる原因:


オルタネーターの故障またはオルタネータードライブの故障、バッテリーの故障またはヒューズの熔断。


・BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。


ライトバルブの故障


 黄色で点灯する。


 故障したライトバルブが表示されます:


 ハイビームが故障!


 左フロントウインカーが故障! または右フロントウインカーが故障!


 ロービームが故障!

 フロントポジションが故障!

 テールライトが故障!

 ブレーキライトが故障!

 左リヤウインカーが故障! または右リヤウインカーが故障!

 ライセンスプレートライトが故障!

-正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

**車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし
安全に関わる危険**

・故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

考えられる原因:

一つ以上の照明手段が故障している。

・目視点検で故障している照明手段を特定します。

・LED 照明手段を一式交換してください。そのためには専門の整備工場に、できれ

ばBMW Motorradディーラーにお問い合わせください。

考えられる原因:

コネクタを外します。

- 分離されたコネクタを見つけます。
- 分離されたコネクタを接続します。

ライトコントロールの故障



黄色で点灯する。



ライトコントロールが故障! 正規ディーラーに点検を依頼すること。



警告

市街地走行中にモーターサイクルが車両照明の故障によって見過ごされる

安全に関わる危険

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

ライトコントロールが通信エラーを診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DWA バッテリーが弱っている

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



DWA バッテリーが弱い。制約なし。正規ディーラーへ予約を入れること。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電されていません。DWA の機能が保証されるのは、バッテリーのターミナルを外している場合、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備



盗難防止用バッテリーが放電状態。独自のアラームなし。正規ディーラーへ予約を入れること。



このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。


考えられる原因:

DWA バッテリーが充電されていません。DWA の機能は、バッテリーのターミナルを外している場合、保証されません。

36 表示

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA が故障している


 DWA が故障。正規ディーラーに点検を依頼すること。


考えられる原因:

DWA コントロールユニットで通信エラーが診断により検出されました。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。
- » DWA が ON にならない、または OFF にならなくなっている。
- » 誤警報の可能性ががあります。

クーラント温度が高すぎる

 黄色で点灯する。

 クーラント温度が高すぎる！ クーラントレベルを点検。荷重を下げて走行し冷却すること。

重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。


- クーラントレベルを点検する (▶▶ 182)。
- クーラントレベルが低すぎる場合：
 - エンジンを冷まします。
 - クーラントを補充します (▶▶ 182)。
 - 専門の整備工場で冷却システムの点検を受けてください。BMW Motorrad パートナーが最も信頼できます。


考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。
- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

駆動システムの故障

 点灯します。

 エンジン！ 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、有害物質の排出に影響を及ぼしたり、出力を低減させたりする故障を診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続行することは可能です。ただし、有害物質の排出規定値を超えています。

駆動システムの重大な故障



赤色で点滅する。



点滅します。



エンジン制御内に深刻な故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが、エキゾーストシステムの損傷に至るおそれのある故障を診断で検出しました。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。
- » 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

エンジンコントロール機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



エンジン制御の通信がない。複数のシステムが該当。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



黄色で点灯する。



エンジン制御内に故障。引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

エンジンのエマージェンシーモードにおける特殊な走行特性事故の危険

- 急激な加速や追い越しは避けてください。

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエマージェンシーモードで作動します。

38 表示

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能の発揮や回転数域に達することはできないおそれがあります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジン制御の重度の故障



赤色で点滅する。



エンジン制御内に深刻な故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。



警告

エマージェンシーモードでのエンジンの損傷

事故の危険

- 低速で走行し、急激な加速や追い越しは避けてください。
- 可能であれば車両の回収を依頼し、専門の整備工場に、出来ればBMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続行することは可能ですが、推奨されません。

- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

転倒検知センサーが故障している



転倒検知センサーが故障 正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:

転倒検知センサーが機能していません。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

車両の転倒




エンジンを始動できない。車両をまっすぐに立てる。イグニッションを OFF/ON。エンジンを始動させる。


考えられる原因:

転倒検知センサーが転倒を検知し、エンジンを停止させました。

- モーターサイクルを真っ直ぐに立て、損傷の有無を点検します。
- イグニッションを OFF にした後、再度 ON にするか、イグニッションキルスイッチを ON にし、再度 OFF にします。

サイドスタンドモニター故障

 黄色で点灯する。

 サイドスタンドモニターが故障。引き続き走行可能。静止してエンジン停止！正規ディーラーに点検を依頼すること。

考えられる原因:


サイドスタンドスイッチまたはその配線が損傷しています。5 km/h を下回るとエンジンが停止します。走行を続けることはできません。

• BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ABS 自己診断が終了していない

 点滅します。


考えられる原因:

 ABS 自己診断が終了していません


自己診断が終了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : min 5 km/h)

• ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまで ABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS が OFF になっている

 点灯します。

 Off!


 ABS は OFF の状態。


考えられる原因:


ABS システムは、ライダーにより OFF にされました。

• ABS 機能を ON にする (▶▶ 153)。

ABS の故障

 黄色で点灯する。

 点灯します。

 ABS は制限付きで使用可能！引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。パーシャリーインテグラルブレーキングおよび Dynamic Brake Control 機能が機能停止しています。ABS 機能は制限付きで使用可能です。

• 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況については、詳細情報をご確認ください (▶▶ 159)。

40 表示

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの専門の整備工場まで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況については、詳細情報をご確認ください (▶▶ 159)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS Pro 機能停止



黄色で点灯する。



点灯します。



ABS Pro が故障！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

ABS Pro 機能のモニターが不具合を検知しました。ABS Pro 機能は使用できません。ABS 機能は引き続き使用可能です。ABS は直進走行でのブレーキでのみサポートを行います。

- 走行を続行することは可能です。ABS Pro のエラーメッセージを引き起こす可能性のある特別な状況については、詳細情報をご確認ください (▶▶ 159)。
- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

DTC 介入



素早く点滅します。

DTC がリアホイールの不安定な状態が迫っていることを検知し、トルクを制限します。インジケーター/警告灯は、DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

DTC 自己診断が終了していない



ゆっくりと点滅します。

考えられる原因:



DTC 自己診断が終了して
いません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません: min 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでDTC 機能が使用できないことに注意してください。

DTC が OFF になっている



点灯します。



Off!



駆動制御はOFF の状態。

考えられる原因:

DTC システムは、ライダーによって OFF にされました。

- DTC を ON にする (▶▶▶ 53)。

DTC の故障



黄色で点灯する。



点灯します。



駆動制御が故障! 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

DTC コントロールユニットが故障を検知しました。



重要事項

コンポーネントの損傷


センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。


- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTC のエラーを引き起こす可能性のある状況については、詳細情報をご確認ください (▶▶▶ 162)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

42 表示

DTCの使用に制限

 黄色で点灯する。

 点灯します。

 駆動制御の機能を制限している！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:

DTCコントロールユニットが故障を検知しました。

重要事項


コンポーネントの損傷


センサーなどの故障、それに起因する機能不良

- ライダーまたはリアシートの下に物を搬送しないようにします。
- ツールキットをロックします。
- 角速度センサーを損傷しないようにします。
- DTC機能の使用に制限があることに注意してください。
- 走行を続行することは可能です。DTCのエラーを引き起こす可能性のある状況については、詳細情報をご確認ください (▶▶ 162)。
- できる限り早く、BMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。

DDC 故障

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

 黄色で点灯する。

 サスペンション調整が不具合！ 引き続き走行可能。最寄りの正規ディーラーまで慎重に運転すること。

考えられる原因:


DDCコントロールユニットが故障を検知しました。

- できる限り早く、BMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » この状態にあるモーターサイクルでは、ショックアブソーバーが極めて硬くなっている可能性があり、特に悪路では乗り心地が不快になります。

考えられる原因:

- DDC センサーエラーが検知された。
- できる限り早く、BMW Motorradディーラーに故障の修理を依頼してください。
- » セミアクティブ機能がオフになっている。

フューエルリザーブ容量に達している

 タンクリザーブ容量に達した。最寄りのガソリンスタンドへ。

**警告**

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止
触媒コンバーターの損傷、事故を起こす危険

- フューエルタンクを空にしないでください。

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

	フューエルリザーブ容量
約 4 l	

- 給油 (▶▶▶ 124)。

Hill Start Control オン

が緑で表示されます。

考えられる原因:

ドライバーがHill Start Control (▶▶▶ 167) を作動させました。

- Hill Start Control を OFF にします。
- Hill Start Control を操作する (▶▶▶ 58)。

Hill Start Control は自動でオフ

点滅します(黄)。

考えられる原因:

Hill Start Control は自動的にオフになりました。

- サイドスタンドが出されました。
- ▶▶▶ サイドスタンドが出されると、Hill Start Control はオフになります。
- エンジンが停止されました。
- ▶▶▶ エンジンを停止すると、Hill Start Control はオフになります。
- Hill Start Control を操作する (▶▶▶ 58)。

Hill Start Control 作動不可

が表示されます。

考えられる原因:

Hill Start Control を作動することができません。

- サイドスタンドをたたみます。
- ▶▶▶ Hill Start Control はサイドスタンドが折りたたまれた状態でのみ機能します。
- エンジンを始動させます。
- ▶▶▶ Hill Start Control はエンジンが作動した状態でのみ機能します。

ギア未学習

ギア表示が点滅します。
ギアシフトアシストPro は機能していません。

44 表示

考えられる原因:

トランスミッションセンサーの学習が完全ではありません。

- ニュートラル N に入れて、停止状態でエンジンを 10 秒以上作動させて、ニュートラルの学習を行います。

- クラッチ操作ですべてのギアに入れて、入れたギアでそれぞれ 10 秒以上走行します。

» トランスミッションセンサーの学習が正常に行われると、ギア表示の点滅が停止します。

-トランスミッションセンサーの学習が完全に行われると、ギアシフトアシスタント Pro が記載通りに機能します (▶▶ 166)。

- 学習に失敗した場合は、専門の整備工場か、可能な限り BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ハザードランプは ON の状態です



緑色で点滅します。



緑色で点滅します。

考えられる原因:

ハザードフラッシャーはライダーによって ON にされました。

- ハザードランプを操作する (▶▶ 52)。

ローンチコントロールが使用できる状態になっていない

-走行モード Pro^{OE} 装備

シフトポイント用フラッシュが点灯または点滅します。

L-Con 使用不可。クラッチが熱すぎる。

考えられる原因:

Launch Control で可能な走行開始数を上回りました。

- クラッチを冷却します。

- Launch Control を操作する (▶▶ 137)。

サービス表示



サービス時期を過ぎた場合には、日付もしくは距離表示に加えてジェネラル警告灯が黄色に点灯します。

サービス時期を過ぎた場合、チェックコントロールメッセージが黄色で表示されます。さらに、サービス、サービス時期、残余走行距離が、メニュー画面 MY MOTORCYCLE およびサービス実施時期にエクスクラメーションマーク (!) 付きで強調表示されます。



サービス期日まで 1 カ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、実際に即した日付に再度調整する必要があります。この症状は、バッテリーの接続が切られた場合に発生することがあります。

サービス期限



が白で表示されます。

サービス実施時期！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因：

走行能力または日付のため、サービスの期限が来ています。

• BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

» 車両を最善の状態で保持することが確保されます。

サービス時期を過ぎている



黄色で点灯する。



が黄色で表示されます。

サービス時期超過！ 専門の整備工場にサービスの実施を依頼すること。

考えられる原因：

走行距離または日付が原因で、サービスの期限が切れています。

• BMW Motorrad ディーラーにサービスの実施を依頼してください。

» 車両の運転および交通の安全性が保たれます。

取扱方法

04

イグニッションスイッチ／ステアリングロック	48
イグニッションキルスイッチ	50
照明	50
ダイナミックトラクションコントロール(DTC)	53
走行モード	54
クルーズコントロール	55
発進アシスト	58
シフトポイント用フラッシュ	61
盗難警報装置(DWA)	61
グリップヒーター	63
オンボードコンピューター	64
フロントおよびリヤシート	64

48 取扱方法

イグニッションスイッチ／ステアリングロック

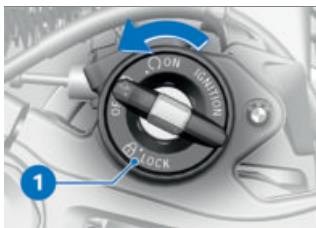
キー

車両キーは2本あります。
キーを紛失した場合には、電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS) に関する注意事項に従ってください (▶▶ 49)。

イグニッションスイッチ／ステアリングロック、タンクキャップ、リアセクションカバーのロックは、1本の同じキーで操作できます。

ステアリングロックをロックする

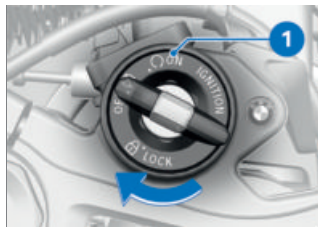
- ハンドルを左に回します。



- ハンドルバーを少し動かしながら、車両キーをポジション 1 に回します。
 - ▶▶ イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
 - ▶▶ ステアリングロックがロックされています。

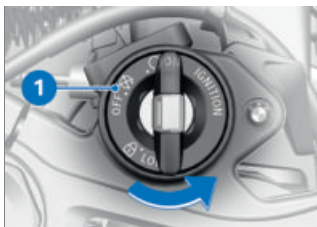
- ▶▶ 車両キーを抜き取ることができません。

イグニッションを ON にする



- 車両キーをポジション 1 に回します。
 - ▶▶ ポジション／パーキングライトとすべての機能回路が ON になります。
 - ▶▶ エンジンを始動することができます。
 - ▶▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 117)
 - ▶▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 117)
 - ▶▶ DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 118)


イグニッションを OFF にする



- 車両キーをポジション 1 に回します。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 車両キーを抜き取ることができます。

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションスイッチ/ステアリングロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。

 その他の車両キー(スペアキーなど)が始動に使用されている車両キーと一緒に取り付けられていると、電子システムが「認識されない」ことがあり、エンジンの始動が許可されない場合があります。

車両キーは必ず別々に保管してください。

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

スペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセキュリティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

50 取扱方法

イグニッションキルスイッチ



- 1 イグニッションキルスイッチ

警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作

リヤホイールのロックによる転倒の危険

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。

イグニッションキルスイッチにより、エンジンを素早く簡単に停止させることができます。



- A エンジン停止
B 通常の操作ポジション

照明


ロービームを ON にする

- イグニッションを ON にします。
- エンジンを始動させます。



- またはその代わりに、イグニッション ON の状態でスイッチ 1 を引きます。

ポジション／パーキングライト
 イグニッションを ON にすると、
 パーキングライトは自動的に
 ON になります。

 ポジション／パーキングラ
 イトはバッテリーを消耗させ
 ます。必要な場合のみ、イグ
 ニッションを ON にしてくださ
 い。

ハイビームとパッシングライト

- イグニッションを ON にす
 る (▶▶ 48)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイ
 ビームヘッドライトを ON にし
 ます。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッ
 シングライトを操作します。

フォロワーホームライト

- イグニッションを OFF にしま
 ず。



- イグニッションをオフにした直
 後、スイッチ **1** を後方へ引き、
 ホームライトが点灯するまで引
 いたまま維持します。
 ▶▶ 車両照明が 1 分間点灯し、自動
 的に再び消灯します。
 -これは、駐車後に家のドアまで
 の通路を照らすためなどに使用
 することができます。

パーキングライト

- イグニッションを OFF にす
 る (▶▶ 49)。




- イグニッションを OFF にした直
 後、パーキングライトが ON にな
 るまで、ボタン **1** を左方向へ押
 した状態で保ちます。

52 取扱方法

- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。

 ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するよう to してください。



- ハザードフラッシャーを ON にするには、ボタン 1 を操作します。
 - ▶▶▶ イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードフラッシャーをオフにするには、必要に応じてイグニッションをオンにし、ボタン 1 を再度操作します。

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を左方向へ押しします。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン 1 を右方向へ押しします。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン 1 を中間の位置にします。

コンフォートターンインジケター



ボタン 1 を右または左に押し、以下の条件ではターンインジケターが自動的にオフになります：


- 車速 30 km/h 未満 : 50 m 走行後。
- 車速 30 km/h ~ 100 km/h : 速度に応じた走行距離後または加速時。
- 車速 100 km/h 超 : 5 回点滅後。

ボタン **1** を少し長く右または左に押ししても、速度に応じた走行距離到達後にターンインジケータは自動的にオフになります。

ダイナミックトラクションコントロール(DTC)

DTC を OFF にする


- イグニッションを ON にします。

 ダイナミックトラクションコントロール(DTC) は走行中も OFF にすることができます。



- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押し続けます。


ボタン **1** を操作した直後に、DTC システムステータス ON が表示されます。

 点灯します。

可能性のある DTC システムステータス OFF! が表示されます。

- ステータスが切り替わったら、ボタン **1** から指を離します。

新しい DTC システムステータス OFF! が短時間表示されます。


 引き続き点灯します。

» DTC 機能は OFF の状態です。

DTC を ON にする




- DTC インジケータの表示が変化するまで、ボタン **1** を押したまま保ちます。
- ボタン **1** を操作した直後に、DTC システムステータス OFF! が表示されます。

 消灯します。自己診断が完了していない場合には、点滅し始めます。

可能性のある DTC システムステータス ON が表示されます。

54 取扱方法


- ステータスが切り替わったら、ボタン 1 から指を離します。

 消灯したままか、点滅を続けます。

新しいDTCシステムステータス ON が短時間表示されます。

» DTC 機能は ON の状態です。

- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることも可能です。

 イグニッション OFF / ON にして、さらに以下の最低速度で走行した後にDTCインジケーター／警告灯が点灯する場合には、DTCが故障しています。

min 5 km/h

- ダイナミックトラクションコントロールに関する詳細情報については、「技術情報」の章を参照してください：

» ダイナミックトラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？ (▶▶ 162)

走行モード

走行モードの使用

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルにシナリオを開発しました：

-RAIN：雨でぬれた路面でのライディング。

-ROAD：乾いた路面でのライディング。

-DYNAMIC：乾いた路面でのダイナミックな走行。

-RACE：スポーツタイヤまたは SLICK でレーシングコースを走行。

-走行モードPro^{OE} 装備

-RACE PRO 1/2/3：ドライバーによる調整を考慮してレーシングコースを走行。

これらのシナリオでは、それぞれにエンジン特性曲線、ABS コントロール、DTC コントロールの最適な相互作用が用意されています。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

同時に工場設定も選択したシナリオに合わせて調整されます。

走行モードを選択する



- ボタン 1 を押します。



アクティブな走行モード 2 がバックグラウンドに移動し、ポップアップ 3 に表示されます。ガイドサポート 4 に、利用可能な走行モード数が表示されます。



●ご希望の走行モードが表示されるまで、ボタン 1 を繰り返し押しします。

i 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入は制限されています。

起こりうる制限については、注意！ ABS+DTC の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS および DTC のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

- 走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：
 - スロットルグリップを回し戻します。
 - ブレーキレバーは操作しません。
 - クルーズコントロールを作動解除します。

クルーズコントロール

-クルーズコントロール^{OE} 装備

設定時の表示(制限速度情報が無効)



クルーズコントロールのアイコン 1 は、Pure Ride 画面と上側ステータスバーに表示されます。

56 取扱方法

設定時の表示(制限速度情報が有効)



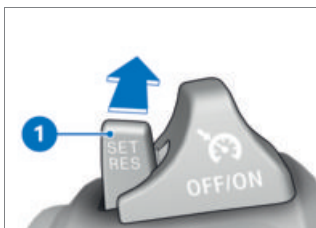
クルーズコントロールのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側ステータスバーに表示されます。

クルーズコントロールを **ON** にする



- スイッチ **1** を右方向へスライドさせます。
» ボタン **2** の操作がロック解除されています。


車速を設定する



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。

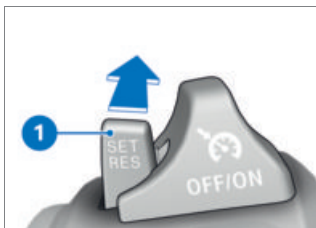
 クルーズコントロールの調整範囲

20...210 km/h

 クルーズコントロール用インジケータが点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

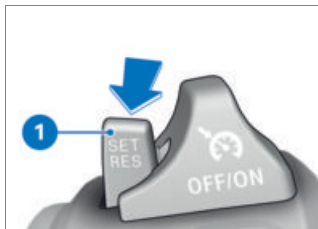
加速する



- ボタン **1** を前方向へ短押しします。
» 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ加速します。

- ボタン **1** を前方へ押し続けます。
- ≫ 車速が無段階に加速します。
- ≫ ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。


減速する




- ボタン **1** を後方へ短押しします。
- ≫ 押すたびに速度が約 1 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押し続けます。
- ≫ 車速が無段階に減速します。
- ≫ ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを作動解除する

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ(スロットルを基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる)を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

 ギヤシフトアシストPro を使用してシフトダウンを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。


 ABS または DTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に作動解除されます。DTC がライダーによって作動解除されると、クルーズコントロールも作動解除されます。

≫ クルーズコントロール用インジケーターが消灯します。


前回の速度を再設定する



- ボタン **1** を後方へ短押しして、保存されている車速に再び設定します。

 スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。

58 取扱方法

 クルーズコントロール用インジケーターが点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ **1** を左方向へずらし
ます。
» システムが OFF になります。
» ボタン **2** がブロックされています。

発進アシスト

表示



発進アシストのアイコン **1** は、Pure Ride 画面と上側のステータスバーに表示されます。

Hill Start Control を操作する前提条件


停車状態で、エンジンが作動していること。

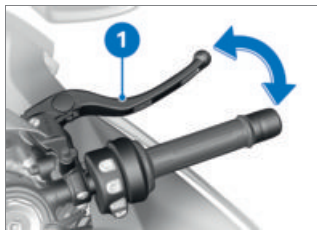
重要事項

発進アシストの故障

事故が起こる危険

- 手動ブレーキにより、モーターサイクルをしっかりと停車します。

 発進アシスト Hill Start Control は登り坂での発進をより容易にするための単なるコンフォートシステムであり、パーキングブレーキと混同してはなりません。




- ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。


 が緑で表示されます。


» Hill Start Control は ON の状態です。

- Hill Start Control を OFF にするには、ブレーキレバー 1 またはブレーキペダルを再度操作します。

 が非表示になります。

- またはその代わりに、1 速または 2 速で発進します。

 発進時には、Hill Start Control は自動的に OFF になります。

 ブレーキが完全に解除された後、非表示になります。

» Hill Start Control は OFF の状態です。

- Hill Start Control に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください：
- » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 167)

Hill Start Control をオンおよびオフにする

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- ヒルスタートコントロール をオンまたはオフにします。

Hill Start Control Pro を操作する

— 走行モード Pro^{OE} 装備

前提条件


停車状態で、エンジンが作動していること。


重要事項

発進アシストの故障

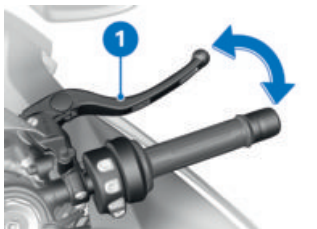
事故が起こる危険

- 手動ブレーキにより、モーターサイクルをしっかりと停車します。


 発進アシスト Hill Start Control Pro は傾斜での発進を容易にするための一種のコンフォートシステムであり、パーキングブレーキに代わるものではありません。

 傾斜が 40 % 以上の場合には、発進アシスト Hill Start Control Pro を使用してはいけません。


60 取扱方法




- ハンドブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを強く操作し、すばやく再び放します。
- またはその代わりに、傾斜3%以上の場所で車両停止状態から発進する場合に、約1秒ブレーキを操作します。


 が緑で表示されます。


- » Hill Start Control Pro は ON の状態です。
- Hill Start Control Pro を OFF にするには、ブレーキレバー **1** またはブレーキペダルを再度操作します。

 Hill Start Control Pro をブレーキレバーで OFF にした場合、自動Hill Start Control がその後の4 m は OFF の状態になります。

 が非表示になります。

- またはその代わりに、1速または2速で発進します。

 発進時、Hill Start Control Pro は自動的にオフになります。

 ブレーキが完全に解除された後、非表示になります。

» Hill Start Control Pro は OFF の状態です。

- Hill Start Control Pro に関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください。
- » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 167)

Hill Start Control Pro を調整する

- 走行モード Pro^{OE} 装備

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- HSC Pro を選択します。
- Hill Start Control Pro をオフにするには、OFF を選択します。
- » Hill Start Control Pro はオフの状態です。
- 手動Hill Start Control Pro をオンにするには、手動 を選択します。
- » Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。

- 自動Hill Start Control Pro をオンにするには、自動 を選択します。
- »Hill Start Control Pro はハンドブレーキレバーまたはブレーキペダルを強く押すことにより作動させることができます。
- »車両停止状態から傾斜3%以上の場所で発進する場合に約1秒ブレーキ操作をすると、Hill Start Control Pro が自動的にオンになります。
- »選択した設定は、イグニッションオフ後も維持されます。

シフトポイント用フラッシュ

シフトポイント用フラッシュをオンおよびオフにする



- メニュー設定、車両設定 を呼び出します。
- シフトポイント を ON または OFF にします。

シフト表示を調整する

- 機能シフトポイント をオンにします。
- メニュー設定、車両設定、設定 (シフトポイント 内) を呼び出します。
- »以下の設定が可能です：
 - 回転数(開始)
 - 回転数(終了)
 - 明るさ
 - 周波数。点滅周波数 0 Hz は常時点灯です。
- »明るさと点滅周波数の変化は、シフトインジケーターが短時間転倒するか点滅するのでわかります。

盗難警報装置(DWA)

- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

作動

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
- DWA の調整 (▶▶ 62)。
- イグニッションを OFF にします。
- »DWA をオンにすると、イグニッションオフ後に DWA が自動的に作動します。
- »作動状態にするには約 30 秒かかります。
- »ウインカーが 2 回点灯します。
- »操作音が 2 回鳴ります(プログラミングされている場合)。
- »DWA はオンの状態です。

62 取扱方法

アラーム信号

DWA アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正な車両キーによる始動の試み。
- 車両バッテリーからDWA を分離する (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ターンインジケーターの点灯なし)

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。

アラームの発報時間は約 26 秒です。発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。

ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA LED がアラームの原因について 1 分間、信号を発信します。

DWA LED のライト信号：

- 1 回点滅：モーションセンサー 1
- 2 回点滅：モーションセンサー 2

- 3 回点滅：不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅：車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅：モーションセンサー 3

DWA 作動解除するサドウカイジョスル

- イグニッションを ON にします。
 - » ウインカーが 1 回点灯します。
 - » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
 - » DWA は OFF の状態です。

DWA の調整

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、車両設定、盗難警報装置 を呼び出します。
 - » 以下の設定が可能です：
 - 警告音 を調整する
 - 傾斜センサー をオンおよびオフにする
 - 確認音 をオンおよびオフにする
 - 自動設定 をオンおよびオフにする

調整

警告音：立ち上がりおよび立ち下がりまたは断続的なアラーム音を設定します。

傾斜センサー：傾斜センサーを作動させ、車両の傾きをモニター

64 取扱方法

オンボードコンピューター

ボードコンピューターを呼び出す

- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- メニューパネルオンボードコンピューターが表示されるまで、右にめくります。

ボードコンピューターをリセットする

- ボードコンピューターを呼び出す (▶▶ 64)。
- モメンタリボタンMENU 下を押します。
- すべての値をリセットする または個々の値をリセットする を選択し、確定します。

以下の値を個別にリセットすることができます：

- 休憩
- 走行
- 現在 (TRIP 1)
- 速度
- 燃費

トリップボードコンピューターを呼び出す

- ボードコンピューターを呼び出す (▶▶ 64)。
- メニューパネルトリップコンピューターが表示されるまで、右にめくります。

トリップボードコンピューターをリセットする

- トリップボードコンピューターを呼び出す (▶▶ 64)。
- モメンタリボタンMENU 下を押します。
- 自動的にリセットする またはすべての値をリセットする を選択し、確定します。
- ▶▶ 自動的にリセットする が選択されている場合、イグニッションオフから少なくとも6時間以上経って日付が変わると、トラベルボードコンピューターが自動でリセットされます。

フロントおよびリヤシート

リヤセクションカバーを取り外す

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 車両キー 1 を使用して、リヤセクションカバー 2 用ロックをロック解除します。

- 固定部 3 をフックから外して、リヤセクションカバー 2 を取り外します。

リヤセクションカバーを取り付ける



- 固定部 2 をフックに掛けて、リヤセクションカバー 1 を組み込みます。
- リヤセクションカバー 1 を下へ押ししてロックします。

リヤシートを取り外す

-パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- 車両キー 1 を使用して、リヤシート 2 用ロックをロック解除します。
- 固定部 3 をフックから外して、リヤシート 2 を取り外します。
- 車両キーを抜き取り、リアシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける

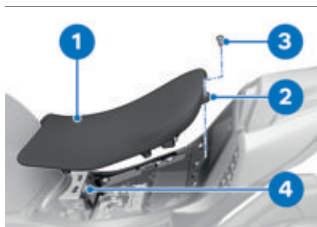
-パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備



- 固定部 2 をフックに掛けて、リヤシート 1 を組み込みます。
- リヤシート 1 を下へ押ししてロックします。

66 取扱方法

フロントシートを取り外す



- フロントシート **1** のカバーを座面のところで少し前方へ押し、タブ **2** を露出させます。
- ボルト **3** を取り外します。
- フロントシート **1** の後部を持ち上げ、固定部 **4** を外します。
- フロントシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

- ボルト **3** を組み込み、取り付けます。

フロントシートを取り付ける



- フロントシート **1** の前部を固定部 **4** に組み込み、位置決めします。
- フロントシート **1** のカバーを座面のところで少し前方へ押し、タブ **2** を露出させます。

TFTディスプレイ

05

一般的な情報	70
原理	71
PURE RIDE 画面	77
一般的な設定	78
BLUETOOTH	79
MY MOTORCYCLE	82
ナビゲーション	85
メディア	87
電話	88
ソフトウェアバージョンを表示する	88
ライセンス情報を表示する	88

一般的な情報

警告



警告

走行中またはエンジン作動中にスマートフォンを操作する事故が起こる危険

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中は使用しないこと(ハンズフリーユニットを使用している場合、操作する必要のない利用を除く)。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険

統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

Connectivity機能

Connectivity機能にはメディア、電話とナビゲーション領域が含まれます。Connectivity機能は、TFTディスプレイが携帯端末機器およびヘルメットと接続されている場合に利用することができます(▶▶ 79)。Connectivity機能に関する詳細情報についてはこちらをご覧ください：

bmw-motorrad.com/connectivity




燃料タンクが携帯端末機器とTFTディスプレイの間にあると、Bluetooth接続が制限される可能性があります。BMW Motorradは、携帯端末機器を燃料タンクの上(ジャケットポケットの中など)に収納することをお勧めします。



携帯端末機器によっては、Connectivity機能の範囲が制限される可能性があります。

BMW Motorrad Connected App

BMW Motorrad Connected Appで、利用情報および車両情報を呼び出すことができます。ナビゲーションなどの一部の機能を利用するには、Appを携帯端末機器にインストールして、TFTディスプレイと接続しておく必要があります。Appを使用して目的地ガイドをスタートさせて、ナビゲーションを調整します。

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

本書の記述について

編集終了後に TFT ディスプレイが更新されることがあります。そのため、本書の記述が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。更新情報についてはこちらをご覧ください：
bmw-motorrad.com/service

原理

操作エレメント



ディスプレイの全内容の操作は、マルチコントローラー **1** および MENU ロッカーボタン **2** で行います。状況に応じて以下の機能が可能です。

マルチコントローラーの機能

マルチコントローラーを上に戻す：

- リストのカーソルを上に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を上げます。

マルチコントローラーを下に戻す：

- リストのカーソルを下に移動させます。
- 設定を行います。
- 音量を下げます。

マルチコントローラーを左に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 機能を左に、または前に戻るように作動させます。
- 設定後、メニュー画面に戻ります。
- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- メニュー My Motorcycle で：メニュー画面をさらにスクロールします。


マルチコントローラーを右に傾ける：

- 機能を操作フィードバックに従って作動させます。
- 選択を確定します。
- 設定を確定します。
- メニューステップを先にめくります。

72 TFTディスプレイ

- リストで右にスクロールします。
- メニューMy Motorcycleで：メニュー画面をさらにスクロールします。

MENU ロッカーボタンの機能

 メニューナビゲーションが呼び出されていない場合、ナビゲーション指示はダイアログ形式で表示されます。モメンタリボタン MENU の操作は一時的に制限されます。

MENU の上を短押しする：

- メニュー画面で：一階層上に切り替えます。
- Pure Ride 画面で：上側ステータスバーの表示を選択します。

MENU の上を長押しする：

- メニュー画面で：Pure Ride 画面を開きます。
- Pure Ride 画面で：操作対象をナビゲーターに切り替えます。

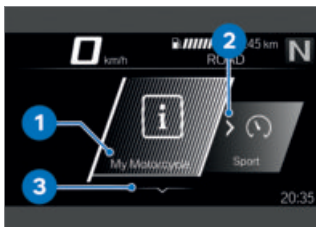
MENU の下を短押しする：

- 一階層下に切り替えます。
- 最下層に達した場合は機能しません。

MENU の下を長押しする：

- MENU ロッカーボタンの上を長押ししてメニューを切り替えた後に、前回呼び出したメニューに戻ります。

スタートメニューでの操作情報



操作情報は、どのような操作が可能／不可能であることを示します。

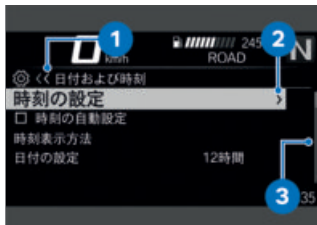


操作情報の意味：

- 操作情報 1：左端に達しています。
- 操作情報 2：右へスクロールすることができます。
- 操作情報 3：下へスクロールすることができます。
- 操作情報 4：左へスクロールすることができます。
- 操作情報 5：右端に達しています。

サブメニューの操作情報

スタートメニューの操作情報に加えて、サブメニューにもそれ以外の操作情報があります。



操作情報の意味：

- 操作情報 1：現在の表示は階層メニューの中にあります。アイコンはサブメニュー階層を示します。2つのアイコンはサブメニュー階層が2つ以上あることを示します。上の階層に戻るかどうかに応じて、アイコンの色は変化します。
- 操作情報 2：さらなるサブメニュー階層を呼び出すことができます。
- 操作情報 3：項目の数が、表示できる数を超えています。

Pure Ride 画面を表示する

- MENU ロッカーボタン上側を長押しします。

機能を ON または OFF にする



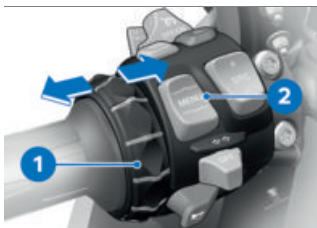
メニュー項目の一部の前にはボックスが表示されています。このボックスは、機能が ON または OFF であるかを示しています。メニュー項目の後ろにあるアクションアイコンは、マルチコントローラーを右に短く傾けると何がどのように切り替わるのかを具体的に示しています。

ON と OFF の例：

- アイコン 1 は、機能が ON であることを示しています。
- アイコン 2 は、機能が OFF であることを示しています。
- アイコン 3 は、機能を OFF にできることを示しています。
- アイコン 4 は、機能を ON にできることを示しています。

74 TFTディスプレイ

メニューの呼出し




- Pure Ride 画面を表示する (▶▶▶ 73)。
- ボタン 2 を下方へ短く押します。

以下のメニューを呼び出すことができます：

- My Motorcycle
- Sport
- ナビゲーション
- メディア
- 電話
- 設定

- マルチコントローラー 1 を右に繰り返し短押しして、希望のメニュー項目をマークします。
- ボタン 2 を下方へ短く押します。

 メニュー設定は停車時のみ呼び出すことができます。

リストのカーソルを移動させる



- メニューの呼出し (▶▶▶ 74)。
- リストのカーソルを下に移動させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を下に回します。
- リストのカーソルを上に移させるには、希望の項目がマークされるまで、マルチコントローラー 1 を上に回します。

選択を確定する



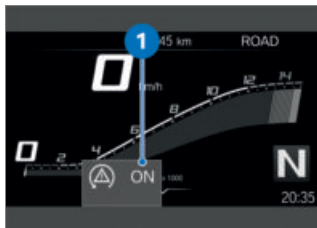
- 希望の項目を選択します。
- マルチコントローラー 1 を右に短押しします。

前回使用したメニューを呼び出す

- Pure Ride 画面で：MENU ロックボタンを長押しします。
- » 前回使用したメニューが呼び出されます。前回マークした項目が選択されています。

システムステータスの表示

機能が ON または OFF になると、システムステータスは下側のメニュー領域に表示されます。



システムステータスの意味の例：

-システムステータス 1：DTC 機能は ON の状態です。

上側ステータスバーの表示を選択する

前提条件

モーターサイクルが停車していること。Pure Ride 画面が表示されていること。

- イグニッションを ON にする (▶▶ 48)。
- » TFT ディスプレイでは、オンボードコンピューター(例：

TRIP 1) およびトリップコンピューター(例：TRIP 2) からの公道での走行用に必要すべての情報が利用可能です。この情報は上側のステータス欄に表示することができます。

- 上側ステータスバーの内容を選択する (▶▶▶ 76)。



- ボタン 1 を長押しして、Pure Ride 画面を表示させます。
- ボタン 1 を繰り返し短押しして、上側のステータス欄 2 の値を選択します。

次の値を表示可能です：



オドメーター



トリップメーター 1



トリップメーター 2

-吸気温度 INTAKE



燃費 1(平均)

76 TFTディスプレイ



燃費 2(平均)



走行時間 1



走行時間 2



停止 1



停止 2



速度 1(平均)



速度 2(平均)



フューエルレベル



走行可能距離

上側ステータスバーの内容を選択する

- メニュー設定、表示、コンテンツステータスライン を呼び出します。
- ご希望の表示を ON にします。
- » 上側ステータスバーでは、選択されている表示の中で切り替えることができます。表示が選択されていない場合は、航続可能距離のみが表示されます。

設定を行う



- 希望の設定メニューを選択して確定します。
 - マルチコントローラー **1** を下に回して、希望の設定をマークします。
 - 操作情報がある場合は、マルチコントローラー **1** を右に傾けます。
 - 操作情報がない場合は、マルチコントローラー **1** を左に傾けます。
- » 設定が保存されました。


制限速度情報を ON または OFF にする

前提条件

車両は互換性のある携帯端末機器と接続されています。モバイル端末機器にBMW Motorrad Connected アプリがインストールされています。

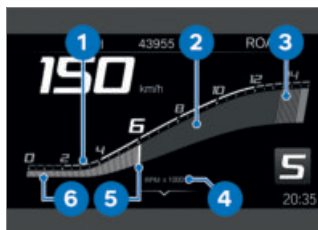
- 速度制限の情報 は、(ナビゲーションのマップデータの編集者により使用されている範囲内で) 現在許容されている最高速度を示します。

- メニュー設定、表示 を呼び出します。
- 速度制限の情報 を ON または OFF にします。


 Speed Limit Info は、設定、サーキット が作動している場合は使用できません。

PURE RIDE 画面

エンジン回転数表示



- 1 目盛り
- 2 低回転域
- 3 高回転域／レッドゾーン
- 4 回転数表示の単位：
1000 rpm
- 5 指針
- 6 第2指針

 クーラント温度に応じて赤色の回転数範囲は変化します：

エンジンの温度が低ければ低いほど、レッドゾーンが始まる回転数はより低くなります。

エンジンの温度が高ければ高いほど、レッドゾーンが始まる回転数はより高くなります。

作動温度に到達すると、レッドゾーンの表示は変化しなくなります。

航続可能距離



航続可能距離 **1** は、残りの燃料であとどのくらいの距離を走行可能かを示します。算出は、平均燃費およびフューエルレベルに基づいて行われます。

-モーターサイクルがサイドスタンドで立てられている場合、傾いているために、フューエルレベルが正確に測れないおそれがあります。そのため、航続可能距離の再算出はサイドスタンドが格納されている状態でのみ行います。

-航続可能距離はフューエルリザーブ容量に達した後に、警告と共に表示されます。

-燃料補給後にフューエルレベルがフューエルリザーブ容量を超えている場合、航続可能距離は新たに算出されます。

-算出された航続可能距離は、概算数値です。

78 TFTディスプレイ

一般的な設定

音量を調整する

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶▶ 81)。
- 音量を上げる：マルチコントローラーを上に戻します。
- 音量を下げる：マルチコントローラーを下に戻します。
- ミュートにする：マルチコントローラーを一番下まで戻します。

日付を設定する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付の設定 を呼び出します。
- 日、月 および年 を調整します。
- 設定を確定します。

日付の表示形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、日付表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。
- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻の設定 を呼び出します。
- 時間 および分 を調整します。

表示時刻形式を設定する

- メニュー設定、システム設定、日付および時刻、時刻表示方法 を呼び出します。
- 希望の設定を選択します。
- 設定を確定します。

表示単位を設定する

- メニュー設定、システム設定、単位 を呼び出します。
- 設定可能な単位は以下の通りです：
- 温度
 - 車速
 - 燃費

言語を設定する

- メニュー設定、システム設定、言語 を呼び出します。
- 設定可能な言語は以下の通りです：
- ドイツ語
 - 英語(UK)
 - 英語(US)
 - スペイン語
 - フランス語
 - イタリア語
 - オランダ語
 - ポーランド語
 - ポルトガル語
 - トルコ語
 - ロシア語
 - ウクライナ語
 - 中国語
 - 日本語
 - 韓国語

-タイ語

明るさを調整する

- メニュー設定、表示、明るさを呼び出します。
- 明るさを調整します。
- »ディスプレイの明るさは、所定の周囲輝度を下回ると設定されている値に調光されます。

すべての設定をリセットする

- メニュー設定のすべての設定を工場設定にリセットすることができます。
- メニュー設定を呼び出します。
- すべてリセットするを選択し、確定します。

以下のメニューの設定がリセットされます：

- 車両設定
- システム設定
- 接続
- 表示
- 情報

»現在あるBluetooth接続は削除されません。

BLUETOOTH

近距離無線技術

Bluetoothでは、周辺の無線技術が問題となります。Bluetooth機器はショートレンジデバイス（限定された受信可能距離で伝送）として、使用料のかからない2,402 GHz～2,480 GHzのISM帯

（産業、科学および医療帯）で通信します。この機能は世界中で免許不要で利用することができます。

Bluetoothは、接続を短距離でできるかぎり確実に確立するように設計されているものの、各種の無線技術により障害が発生するおそれがあります。接続が阻害されたり、短時間中断されたり、まったく機能しなくなることもありえます。特に、複数の機器を1つのBluetoothネットワークで利用している場合、あらゆる状況で操作がスムーズに行われるという保証はありません。


考えられるノイズ源：

- 電波塔などによる妨害磁界。
- 実装されているBluetooth標準規格が不十分な機器。
- 周辺に他のBluetooth対応機器がある。

Pairing

2つのBluetooth機器間の通信接続を確立する前に、双方の機器がお互いを認識できている必要があります。この相互認識の手順を「ペアリング」と言います。一度認識したデバイスはメモリーされるので、ペアリングの作業は最初に行うだけですみます。

80 TFTディスプレイ

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前にBMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

ペアリングの際、TFT ディスプレイは自分の受信範囲内にある他の Bluetooth 対応機器をサーチします。ユニットが認識されるためには、以下の条件が満たされなくてはなりません。

- 当該機器の Bluetooth 機能が ON になっていること
- 当該機器が他から「検知可能」になっていること
- ユニットはレシーバーとして A2DP プロファイルをサポートしていなければなりません。
- その他の Bluetooth 対応機器が OFF になっていなければなりません(携帯電話やナビゲーションシステムなど)。

そのために必要な手順については、お客様コミュニケーションシステムの取扱説明書を確認してください。

ペアリングを行う

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
- »メニュー接続 では、Bluetooth 接続を設定、管理、削除することができます。以下の Bluetooth 接続が表示されます：

- 携帯機器
 - ライダー
 - パッセンジャー
- 携帯端末機器の接続ステータスが表示されます。

モバイル端末機器を接続する

- ペアリングを行う (▶▶ 80)。
- モバイル端末機器の Bluetooth 機能を ON にします (モバイル端末機器の取扱説明書を参照)。
- 携帯機器 を選択し、確定します。
- 新しい携帯機器のペアリング を選択し、確定します。携帯端末機器をサーチします。

 ペアリング中、下側のステータス欄で点滅します。

認識可能な携帯端末機器が表示されます。

- モバイル端末機器を選択し、確定します。
- モバイル端末機器に関する指示を確認し、遵守してください。
- コードが一致していることを確認します。
- »接続が確立され、接続ステータスが更新されます。
- »接続が確立されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 223)

- » モバイル端末機器によっては、電話データが自動的に車両に伝送されます。
- » 電話データ (▶▶▶ 88)
- » 電話帳が表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 224)
- » Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 223)
- » Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 223)

ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する

- ペアリングを行う (▶▶▶ 80)。
 - ライダー または パッセンジャー を選択し、確定します。
 - ヘルメットのコミュニケーションシステムを認識可能にします。
 - 新しいペアリング (ライダー) または新しいペアリング (タンデム) を選択し、確定します。
- ヘルメットをサーチします。



ペアリング中、下側のステータス欄で点滅します。

認識可能なヘルメットが表示されます。

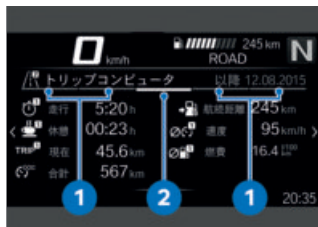
- ヘルメットを選択し、確定します。
- » 接続が確立され、接続ステータスが更新されます。

- » 接続が確立されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 223)
- » Bluetooth 接続が期待通りに機能しない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶▶ 223)

接続を削除する

- メニュー設定、接続 を呼び出します。
- 接続の削除 を選択します。
- 接続を個別に削除するには、接続を選択してから確定します。
- すべての接続を削除するには、すべての接続の削除 を選択し、確定します。

操作情報



-操作情報 1：左または右へどの程度スクロールできるかを示すタブ。

-操作情報 2：現在のメニュー画面の位置を示すタブ。

メニュー画面でスクロールする



- メニューMy Motorcycle を呼び出します。
- 右にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を右に短押しします。
- 左にスクロールするには、マルチコントローラー 1 を左に短押しします。

以下の画面がメニューMy Motorcycle に含まれています：

-MY MOTORCYCLE


-オンボードコンピュータ

-トリップコンピュータ

-サービス実施時期

-チェックコントロール(ある場合)

- タイヤ空気圧およびチェックコントロールメッセージに関する詳細情報は、「表示」の章に記載されています (▶▶ 27)。

 チェックコントロールメッセージが、状況に合わせて、メニューMy Motorcycle のメニュー画面に追加タブとして付加されます。

オンボードコンピュータおよび トラベルボードコンピュータ

メニュー画面オンボードコンピュータ およびトリップコンピュータ は、平均値などの車両データおよび走行データを表示します。

サービス時期の表示



次回サービスまでの期間が1か月以内になるか、次回サービスま

84 TFTディスプレイ

での距離が 1000 km 以内になると、チェックコントロールメッセージが白色で表示されます。

ナビゲーション

警告



警告

走行中またはエンジン作動中にスマートフォンを操作する事故が起こる危険

- それぞれ適用される道路交通規則を確認し、遵守してください。
- 走行中は使用しないこと(ハンズフリーユニットを使用している電話など、操作する必要のない利用を除く)。



警告

交通状態から注意が逸れ、制御不能になる危険


統合型情報システムおよび通信機器を走行中に操作することで事故を起こす危険

- これらのシステムおよび装置の操作は、それが可能な交通状況のもとでのみ行ってください。
- 必要に応じて停車し、システムまたは装置を停止状態で操作してください。

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器と Bluetooth 経由で接続されていること。

接続されている携帯端末機器に BMW Motorrad Connected App がインストールされていること。

 iOS オペレーティングシステム搭載機器などの一部の携帯端末機器では、使用前に BMW Motorrad Connected App を呼び出す必要があります。

目的地アドレスを入力する

- モバイル端末機器を接続する (▶▶ 80)。
- BMW Motorrad Connected アプリを呼び出し、目的地ガイドをスタートさせます。
- TFT ディスプレイでメニューナビゲーションを呼び出します。
 - » ON になっている目的地ガイドが表示されます。
 - » アクティブなルートガイダンスが表示されない場合には、「仕様(諸元)」の章のトラブルシューティングを参照してください。(▶▶ 224)

目的地を直近の目的地から選択する

- メニューナビゲーション、前回の目的地を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。

86 TFTディスプレイ

- ルート案内を開始 を選択します。

目的地をお気に入りから選択する

- メニューお気に入り は、BMW Motorrad Connected アプリでお気に入り登録されているすべての目的地を表示します。TFTディスプレイでは新しいお気に入りを登録することはできません。
- メニューナビゲーション、お気に入り を呼び出します。
- 目的地を選択し、確定します。
- ルート案内を開始 を選択します。

追加目的地を入力する

- 観光地などの追加目的地を地図に表示させることができます。
- メニューナビゲーション、POI を呼び出します。

以下の場所を選択することができます：

- 現在地で
 - 目的地で
 - ルートに沿って
 - どの場所で追加目的地を検索するか、選択してください。
- 例えば、以下の追加目的地を選択することができます：
- ガソリンスタンド
 - 追加目的地を選択し、確定します。

- ルート案内を開始 を選択し、確定します。

ルート基準を決定する

- メニューナビゲーション、ルートの基準 を呼び出します。以下の基準を選択することができます：

- ルートタイプ
- 回避

- 希望のルートタイプ を選択します。
- ご希望の回避 を ON または OFF にします。

有効にした回避の数がカッコ内に表示されます。

ルート案内を終了する

- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- ルート案内を終了 を選択し、確定します。

音声指示を ON または OFF にする

- ライダー用ヘルメットとパッセンジャー用ヘルメットを接続する (▶▶ 81)。
- ナビゲーションはコンピューター音声による読み上げが可能です。そのためには音声案内 が ON になっている必要があります。
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内 を呼び出します。
- 音声案内 を ON または OFF にします。

直前の音声指示を繰り返す

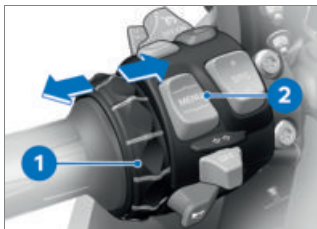
- メニューナビゲーション、作動中のルート案内を呼び出します。
- 現在の音声案内を選択し、確定します。

メディア

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

音楽再生を制御する



- メニューメディアを呼び出します。

i BMW Motorrad は、走行前にモバイル端末機器のメディアおよび通話の音量を最大に設定することを推奨します。

- 音量を調整する (▶▶▶ 78)。
- 次のタイトル(トラック)：マルチコントローラー 1 を右に素早く傾けます。
- 前のタイトル(トラック) または現在のタイトル(トラック) の出

だし：マルチコントローラー 1 を左に素早く傾けます。

- 早送り：マルチコントローラー 1 を右にしばらく傾けたままにします。
- 早戻し：マルチコントローラー 1 を左にしばらく傾けたままにします。
- コンテキストメニューを呼び出す：ボタン 2 を下方向へ押しします。

i 携帯端末機器によっては、Connectivity 機能の範囲が制限される可能性があります。

» コンテキストメニューでは以下の機能を利用できます：

- 再生 または一時停止。
- 検索および再生には、カテゴリ-現在の再生、すべてのアーティスト、すべてのアルバム またはすべてのタイトル を選択します。
- プレイリスト を選択します。

サブメニューオーディオ設定では以下の設定を行うことができます：

- ランダム再生 を ON または OFF にします。
- リピート：OFF、ON(現在のタイトル) またはすべて を選択します。

88 TFTディスプレイ

電話

前提条件

車両が互換性のある携帯端末機器および互換性のあるヘルメットと接続されていること。

電話をする



- メニュー電話 を呼び出します。
- 電話を受ける：マルチコントローラー 1 を右に傾けます。
- 電話を拒否する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。
- 通話を終了する：マルチコントローラー 1 を左に傾けます。

ミュートスイッチ

通話が有効な際に、ヘルメットのマイクロフォンをミュートに切り替えることができます。

複数の相手との通話

通話中に、別の相手からの着信を受けることができます。最初の通話は保留になります。継続中の通話の数がメニュー電話 に表示されます。2つの通話間で切り替えを行うことができます。

電話データ

モバイル端末機器によっては、ペアリング (▶▶ 79) 後に電話データが車両に自動的に伝送されます。

電話帳：モバイル端末機器に保存されているコンタクトリスト

通話履歴：モバイル端末機器での通話リスト

お気に入り：モバイル端末機器に保存されているお気に入りリスト

ソフトウェアバージョンを表示する

- メニュー設定、情報、ソフトウェアバージョン を呼び出します。

ライセンス情報を表示する

- メニュー設定、情報、ライセンス を呼び出します。

調整

06

ミラー	92
ヘッドライト	92
ブレーキ	92
クラッチ	93
フットレスト	94
ステアリング	96
スプリングプリロード	97
ショックアブソーバー	101
スイングアーム	104
車高	107
DDC キャリブレーション	108

92 調整

ミラー

ミラーを調整する



- ミラーのガラスの縁部分を軽く押して、ご希望の位置にくるようにします。

ヘッドライト

右側 / 左側走行のヘッドライト光軸調節

このモーターサイクルには対称ロービームが装備されています。モーターサイクルの登録国とは異なる側を走行する国で運転する場合に、特別な措置は必要ありません。

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

- ① 光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは

専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

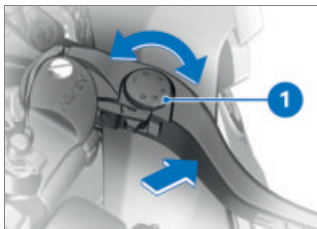


警告

走行中にブレーキレバーを調整する

事故が起こる危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



- アジャストホイール 1 をご希望の位置に回します。

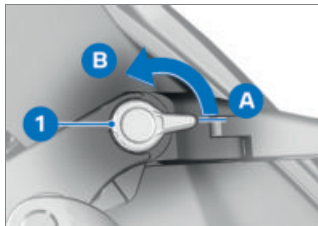
① その際、ブレーキレバーを前へ押し、アジャストホイールを簡単に回すことができます。

» 選択できる設定 :

-ポジション1: ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小

-ポジション6：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

-フライス加工部品パッケージ^{OE}装備



•調整レバー **1** をご希望の位置に回します。

i その際、ブレーキレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。

» 選択できる設定：

-ポジション **A**：ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小。

-ハンドルグリップとブレーキレバー間の間隔を拡大するには、**B** 方向に5段階で設定します。◁

クラッチ

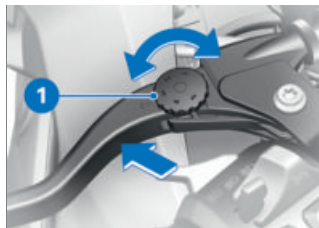
クラッチレバーを調整する



警告

**走行中のクラッチレバーの調整
事故の危険**

•クラッチレバーの調整はモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。



•アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。

i その際、クラッチレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。

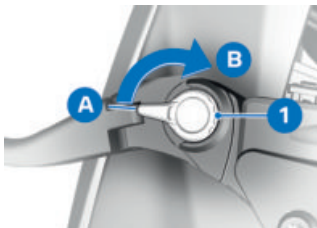
» 選択できる設定：

-ポジション **1**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小


-ポジション **5**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

94 調整

－フライス加工部品パッケージ^{OE}
装備



- 調整レバー **1** をご希望の位置に回します。

 その際、クラッチレバーを前へ押しとアジャストホイールを簡単に回すことができます。

» 選択できる設定：

－ポジション **A**：ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小。

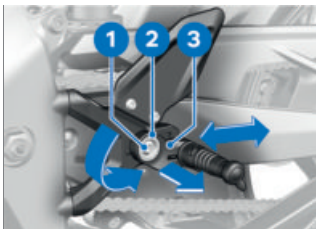
－ハンドルグリップとクラッチレバー間の間隔を拡大するには、ポジション **B** の方向へ5段階。◁

フットレスト


－フライス加工部品パッケージ^{OE}
装備

ローターを調整する

- ローターの調整は左右とも同じ方法で行います。
- ローターの位置調整は車体の左右で同じでなければなりません。



- ローター **3** により、足の間隔および足の位置を調整することができます。
- ボルト **1**(歯付きブッシュ **2** 内の)を緩め、歯付きブッシュ **2** をローター **3** から引き出せるようにします。
 - » ローター **3** は回転軸内で6つの位置に調整することができます。
 - » ローター **3** は前後軸内で5つの位置に調整することができます。
- ローター **3** をご希望の位置に取り付け、ボルト **1**(歯付きブッシュ **2** 内の)を締め付けます。

 フットレスト調整用ボルト締付け

M8 x 40

ボルト固定剤：メカニズム部分

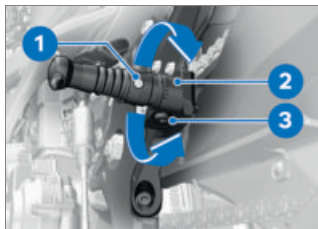
20 Nm

**警告****ローター位置の変更によるフットレストの誤調整。****転倒の危険**


- ローター位置を変更する場合は、フットレストもそれに対応して調整する必要があります。
- フットレストを起こす方向は、必ず真上およびその少し後ろでなければなりません。

固定ジョイントを調整する

- 固定ジョイントの調整は左右とも同じ方法で行います。




- ボルト 3 を緩めます。
- 固定ジョイント 1 を回すことができます。
- 固定ジョイント 1 をローターの調整位置に合わせて目盛り 2 で調整します。

 目盛りは、固定ジョイントをローターの調整位置と組み合わせて正しく調整するためのサポートになります。たとえ

ば、ローターが1ポジション分時計回りの方向に動かされると、固定ジョイントは1ポジション分、反時計回りの方向に動かされる必要が生じます。

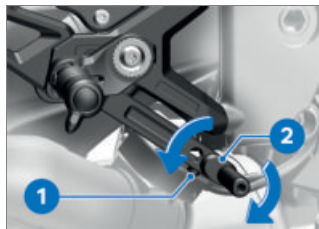
- ボルト 3 を締め付けます。

 ライダーフットレスト用
固定ボルト

M8 x 25

ボルト固定剤: メカニズム部分

20 Nm

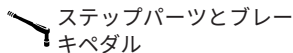
ブレーキペダルのステップパーツを調整する

- ステップパーツ 2 までの高さおよび足の間隔は、様々な位置に回すことで調整可能です。
- ボルト 1 を緩めます。
- ステップパーツ 2 を任意のポジションに回します。
- ボルト 1 を締め付けます。

 ステップパーツとブレーキペダル

M6 x 20

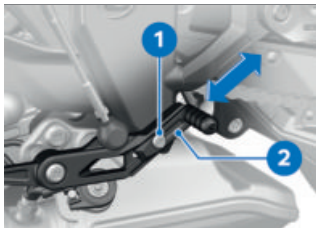
96 調整



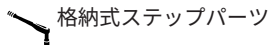
ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

10 Nm

シフトレバーのステップパーツを調整する



- 足の間隔はステップパーツ 2 をずらすことにより調整することができます。
- ボルト 1 を緩めます。
» ステップパーツ 2 は前後軸上でのみ、ずらすことができます。
- ご希望の足の間隔に調整し、ボルト 1 を締め付けます。

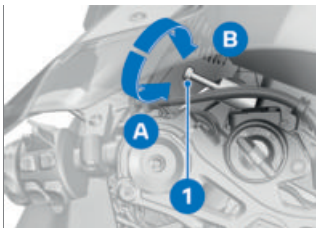


M6 x 16

10 Nm

ステアリング

ステアリングダンパーを調整する



走行中にステアリングダンパーを調整する。

事故の危険

- ステアリングダンパーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。
- ダンピングをハードにするには：アジャストスクリー 1 を A 方向に回します。
- ダンピングをソフトにするには：アジャストスクリー 1 を B 方向に回します。



ステアリングダンパーの基本設定

アジャストスクリーを A 方向にストップ位置まで回してから、B 方向に 6 クリック分回します。(オンロード走行)



ステアリングダンパーの
基本設定

アジャストスクリューを **A** 方向にストップ位置まで回してから、**B** 方向に 4 クリック分回します。(サーキット走行)

スプリングプリロード

調整

フロントホイールのスプリングプリロードを、ライダーの体重に合わせて調整してください。重量が重ければスプリングプリロードをより高く、軽ければスプリングプリロードをより低くする必要があります。

リアホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

モーターサイクルを持ち上げる

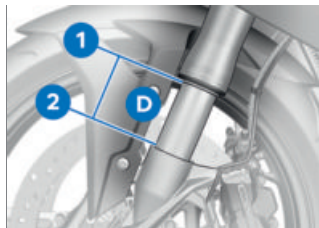
BMW Motorrad によって推奨されているスプリングプリロードの調整にはエンジンジャッキが必要になりますが、その取り扱いについては詳しく説明されていません。

代わりに、スプリングプリロードをライダーの路上テストにより

確認することもできます。この作業ができるかどうか確かでない場合は、専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。

フロントホイールのスプリングプリロードを調整する

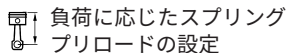
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、フロントホイールにかかる荷重を完全に解除します。



- 距離 **D**(アウターチューブの下端 **1** とフロントアクスル **2** の間) を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルにライダーが乗車して負荷をかけます。
- もう 1 人に協力してもらいながら、間隔 **D**(ポイント **1** と **2** の

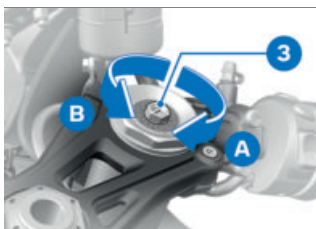
98 調整

間)を再度測定し、測定値同士の差(沈み込み量)を算出します。



フロントホイールの沈み込み

40±2 mm (ライダー乗車時
85 kg)



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。
- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト 3 を A の方向に回します。ぴたりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。

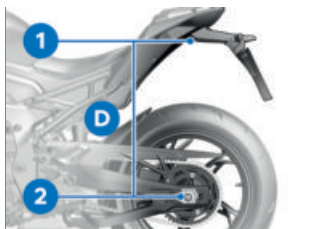
アダプターが車載ツールキットに添えられています。

- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める)には、車載ツールキットを使用して調整ボルト 3 を B の方向に回します。ぴたりと合い、スクリューを擦り傷から保護するアダプターが車載ツールキットに添えられています。

リヤホイールのスプリングプリロードを調整する


-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リヤホイールにかかる荷重を完全に解除します。



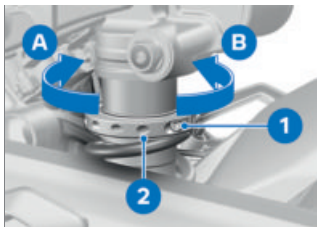
- ライセンスプレートベース 1 とアクスル 2 間の距離 D を測定します。

- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルに、ライダーおよび(状況に応じて) 荷物による荷重負荷をかけます。
- もう1人に協力してもらいながら、間隔 **D**(ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差(沈み込み量) を算出します。

 スプリングプリロードの積載量に依存するアジャストメント

リアホイールのスプリングデフレクション

35±2 mm (オンロード走行/ライダー 85 kg)



警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。
- ボルト **1** を車載ツールキットを使用して外します。
- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める) には、車載ツールキットを使用してアジャストリング **2** を **A** の方向に回します。
- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める) には、車載ツールキットを使用してアジャストリング **2** を **B** の方向に回します。
- ボルト **1** をトルクで締め付けます。

100 調整



調整リングのボルト


M5 x 16

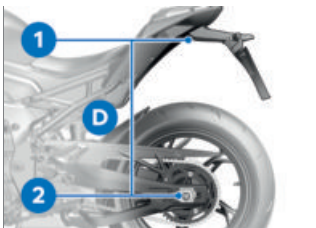
6 Nm

リアホイールのスプリングプリロードを調整する


-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リアホイールにかかる荷重を完全に解除します。
- イグニッションを ON にします。
- エンジンをスタートさせて、バッテリーの放電を防止します。

 DDC システムの設定は、イグニッションがオンの場合にのみ可能であり、その場合のみ電氣的バルブが有効になるからです。

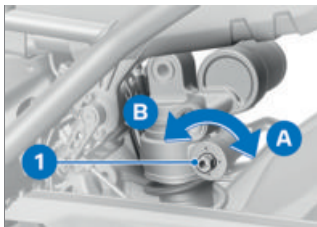


- ライセンスプレートベース **1** とアクスル **2** 間の距離 **D** を測定します。
- エンジンジャッキを取り外します。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ライダーと状況に応じて荷物で、モーターサイクルに荷重をかけます。
- もう 1 人に協力してもらいながら、間隔 **D** (ポイント **1** と **2** の間) を再度測定し、測定値同士の差 (沈み込み量) を算出します。

 スプリングプリロードの積載量に依存するアドジャストメント

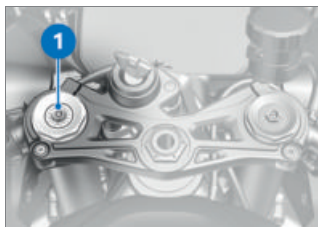
リアホイールのスプリングデフレクション

35±2 mm (オンロード走行/ライダー 85 kg)



- 沈み込み量を減らす(スプリングプリロードを高める)には、車載ツールキットを使用してボルト **1** を **A** の方向に回します。
- 沈み込み量を増やす(スプリングプリロードを低める)には、車載ツールキットを使用してボルト **1** を **B** の方向に回します。

フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する -Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



- コンプレッションダンピングをアジャストスクリュー **1** および左フォークストラットの黄色い目盛りを使用して調整します。

ショックアブソーバー

調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。


- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショックアブソーバーもソフトに調整する必要があります。



- ダンピングをハードにするには：ツールを使用して、アジャストスクリューをマーク **2** がより大きい調整値を示すように回します。
- ダンピングをソフトにするには：ツールを使用して、アジャストスクリューをマーク **2** が

102 調整

より小さい調整値を示すように回します。

 コンプレッションステージの基本設定(フロント)

ポジション 5 (オンロード走行
/ライダー 85 kg)

フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



- リバウンドダンピングをアジャストスクリュー 1 および右フォークストラットの赤い目盛りを使用して調整します。



- ダンピングをハードにするには：ツールを使用して、アジャ

ストスクリューをマーク 2 がより大きい調整値を示すように回します。

- ダンピングをソフトにするには：ツールを使用して、アジャストスクリューをマーク 2 がより小さい調整値を示すように回します。

 リバウンドステージの基本設定(フロント)

ポジション 5 (オンロード走行
/ライダー 85 kg)

リアホイールのコンプレッションダンピングを調整する

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備


- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- コンプレッションダンピングをアジャストスクリュー 1 で調整します。



- ダンピングをハードにするには：ツール(ツールキット)を使用して、アジャストスクリューを右(+方向)へ回します。
- ダンピングをソフトにするには：ツール(ツールキット)を使用して、アジャストスクリューを左(-方向)へ回します。

 コンプレッションステージの基本設定(リヤ)

アジャストスクリュー **1** を + 方向にストップ位置まで回してから、- 方向に5クリック分回します。(オンロード走行/ライダー 85 kg)

リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備



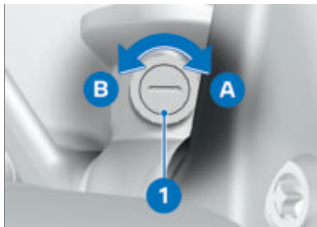
注意

高温のエキゾーストシステム 火傷の危険

- 高温のエキゾーストシステムには触れないこと。
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- リバウンドダンピングをアジャストスクリュー **1** を使用して調整します。



- ダンピングをハードにするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット)を使用して **A** 方向に回します。

104 調整

- ダンピングをソフトにするには：アジャストスクリュー **1** を、ツール(ツールキット)を使用して **B** 方向に回します。



リバウンドステージの基本設定(リヤ)

アジャストノブを **A** 方向にストップ位置まで回してから、**B** 方向に5クリック分回します。(オンロード走行/ライダー 85 kg)

スイングアーム

スイングアームを調整する

スイングアームピボットポイントは3段階に調整することができます。それには、エンジンジャッキやフットレストスタンド等の、ここでは取扱いについて詳しく説明されていない追加の補助ツールが必要です。この作業ができるかどうか確かでない場合は、専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。

スイングアームピボットポイントを調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



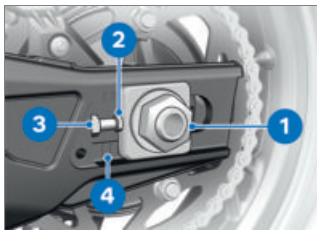
重要事項

自動車の水平方向の傾き

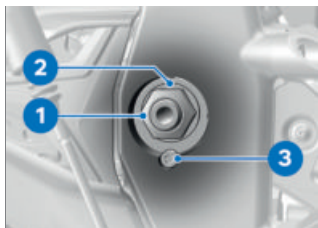
事故による部品の損傷

- 車両が横転しないように固定する。

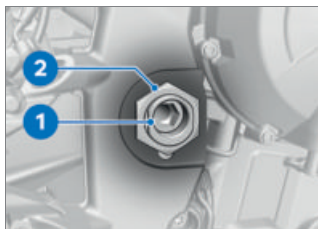
- モーターサイクルをエンジンジャッキまたは他の適切なジャッキで持ち上げ、リヤスイングアームの負荷を解除します。



- アクスルシャフトナット **1** を緩めます。
- 左右のロックナット **3** を緩めます。
- 左右のアジャストスクリュー **2** を使用して、チェーンのたるみ量を著しく増やします。
- 調整値 **4** が左右で同じになるように注意してください。



- ナット **1** および平形ワッシャー **2** を取り外します。
- 固定ボルト **3** を取り外します。



- スイングアームピボット **1** を緩めます。
- ナット **2** を取り外します。



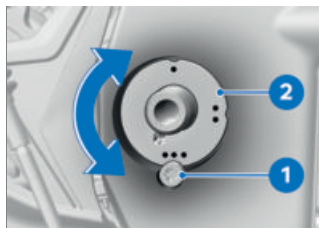
- 固定ボルト **1** を取り外します。

- 右ブッシュ **2** を左ブッシュと交互にそれぞれ最大 90° 回し、ご希望の位置に調整します。
- 固定ボルト **1** を取り付けます。

右メインフレーム内のスイングアームピボットポイントブッシュの位置決め

M6 x 26.7

5 Nm



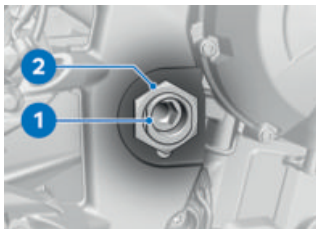
- 左ブッシュ **2** を右ブッシュと交互にそれぞれ最大 90° 回し、ご希望の位置に調整します。
- 左ブッシュ **2** と右ブッシュが同じ位置 (マーク) に固定されるように注意してください。
- 固定ボルト **1** を取り付けます。

左メインフレーム内のスイングアームピボットポイントブッシュの位置決め


M6 x 12

8 Nm

106 調整



- ナット 2 を取り付け、締付けトルクで締め付けます。


 フレームのシングアームピボットポイントブッシュ用ナット

M36 x 0.75

ボルト固定剤: Loctite 270、高粘度

70 Nm

- シングアームアクスルシャフト 1 を締付けトルクで締め付けます。

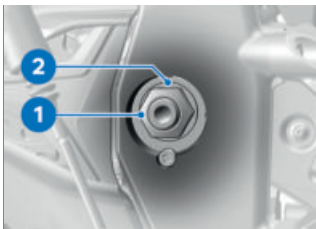
 シングアームピボットとフレーム

M27 x 1.25


15 Nm (締付けトルク)

120° (緩める)

5 Nm (締付けトルク)



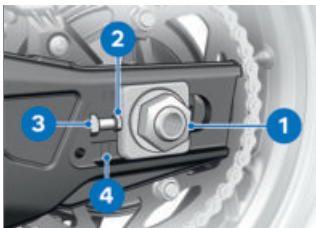
- ナット 2 を平形ワッシャー 1 と共に取り付け、締付けトルクで締め付けます。その際、シングアームアクスルシャフトのところで支えます。

 ナットをシングアームアクスルへ

M18 x 1.5

ボルト固定剤: メカニズム部分

100 Nm



- 左右のアジャストスクリュー 2 でチェーンのたるみ量を調整します。
- チェーンのたるみ量を点検する (▶▶ 193)。

- 調整値 4 が左右で同じになるように注意してください。
- 左右のロックナット 3 を締付けトルクで締め付けます。



ドライブチェーンテンションボルトのロックナット

M8

19 Nm

- アクスルシャフトナット 1 を締付けトルクで締め付けます。



スイングアームのリアホイールアクスルシャフト

M24 x 1.5

ボルト固定剤: メカニズム部分

125 Nm

- チェーンのたるみ量を点検する (▶▶▶ 193)。
 - エンジンジャッキを取り外します。
 - スイングアームピボットポイントの変更後は、車高をスラストストラットで修正します。
 - 車高をスイングアームピボットポイント調整で合わせる (▶▶▶ 107)。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
- DDC のキャリブレーションを行う (▶▶▶ 108)。

車高

車高を調整する

車高はリヤサスペンションのところでプッシュロッドを介して調整可能です。

車高の調整では、特定の設定組み合わせにおいて、さまざまなコンポーネントのクリアランスを保証できない点に注意してください。そのため、変更後はリヤスイングアームおよびリヤホイールの動きのスムーズさを常に点検する必要があります。

車高の調整には、エンジンジャッキやフットレストスタンド等の、ここでは取扱いについて詳しく説明されていない追加の補助ツールが必要です。この作業ができるかどうか確かでない場合は、専門の整備工場、できればBMW Motorrad ディーラーまでお問い合わせください。

車高をスイングアームピボットポイント調整で合わせる

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



重要事項

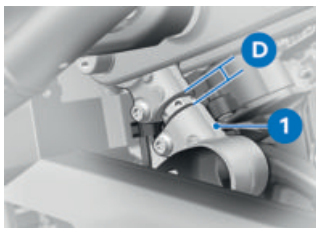
自動車の水平方向の傾き

事故による部品の損傷


- 車両が横転しないように固定する。

108 調整

- モーターサイクルをエンジンジャッキで持ち上げて、リヤスイングアームにかかる荷重を解除します。



- スラストストラット **1** のクリアランス **D** を測定します。

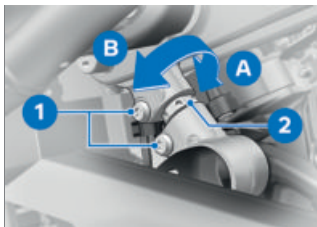
 スイングアームピボット
調整補正時のプッシュストラットのクリアランス

9.5 mm (基本調整)


8.0...13.0 mm (調整範囲)

12.5 mm (スイングピボット点の位置 2)

13.0 mm (スイングピボット点の位置 3)



- クランプボルト **1** を緩めます。
- 車高を上げるには、調整ボルト **2** を **A** の方向へ回します。
- 車高を下げるには、調整ボルト **2** を **B** の方向へ回します。
- クランプボルト **1** を締め付けます。

 アジャスティングストラットと固定ボルト

M6 x 25

8 Nm

- エンジンジャッキを取り外します。
- Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備
- DDC のキャリブレーションを行う (▶▶ 108)。◁

DDC キャリブレーション

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC のキャリブレーションを行う

- モーターサイクルをサイドスタンドまたは適切な補助スタンドで立てます。キャリブレーション中は、モーターサイクルに着

座しないでください。荷物は取り除いてください。



- メニュー設定、車両設定、DDC キャリブレーション を呼び出します。
- スタート 1 を選択し、OK 2 で確定します。
 - » キャリブレーションが実行されます。
 - » キャリブレーションが正常に実行された場合には、キャリブレーションの結果は正常。が表示されます。キャリブレーションに失敗！ 車両から全ての荷重を外し、サイドスタンドで立てる。が表示される場合には、キャリブレーションを繰り返す必要があります。
- リピート を選択します。
 - » キャリブレーションを何度試してもうまくいかない場合には、BMW Motorrad Partner (最適) または専門の整備工場にお問合せください。

走行

07

安全に関する注意事項	112
定期点検	115
始動	116
慣らし走行	118
ギヤチェンジ	119
ブレーキ	121
駐車	123
給油	123
モーターサイクルを搬送用に固定します	126

112 走行

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着／着用しないでモーターサイクルに乗ることは、極めて危険です。次のアイテムを、必ず装着／着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や季節にかかわらず、これらのアイテムは必ず装着／着用しなければなりません。BMW Motorrad ディーラーは喜んでご相談に応じます。また、それぞれの目的に合わせた、適切なアイテムをご用意しています。



警告

むき出しで動いている車両部品(ホイール、ドライブシャフト)に、荷物、ゆったりと着用した衣服、ベルトなどが巻き込まれる

事故が起こる危険

- むき出しで動いている車両部品に、ゆったりと着用した衣服などが決して巻き込まれることがないようにしてください。
- 荷物やテンションベルト、ラッシングストラップなどは、むき出しで動いている車両部品から離れたところに保持してください。

荷物の積み込み



警告

**積載超過や不均等な積載により、走行安定性が損なわれる
転倒の危険**

- 許容総重量を超えないようにし、積載に関する注意をお守りください。
- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの設定を車両重量に合わせて調整します。

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- スプリングプリロードおよびショックアブソーバーの調整
- 荷物積載のアンバランス
- 不適切な服装
- タイヤ空気圧が低すぎる
- タイヤトレッドの摩耗
- その他

取り外した部品



重要事項

サーキット走行用に取り外された車両部品のない状態での公道の走行

事故の危険、公道用運転許可の失効

- 公道走行用に規定されているすべての車両部品を取り付けてください。

カーボンホイール

-M カーボンホイール^{OE} 装備

カーボンの材料特性は、たとえば剛性や重量において、金属素材とは著しく異なります。

カーボンホイールの構造損傷は、裸眼では確認できないことがあります。転倒したり、(道路にあいた穴の上を走行するなどして)カーボン構造に著しい影響を受けたりした後など、損傷の疑いが

ある場合には、カーボンホイールについてBMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場での適切なエキスパートによる診断を受ける必要があります。



警告

気づきにくい構造的な損傷
事故の危険

- 転倒したり、激しい衝撃(道路にあいた穴の上を走行した場合など)の影響を受けたりした後は、BMW Motorradディーラー(最適)または専門の整備工場にカーボンホイールの点検を依頼してください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。



警告

健康を害するおそれのある排ガス

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。

警告

健康を損なう蒸気などを吸い込むこと

健康を損なう危険

- フルード類およびプラスチック類から生じる蒸気を吸い込まないでください。
- モーターサイクルは屋外でのみ使用してください。

火傷の危険

注意

走行中のエンジンおよびエキゾーストシステムの過熱

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。

警告

ラジエターキャップを開く

火傷の危険

- ラジエターキャップは、熱くなっている状態のときには開かないでください。
- クーラントレベルをリザーバータンクでのみ点検し、必要に応じて補給してください。

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。

以下の規定を遵守してください：

- フューエルタンクが空の状態では走行しない。
- スパークプラグコネクターを外したままエンジンを作動させない。
- ミスファイアが発生した場合には、ただちにエンジンを停止させる。
- 無鉛ガソリンのみを使用する。
- 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。

重要事項

触媒コンバーター内の未燃焼燃料

触媒コンバーターの損傷

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。

オーバーヒート

重要事項

長時間のアイドリング

冷却不足によるオーバーヒート、極端な場合には車両の燃焼

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。

改造

重要事項

モーターサイクルの改造(例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ)

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障、保証の失効

- いかなる改造も行わないでください。

定期点検

チェックリストを確認し、遵守する

モーターサイクルを定期的な点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

積載条件の変更時：

- フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 97)。
- リヤホイールのスプリングプリロードを調整します (▶▶▶ 98)。
- フロントホイールのショックアブソーバーを調整します (▶▶▶ 101)。
- リヤホイールのショックアブソーバーを調整します (▶▶▶ 102)。

走行開始のたびに

- ブレーキシステムの機能を点検します (▶▶▶ 176)。
- 照明および信号装置の機能を点検します。
- クラッチの機能を点検します (▶▶▶ 180)。
- タイヤのトレッド溝の深さを点検します (▶▶▶ 183)。
- タイヤ空気圧を点検します (▶▶▶ 183)。
- 荷物がしっかりと固定されているか点検します。

燃料補給 3 回目ごと

- エンジンオイルレベルを点検します (▶▶▶ 175)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します (▶▶▶ 177)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します (▶▶▶ 178)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検します (▶▶▶ 178)。

116 走行

- リヤブレーキフルードレベルを点検します (▶▶▶ 179)。
- クーラントレベルを点検します (▶▶▶ 182)。
- チェーンの潤滑を行います (▶▶▶ 192)。
- チェーンのたるみ量を点検します (▶▶▶ 193)。
- チェーンの摩耗状態を点検します (▶▶▶ 194)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
 - ▶ Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶▶ 117)
 - ▶ ABS 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 117)
 - ▶ DTC 自己診断が実施されます。(▶▶▶ 118)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。

i サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできますが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを出した状態で1速に入れると、エンジンは停止します。

i 触媒コンバーターを確実に早急に作動可能状態にするため、エンジン始動後にアイドル

回転数が短時間高くなります。

- 冷間始動時および気温の低い場合：クラッチを切ります。
- M Lightweight 車両バッテリー搭載^{OE}
 - ▶低温ではスタート状態に影響を与える可能性があります。バッテリーに何度も短時間の通電を行うことによりバッテリー温度が上昇し、それに伴ってエンジン始動用に利用可能な出力も上がります。◀



- スターターボタン **1** を操作します。

i バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。

- ▶エンジンが始動します。

» エンジンが始動しない場合は、次のトラブルシューティングをご覧ください。(▶▶ 222)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にした後、メーターパネルがインジケーター／警告灯のテスト、いわゆるPre-Ride-Check (走行前点検)を実施します。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

すべてのインジケーター／警告灯が点灯します。

車両が比較的長い間停止状態にあった後にシステムをスタートされると、アニメーションが表示されます。

段階 2

ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。


ステップ 3

点灯しているすべてのインジケーター／警告灯が逆の順序で消灯します。

駆動システム故障警告灯は 15 秒後に消灯します。

インジケーター／警告灯が点灯しなかった場合：

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

 走行モードまたはその設定に応じて、走行ダイナミクス制御システムの介入は制限されています。

起こりうる制限については、注意！ ABS+DTC の設定。などのポップアップメッセージで表示されます。

ABS およびDTC のような走行ダイナミクス制御システムに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



点滅します。

ステップ 2

» 発進時のホイール回転数センサーの点検。



点滅します。

ABS 自己診断が終了

» ABS 表示灯／警告灯が消灯します。

118 走行



ABS 自己診断が終了して
いません

自己診断が終了していないため、ABS 機能を使用できません。(ホイールセンサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります : min 5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合 :

- 走行を続行することは可能です。ABS 機能もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DTC 自己診断

BMW Motorrad DTC の作動可能状態は、自己診断により点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ1

» 停止状態で診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ゆっくりと点滅します。

ステップ2

» 発進時に診断可能なシステムコンポーネントの点検。



ゆっくりと点滅します。

DTC 自己診断が終了しました

» DTC アイコンが表示されなくなります。

- すべてのインジケーター / 警告灯の表示に注意してください。



DTC 自己診断が終了して
いません

自己診断が終了していないため、DTC 機能を使用できません。(ホイール回転数センサーの点検を行うには、モーターサイクルがエンジン作動状態で最低速度に達していなければなりません : min 5 km/h)

DTC 自己診断の終了後に、DTC の故障が表示される場合 :


- 走行を続行することは可能です。DTC 機能が使用できない、または機能の使用に制限があることに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行


エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。

- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。

 慣らし走行中のエンジン回転数
<7000 min ⁻¹ (走行距離 0...300 km)
<9000 min ⁻¹ (走行距離 300...1000 km)
フルロードなし (走行距離 0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。

 初回点検までの走行距離
500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦力に達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド

制動距離の延長、事故を起こす危険

- 早めにブレーキングしてください。

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグリップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。




警告


路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。

ギヤチェンジ

ギヤシフトアシストPro

 ギヤシフトアシストProに関する詳細情報については、「技術情報」の章をご覧ください。

 ギヤシフトアシストProを使用してシフトダウンを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的にOFFになります。



●ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。

»シフトロッドのセンサー **1** が希望のシフトを検知し、シフトサポートを行います。

»定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。

BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転数域におけるシフトアシストの使用は避けてください。

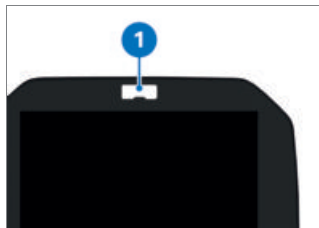
»以下の状況では、シフトアシストは作動しません：

- クラッチが操作されている場合。
- シフトレバーが初期位置にない場合
- 減速時またはスロットルバタフライを閉じた状態(惰性走行)でのシフトアップ時

-スロットル開時、またはスロットルバタフライが開いている状態でのシフトダウン時。

- ギヤシフトアシストを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。

シフトポイント用フラッシュ



シフトポイント用フラッシュ **1** は、高速へのシフトチェンジのタイミングに近づいていることを知らせます。

- 設定されている周波数でシフトポイント用フラッシュが点滅：シフト回転数に間もなく到達します
- シフトポイント用フラッシュが消灯：シフト回転数に達しています

回転数しきい値およびシフトポイント用フラッシュの点灯方法については、メニュー設定、車両設定で調整することができます（「操作」の章も参照（▶▶ 61））。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント／リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、より大きな制動力が伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかけることが必要です。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad ABS Proによって回避されます。

しばしばトレーニングされる「緊急ブレーキ」では、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力が完全には路面に伝達できなくなります。さらにホイールにかかる負荷の不足により、ABSはわずかなブレーキ作用でフ

ロントホイールのロックを回避しなければなりません。これによりブレーキの効きが悪くなります。

ハザードブレーキング

50 km/h を超える速度で急ブレーキをかけると、ブレーキライトが素早く点滅することで、後方の運転者に対する追加警告が発せられます。

その際 15 km/h 未満までに減速すると、ハザードランプが ON になります。速度が 20 km/h 以上になると、ハザードランプは自動的に再び OFF になります。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときに強烈なリヤブレーキをかける

オーバーヒートによるブレーキの破損、制動作用の損失
 ・フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンプレーキを使用してください。

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

122 走行

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- 雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- 洗車の後。
- 塩が撒かれた路面を走行したとき。
- ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- 汚れている路面や、オフロードの走行時。



警告

**濡れや汚れが原因でブレーキの効きが悪くなる
事故の危険**

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようにするまでは、ブレーキを早めに操作してください。

ABS Pro

走行における物理的限界



警告

**コーナーにおけるブレーキング
ABS Pro 装備でもある転倒の危険性**

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。




ABS Pro は走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC、RACE でONの状態です。走行モードRACE PROではABS Proを個別に設定することができます。

転倒をなくすことはできない

たとえABS Pro およびDynamic Brake Control がライダーのために、バンク時のブレーキングの際に万全のサポートを行い、安全性において著しいプラス効果を発揮しても、走行における物理法則の限界を超えられるものではありません。従来と同様に、誤った判断や運転ミスなどにより、この限界を超えることがあります。極端なケースでは、それが転倒につながることもあります。

公道での使用

ABS Pro およびDynamic Brake Control は、公道においてモーターサイクルをより安全に使用するためのものです。コーナーにおける思いがけない危険な状況が原因のブレーキング時に、ABS Pro は走行における物理的限界の範囲内で、ホイールのロックやスリップを回避します。緊急ブレーキ時には、ブレーキ動作中に誤ってスロットルグリップが操作された場合、Dynamic Brake Control が介入してブレーキ作用を高めます。

 ABS Pro はバンク時の個々のブレーキ性能の向上のために開発されたものではありません。

駐車

サイドスタンド

- エンジン进行停止させます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い

転倒によるコンポーネントの損傷

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。

- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。

- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。

給油

燃料品質

前提条件


最適な燃費となるよう、サルファー(硫黄)フリーの燃料、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。


重要事項

**有鉛ガソリンを給油する
触媒コンバーターの損傷**


- 有鉛ガソリンや金属添加物（マンガン／鉄など）を含む燃料は決して給油しないでください。

- 燃料に含まれるエタノールの最大比率に注意してください。

 ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

 推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン（ハイオク）（最大 5%エタノール、E5）
98 ROZ/RON
93 AKI

 燃料品質の選択肢

無鉛スーパー（出力および燃費における制約。）（エタノール 10%以下、E10）
95 ROZ/RON
90 AKI

給油

警告

**フューエルは簡単に引火します
火災や爆発の危険**

- フューエルタンクに関する作業時には、いかなる場合でも、決してタバコを吸ったり、火を使ったりしないでください。

警告

**燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる
転倒の危険**

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。

⚠ 重要事項

プラスチック表面に燃料が付着
表面の損傷(見苦しくなる、また
はつやのない状態になる)

- プラスチック表面が燃料に触れた場合には、ただちに清掃します。

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。




- 保護キャップ **1** を開きます。
- フューエルタンクのロック **2** を、車両キーを使用して時計回りに回してロック解除し、開きます。




- 前述のグレードのフューエルを
フィルターネックの下端(MAX 位
置) まで補給します。

i 燃料残量を下回った後に給油を行う場合、給油後の充填量が燃料残量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯がOFFになります。

i テクニカルデータ(仕様諸元) に記載されている「フューエル容量」は、フューエルタンクが空に近づき、燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。

 フューエル容量

約 16.5 l

 フューエルリザーブ容量

約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

126 走行

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップ(固定ベルト)が取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します。たとえば、接着テープや柔らかなウェスなどを使用してください。

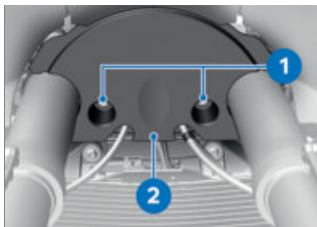


重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く

転倒によるコンポーネントの損傷

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。
- モーターサイクルを搬送用プレートの上に移動させます。サイドスタンドで立てないこと。



- ボルト **1** を取り外し、フォークシールド **2** を外します。



重要事項

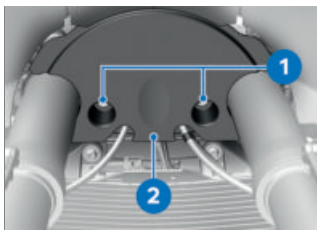
コンポーネントの挟み込み

コンポーネントの損傷


- コンポーネント(ブレーキラインやケーブルなど)が挟み込まれないようにしてください。
- フロント側テンションストラップをロウフォークブリッジ左右に取り付けます。
- テンションストラップを下方方向にピンと張ります。



- リヤ側テンションストラップをリヤフレームに取り付けてピンと張ります(左右)。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるかぎりしっかりと固定されるようにします。



- 搬送後にフォークシールド **2** を組み込み、ボルト **1** を取り付けます。

 フォークブリッジ下部のフォーク隔離部

M5 x 14

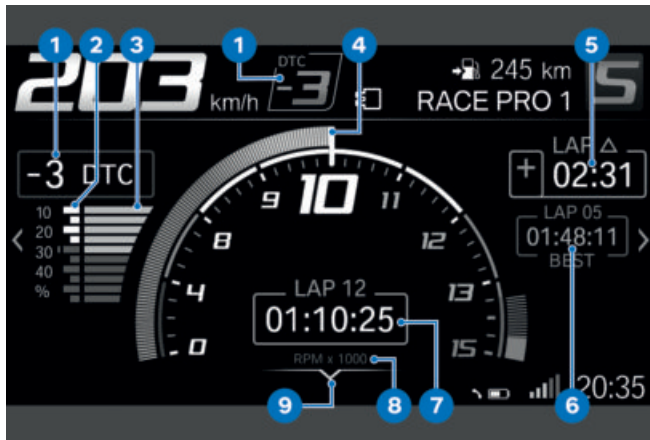
2 Nm

レースサーキット
で

08

サーキット走行用表示	130
LAPTIMER	133
サーキット走行用車両設定	134
RACE PRO 走行モード	135
LAUNCH CONTROL	136
PIT LANE LIMITER	138
DTC	139
サーキット走行用サスペンション調整	141
ミラーを脱着する	142
ライセンスプレートベースを脱着する	145
M COVER KIT	150
ABSをレースサーキット走行時にオフにする	152
逆シフトパターン	153
データ記録と2D ソフトウェア	154

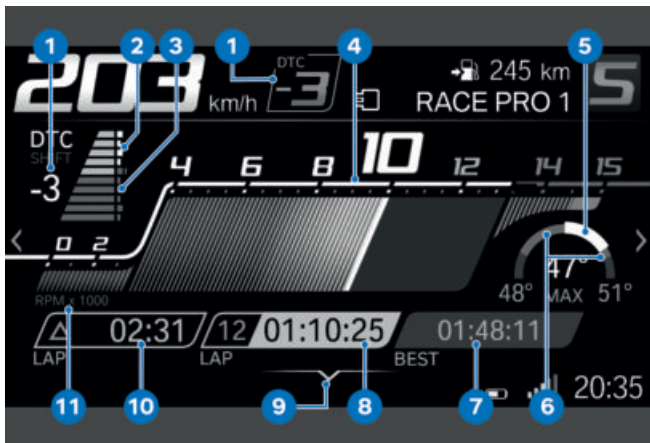
Sport 2 表示



- 1 一走行モードPro^{OE} 装備
DTC を調整する (▶▶▶ 139)。
- 2 最大DTC トルク低減
- 3 現在のDTC トルク低減
- 4 エンジン回転数表示
- 5 前回のラップタイムと基準
タイムの差または現在の
ラップタイムと基準タイム
の差
- 6 基準タイム：現在登録さ
れているラップで最速のも
の、またはかつて登録され
た最速ラップ (▶▶▶ 133)
- 7 現在のラップタイム
- 8 回転数表示の単位：1000
rpm
- 9 操作サポート

132 レースサーキットで

Sport 3 表示



- 1 一走行モードPro^{OE} 装備
DTCを調整する (▶▶▶ 139)。
- 2 最大DTCトルク低減
- 3 現在のDTCトルク低減
- 4 エンジン回転数表示
- 5 現在のバンク角
- 6 最大バンク角
- 7 基準タイム：現在登録されているラップで最速のもの、またはかつて登録された最速ラップ (▶▶▶ 133)
- 8 現在のラップタイム
- 9 操作サポート
- 10 前回のラップタイムと基準タイムの差または現在のラップタイムと基準タイムの差
- 11 回転数表示の単位：1000 rpm

LAPTIMER

タイム計測を開始する

- メニューSport を呼び出し、表示Sport 2 またはSport 3 に切り替えます。
- エンジンを始動させます。



- ボタン 1 を押します。
 - » タイム計測が進行中です。
- 次の走行ラップの記録を開始するため、スタートライン／ゴールラインを越えるごとに、ボタン 1 を改めて押します。
 - » 前の走行ラップのデータが保存されます。
 - » 現在のラップのタイムが00:00:00 で再開します。
 - » 走行ラップの停止時間が、現在の走行ラップの進行中のタイムに切り替わる前に、調整可能な表示時間 用に表示されます。
 - » 記録中に表示モードが閉じられても、記録はそのまま続けて行われます。

時間計算を終了し、時間を管理する

前提条件

表示Sport 2 またはSport 3 が表示されます。

- モメンタリボタンMENU 下を押します。
 - »メニューLAPTIMER が表示されます。
- 記録の終了 で進行中の記録が終了できます。
- ラップで現在のラップタイムと走行データ呼び出せます。99 回までラップが保存できます。それ以上になってもラップが削除されない場合、次のラップで最初のラップが上書きされます。
- すべてのラップを削除 ですべてのラップを消去できます。
- Best Ever を削除 でそれまでで最高のレースラップ (Best Ever) をリセットできます。

ラップタイマーを調整する

- メニュー設定、車両設定、ラップタイマー を呼び出します。以下の設定が可能です：
 - » デバウンス時間：パッシングライトが操作された場合、ラップタイム測定に影響を及ぼすことなく、この時間内にパッシングライトを再度操作することができます。

134 レースサーキットで

—M GPS-Laptrigger^{OE} 装備

- » トリガー：操作の変更。手動：パッシングライトによる作動。外部：M GPS-Laptrigger による作動。新しいラップの自動的な信号伝達用および記録された走行データの評価用には、オプションで用意されているアクセサリーM Datalogger (GPS-Laptrigger を含む) が必要です。◁
- » 表示時間：現在のラップタイムが表示される前に、この時間内にラップの停止時間が表示されます。
- » 記録：どのベストタイムを基準として表示するかを選択。Best：現在の記録のベストタイム、またはBest Ever：過去に測定されたベストタイム。
- » 進行中のベストラップ：この機能がONになっている場合には、前回のラップタイムと基準タイムの差は表示されず、現在のラップタイムと基準タイムの差が表示されます。

過去最高のレースラップ

過去最高レースラップ (Best Ever) は記録されているすべてのレースラップで最速のものであり、さらに速いラップが記録されるとただちに更新されます。過去最高レースラップは、記録されているレースラップが消去されるときにも、登録されたまま残

ります。これにより、他の時点において新しい走行を記録し、以前の走行のベスト走行ラップと比較することができます。

過去最高のレースラップは、メニューLAPTIMER で消去できません。

過去最高のレースラップが保存されている記録ものである場合、対応するラップ番号と一緒に表示されます。過去最高のレースラップにラップ番号がない場合、これはすでに消去されている記録からのものです。

サーキット走行用車両設定

レーシングコース用設定を有効にする

- メニュー設定 を呼び出し、サーキット を作動させます。
- 設定 を選択します。



レーシングコース機能をオンにすると、Connectivity 機能メディア、電話およびナビゲーションが作動解除されます。

設定メニュー



レースサーキットでの走行用に、ライト故障に関する警告を抑制することができます。

-走行モードPro^{OE} 装備

Pit Lane Limiter の回転数を調整することができます (▶▶▶ 139)。

RACE PRO 設定 で、車両パラメーターを細部にわたって調整することができます (▶▶▶ 135)。

照明警告：サーキット走行用にウインカーやライセンスプレートベースを取り外すと、車両エレクトロニクスがこれをライトの故障として検出し、該当する警告メッセージがディスプレイに表示されます。照明警告 が OFF の場合には、警告メッセージが出ないように抑えられます。

RACE PRO 走行モード

-走行モードPro^{OE} 装備

レーシングコース用設定

RACE PRO ドライビングモードでは、シャシーコントロール、ブレーキコントロールおよびエンジンコントロールをプロフェッショナルに細かく適度できます。これによってドライバー要求、コースの状態および天候を個別に考慮できます。

以下のパラメーターを調整できます：

-エンジン

-Engine Brake

-トラクション (DTC)

-ウィリー (DTC)

-ABS

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

-DDC

パラメーターに関する詳しい情報は (▶▶▶ 163)を参照してください。

3つのRACE PRO ドライビングモードを設定できます。

RACE PRO ドライビングモードは、同じくボタンMODE で選択します (▶▶▶ 54)。

136 レースサーキットで

走行モード RACE PRO が作動すると、ドライビングモード RAIN、ROAD および DYNAMIC がなくなります。その代わりに、ドライビングモード RACE、RACE PRO 1、RACE PRO 2 および RACE PRO 3 で切り替えられます。

走行モード RACE PRO が作動解除されると、あらかじめ定義されたすべてのドライビングモードが再び使用できるようになり、ドライビングモード ROAD が選択されます。

RACE PRO 走行モードの環境設定を行う

- メニュー設定 を呼び出し、サーキット をアクティブにします。
 - 設定 を選択し、走行モード RACE PRO をアクティブにします。
 - 設定 を選択します。
- »現在の環境設定が一覧で表示されます。



- 設定を選択します。



- パラメーターを1つ選択します。
- »現在の設定が図と数値で表示されます。さらに各設定についての説明文が表示されます。
- 設定が標準の走行モードにも含まれている場合には、この走行モードが挙げられます。
- 設定を、ご希望に合わせて変更します。

初期設定へのリセット

- 設定を選択します。
- パラメーターリスト内で下に向かってスクロールして、最後の登録項目リセットを選択します。

LAUNCH CONTROL

Launch Control によるレーススタート

- 走行モード Pro^{OE} 装備

Launch Control は、ライダーがレーススタートで理想的なトルク状態を保つのをサポートします。

 Launch Control の作動後にフルスロットルでのエンジン回転数

9000 min⁻¹

Launch Control が ON の状態では、フロントホイールが軽く浮き上がる程度に最大駆動力が調整されるように、エンジントルクが低減されます。フロントホイールの浮き上がりが検知されると、トルクは一時的に少し戻されます。設定されている固定速度から、スピードリミッターは OFF になります。

 Launch Control 用の回転数制限が無効になる速度

約 70 km/h

Launch Control は以下の条件下で OFF になります：

- 3 速に入っています。
- 傾きが 30° 以上になる。
- エンジンまたはイグニッションが OFF になる。
- ブレーキが操作される。

クラッチ保護のために、Launch Control で続けてスタートできる回数は制限されています。まだ可能なスタートの回数がディスプレイに表示されます。例：Launch Control: 3 starts still avail.。

Launch Control を操作する



注意

Launch Control により最大限の加速が可能になりますが、それにより通常とは異なる走行状態になることがあります。加速による事故の危険があります。

- Launch Control はサーキットでのみ使用します。
- 車両をスタートポジションにします。
- » 車両は停止し、エンジンは作動します。



- スターターボタン **1** を押したまま保ち、Launch Control の使用が認められているスタートの

138 レースサーキットで

数がディスプレイに表示されるようにします。

- » もはやそのようなスタート数がない場合には、L-Con 使用不可。クラッチが熱すぎる。が表示されます。
- クラッチを冷却します。



クラッチの冷却

約 3 min (エンジン作動状態)

約 20 min (エンジン停止状態)

- 始動は通常通り行い、少なくとも回転数制限に達するまで、スロットルグリップを開けます。
- クラッチを入れると、スロットルグリップを全開します。
- » シフトポイント用フラッシュが点灯または点滅します。
- » Launch Control は、リヤホイールにおけるトルクを理想的に制御し、エンジン回転数を下記で指定されている速度まで一定に保ちます。
- スロットルグリップを全開にします。



Launch Control 用の回転数制限が無効になる速度

約 70 km/h

- » スロットルグリップがフルロード位置のため、回転数リミットが OFF になるとすぐ、エンジン回転数が上昇します。
- » スロットルグリップは再び通常通りに反応します。

- サーキットコースに応じて、シフトアップおよびコーナーでのバンク走行を行います。
- » 3 速に入れるか、またはバンク角度が 30° を超えると、シフトポイント用フラッシュが消えます。
- » Launch Control を使用したレーススタートは終了しています。

PIT LANE LIMITER

-走行モードPro^{OE} 装備

車速をPit Lane Limiterで制限

Pit Lane Limiter は、ピットレーンなどで制限速度を守るためのサポート機能です。そのために、エンジンの最高回転数は 1 速走行に固定されます。



最大回転数から生じる速度は、レシオとタイヤサイズに応じて異なります。

値フィールド

-3500~8000 rpm/100 ステップ

Pit Lane Limiter を調整する

- メニュー設定 を呼び出し、サーキット を作動させます。
- 設定 を選択します。
- ピットレーンリミッター を作動させます。
- 設定 を選択します。
- エンジン回転数 を調整します。

Pit Lane Limiter を操作する



- 1 速で走行します。
- スターターボタン 1 を押したまま保ちます。
- 設定した最高回転数に達するまで、スロットルグリップを開きます。
- » エンジン回転数は点火遮断により制限されます。

警告

スターターボタンから手を放すと、スロットルグリップ位置に対応した加速が行われます。スロットルグリップを急激にフルロード位置にすると、転倒の危険性があります。

- スロットルグリップは全開にせず、制限回転数に達するところまでにします。

- スターターボタン 1 から手を放します。
- » 車両を最大限に加速させます。

DTC

DTC 設定

選択した走行モードに合わせて、DTC により、リヤホイールの許容スリップが制御されます。

–走行モードPro^{OE} 装備

走行モード RACE PRO の環境設定内で、制御を詳細に調整することができます。

RACE PRO 走行モードを設定する (▶▶▶ 136)




走行中に、左側ハンドルバー操作ユニットのDTC ロッカースイッチ 1 を使用して、DTC 設定を変更することができます。

DTC を調整する

–走行モードPro^{OE} 装備

- RACE PRO 走行モードの環境設定を行う (▶▶▶ 136)。
- ご希望のRACE PRO 走行モードを選択します。

 DTC は走行中も適合可能です。

140 レースサーキットで



走行モード RACE PRO が ON の場合、速度制限の情報 1 は非表示になり、代わりにDTC制御値 2 が表示されます。



• ロッカースイッチ 1 を上方向へ短押しし、DTC制御を高めます。

警告

DTC制御の低下によりリヤホイールが空転し、安定性が失われる。

転倒の危険

- DTC制御はレースサーキット上でのみ弱めます。
- DTCコントロールは一度に1段階だけ変更し、走行特性への影響をい慎重にテストしてください。

- DTCロッカースイッチ 1 を下方へ短押しし、DTC制御を低減させます。
 - » 設定した値はディスプレイに表示され、その値は-7~7になります：
 - » 1 … 7：リヤホイールのスリップの低減(最大7段階分)。値7では、DTC介入が最も早くなります。
 - » -1 … -7：リヤホイールのスリップの増大(最大7段階分)。値-7ではDTC介入が最も遅くなります。
 - » 0：工場設定
 - » DTC表示が非表示：DTCはOFFの状態です。

DTC を OFF にする

ぬかるみや荒れた路面(サーキットの砂利層など)では、DTCの介入によりリヤホイールにかかる駆動力が小さくなり、リヤホイールが回転しなくなる恐れがあります。このような場合、BMW Motorrad は事前にDTCをOFFにしておくことをお勧めします。

ぬかるみや荒れた路面でのリヤホイールの空転に注意し、しっかりとした固い路面に到達する前に、適時にスロットルグリップを閉じてください。

DTCをオフにすると、同様にトラクションコントロールとウィーリー抑制機能がオフになります。その後、DTCを再びONにしてください。

DTCをオフにする (▶▶▶ 53)

サーキット走行用サスペンション調整

サーキット走行用の推奨事項に注意してください：

ステアリングダンパーを調整します (▶▶▶ 96)。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

リヤホイールのスプリングプリロードを調整します (▶▶▶ 98)。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

リヤホイールのスプリングプリロードを調整します (▶▶▶ 100)。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備

フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整します (▶▶▶ 101)。

フロントホイールのリバウンドダンピングを調整します (▶▶▶ 102)。

リヤホイールのリバウンドダンピングを調整します (▶▶▶ 102)。

リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整します (▶▶▶ 103)。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

ダイナミックダンピングコントロール(DDC)は適切なダンピングを自動的に選択します (▶▶▶ 161)。

142 レースサーキットで

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

-走行モードPro^{OE} 装備

ダイナミックダンピングコントロール(DDC)はフロントホイール用およびリアホイール用に個別に調整可能です(▶▶▶ 136)。

車高を調整します(▶▶▶ 107)。
スイングアームを調整します(▶▶▶ 104)。

ミラーを脱着する

ミラーを取り外す

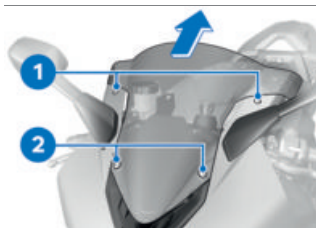
重要事項

ミラーを取り外す

公道用運転許可の失効

・ミラーまたはウインカーなしで公道を走行しないでください。

・モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



・ボルト1および2を取り外す。


・ウインドシールドを 矢印方向に取り外します。



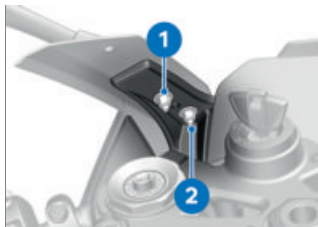
・エアインテークフラップ上部を 矢印方向にクランプ留めから外し、下方向へ取り外します。



・コネクター(右ウインカー用 1 および左ウインカー用 2)を外します。

 レースサーキット走行用にウインカー内蔵型ミラーが取り外されると、車両エレクトロニクスがこれをライトバルブの故障として検出し、該当する警告メッセージをディスプレイに表示します。機能照明警告をメニュー「サーキット設定」で作動解


除することにより、この警告メッセージは止まります。



- 左右のナット **1** および **2** を取り外し、ミラーを取り外します。
- ケーブルを慎重に取り外します。



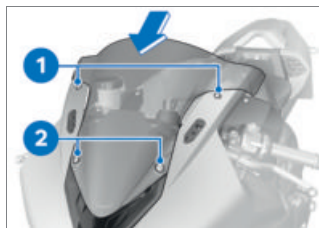
- フェアリング **1** を左右のフェアリングブラケット **2** に固定します。タイラップを使用する場合には、擦れたり、摩耗しそうな箇所を接着テープで保護します。

 ボルト穴を覆ったり、再固定したりするには、M Cover Kit (BMW Motorrad 用) を使用してください。M Cover Kit にはさ

らに、ボディ電装への水分の浸入を防ぐため、使用されていない差し込み接続部用のダミープラグが含まれています。



- エアインテークフラップを取り付け **1**、上側をクランプ留めます **2**。



- ウィンドシールドを 矢印方向に組み込みます。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

 ウィンドシールドとエアインテーク

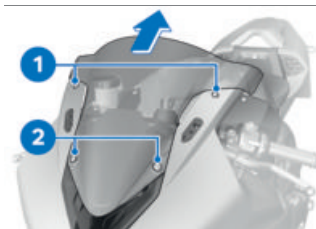
M5 × 16

1 Nm

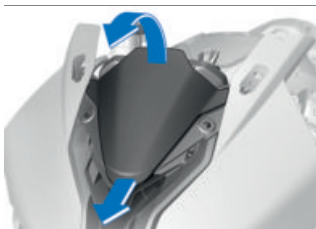
144 レースサーキットで

ミラーを取り付ける

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- フェアリング固定部を取り外します。



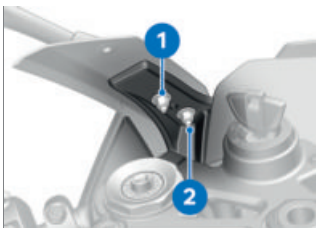
- ボルト **1** および **2** を取り外す。
- ウィンドシールドを **矢印方向** に取り外します。




- エアインテークフラップ上部を **矢印方向** にクランプ留めから外し、下方向へ取り外します。



- ウィンカー用ケーブルを慎重に通し入れます。
- 左右のミラーをサポート **1** に組み込みます。



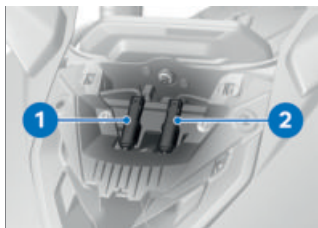
- ナット **1** および **2** フェアリングの裏側に規定の締付けトルクで締め付けて取り付けます。

 フロントキャリアのミラー

M6

ボルト固定剤: メカニズム部分

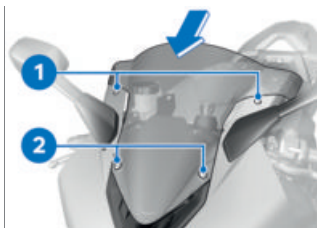
8 Nm



- コネクター(右ウインカー用 1 および左ウインカー用 2)を接続します。
- ウインカーの機能を点検します。



- エアインテークフラップ下側を取り付け 1、上側をクランプ留めします 2。



- ウィンドシールドを 矢印方向に組み込みます。
- ボルト 1 および 2 を取り付けます。

 ウィンドシールドとエアインテーク

M5 × 16

1 Nm

ライセンスプレートベースを脱着する

ライセンスプレートベースを取り外す

重要事項

ライセンスプレートベースを取り外す

公道用運転許可の失効

- ライセンスプレートベースなしで公道を走行しないでください。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

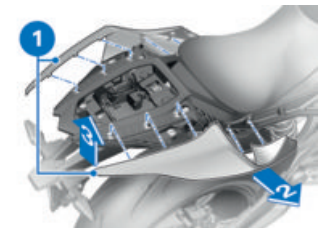
146 レースサーキットで

ーパッセンジャーパッケージ^{OE}
装備

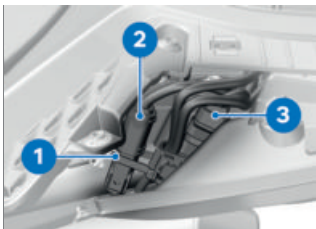
- リヤシートを取り外す (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り外す (▶▶▶ 64)。




- ボルト **1** および **2** を取り外す。
- 左右のリヤフェアリングを慎重に **矢印方向** にクランプ留めから外します。



- 左右のリヤフェアリング **1** を慎重に、まずは水平方向に **2**、次に垂直方向に **3**、クランプ留めから外します。

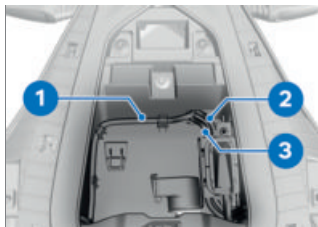


- タイラップ **1** を取り外します。
- コネクター(ライセンスプレートライト用 **2** および左ウインカー用 **3**) を外します。

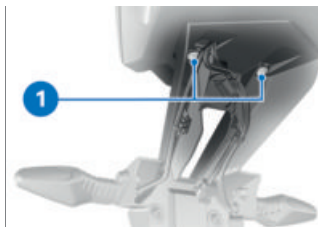
 レースサーキット走行用にライセンスプレートベースが取り外されると、車両エレクトロニクスがこれをライトバルブの故障として検出し、該当する警告メッセージをディスプレイに表示します。機能照明警告をメニュー **サーキット設定** で作動解除することにより、この警告メッセージは止まります。



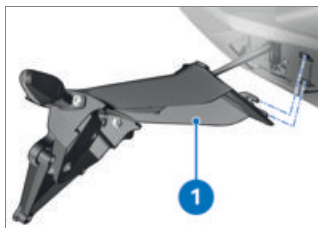
- 右ウインカー用コネクター **1** を外します。



- ケーブル(右ウインカー **1**、左ウインカー **2**、ライセンスプレートライト **3** 用) を取り外します。




- ボルト **1** を取り外します。

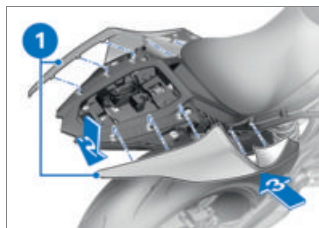


- ライセンスプレートベース **1** をフックから外し、下方へ取り外します。

- ケーブルを慎重に取り外します。

 ボルト穴を覆ったり、再固定したりするには、M Cover Kit (BMW Motorrad 用) を使用してください。M Cover Kit にはさらに、ボディ電装への水分の浸入を防ぐため、使用されていない差込み接続部用のダミープラグが含まれています。

- 使用されていない差込み接続部に水分が侵入しないように保護します。BMW Motorrad M Cover Kit に含まれているダミープラグを使用するのが最善です。



- 左右のリヤフェアリング **1** を慎重に、まずは垂直方向に **2**、次に水平方向に **3**、クランプ留めます。

148 レースサーキットで



- リヤフェアリングを慎重に、**矢印方向** にクランプ留めします。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

-パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- リヤシートを取り付ける (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り付ける (▶▶▶ 65)。

ライセンスプレートベースを取り付ける

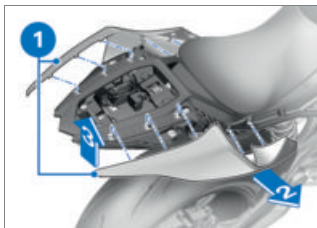
- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

-パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

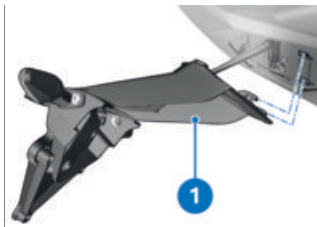
- リヤシートを取り外す (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り外す (▶▶▶ 64)。



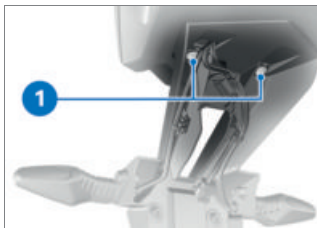
- ボルト **1** および **2** を取り外す。
- 左右のリヤフェアリングを慎重に **矢印方向** にクランプ留めから外します。



- 左右のリヤフェアリング **1** を慎重に、まずは水平方向に **2**、次に垂直方向に **3**、クランプ留めから外します。



- ライセンスプレートベース **1** を組み込み、ケーブルを慎重に通し入れます。
- ライセンスプレートベース **1** をフックにかけます。



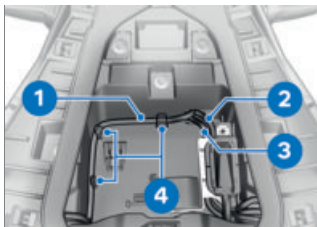
- ボルト **1** を取り付けます。



ライセンスプレートベースとリヤフレーム

M5 x 25

2 Nm

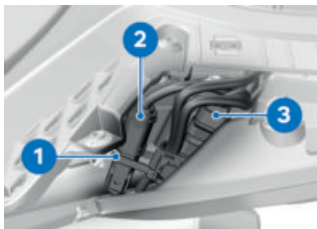


- 右ウインカー用ケーブル **1** を通し、ホルダー **4** に固定します。
- 左ウインカー **2** およびライセンスプレートライト **3** 用ケーブルを通し入れます。

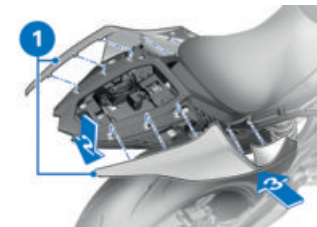


- 右ウインカー用コネクタ**1** を接続します。

150 レースサーキットで



- コネクター(ライセンスプレートライト用 2 および左ウインカー用 3) を接続します。
- タイラップ 1 を取り付けます。
- 照明およびウインカーの機能を点検します。



- 左右のリアフェアリング 1 を慎重に、まずは垂直方向に 2、次に水平方向に 3、クランプ留めします。



- リアフェアリングを慎重に、**矢印方向** にクランプ留めします。
- ボルト 1 および 2 を取り付けます。

—パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備


- リヤシートを取り付ける (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り付ける (▶▶▶ 65)。

M COVER KIT

ボディ開口部をカバーする 前提条件

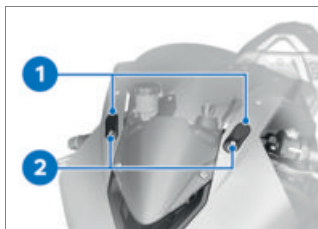
M Cover Kit は、ミラーおよびライセンスプレートベースを取り外した際、フロントトリムパネルをプロフェッショナルに固定するために、またボディ開口部をカバーするために使用します。

- ミラーを取り外す (▶▶▶ 142)。
- ライセンスプレートベースを取り外す (▶▶▶ 145)。
- M Cover Kit を取り付ける。


 オプションアクセサリまたはレンシュボルト(レーシングスポーツ) アクセサリの取付説明書を確認し、順守してください。

- M Cover Kit を取り外した後で、ミラーおよびライセンスプレートベースを再び取り付けます。
- ライセンスプレートベースを取り付ける (▶▶▶ 148)。
- ミラーを取り付ける (▶▶▶ 144)。

M Cover Kit を取り付ける



- ミラーホルダーカバー **1** を組み込みます。
- ボルト **2** を取り付けます。

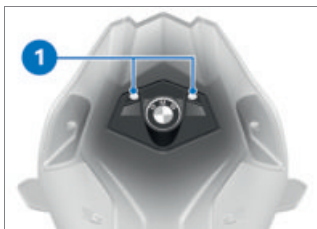
 ミラー固定用カバー

M6 x 25

3 Nm

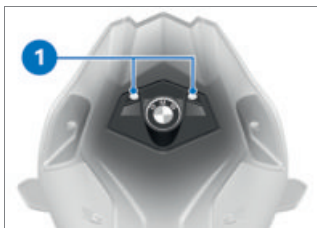


- ライセンスプレートベースカバー **1** をフックに掛けて、組み込みます。



- ボルト **1** を取り付けます。

M Cover Kit を取り外す

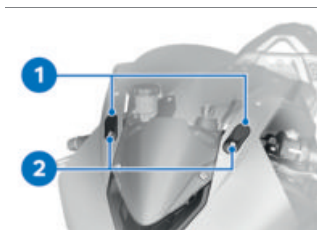


- ボルト **1** を取り外します。

152 レースサーキットで



- ライセンスプレートベースカバー **1** をフックから外して、下方向へ取り外します。
- ライセンスプレートベースを取り付ける (▶▶▶ 148)。



- ボルト **2** を取り外します。
- ミラーホルダーカバー **1** を取り外します。
- ミラーを取り付ける (▶▶▶ 144)。


ABS をレースサーキット走行時にオフにする

ABS 機能を OFF にする

前提条件


ライセンスプレートベースが取り外されている。

- イグニッションを ON にする (▶▶▶ 48)。

 ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。



- ボタン **1** を 3 秒以上押します。

 点灯します。


- ▶ ABS 機能は OFF の状態です。
- ▶ インテグラル機能は OFF の状態です。
- ▶ Hill Start Control 機能は引き続き ON の状態です。
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- ▶ Dynamic Brake Control 機能は、ABS 機能が OFF になっていると同様に OFF の状態です。◀

- » 走行モード RACE PRO では、ABS 機能はイグニッション OFF / ON 後も OFF のままになります。
- BMW Motorrad Integral ABS 装備ブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章を参照してください：
- » パーシャルリーインテグラルブレーキ (▶▶▶ 158)
- » 発進アシストの機能 (▶▶▶ 167)
- 走行モード Pro^{OE} 装備
- » Dynamic Brake Control の機能 (▶▶▶ 165)◁

ABS 機能を ON にする



- ボタン 1 を 3 秒以上押します。ABS 消灯します。自己診断が完了していない場合には、点滅し始めます。
- » ABS 機能は ON の状態です。
- メニュー設定 でオプションサーキット が OFF になっている場合、ABS を ON にするには、イグニッションを一旦 OFF にして再び ON にします。

 イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後に ABS インジケーター / 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。

min 10 km/h

逆シフトパターン

サーキット走行用シフトパターン

シフトロッドを付け替えることにより、サーキット走行用にシフトパターンを逆にすることができます。逆シフトパターンでは、1 速用シフトペダルは上方向へ、他のすべてのギヤは下方向へ操作しなければなりません。これは公道での操作とは逆です。

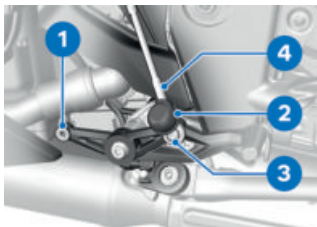
逆シフトパターン

重要事項

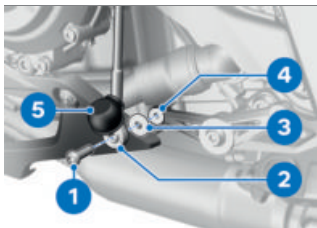
公道における逆シフトでの走行
公道用運転許可の失効

- 逆シフトは公道では使用しないでください。


154 レースサーキットで



- ねじ山 **1** を清掃します。
- 保護キャップ **2** を抜き取って、シフトロッド **4** に押し込みます。
- ボルト **3** とワッシャーを取り外します。
- シフトロッド **4** を逆シフト用のネジ山 **1** に移し替えます。




- ボルト **1** をボールジョイント **2** とワッシャー **3**に通します。
- ボルト **1** を逆シフト用のネジ山 **4**に取り付けます。

 ギアシフトペダルのシフトロッド

M6 x 20

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

 ギアシフトペダルのシフトロッド

8 Nm

- 保護キャップ **5** を被せます。
»サーキット走行用の逆シフトが設定された状態です。

データ記録と2Dソフトウェア

-M GPS-Laptrigger^{OE} 装備

データ記録と2Dソフトウェア

2Dソフトウェアの取扱い、記録された走行データの読み出しおよび評価に関して必要なすべての情報とサポートは、以下に記載されています：

2d-datarecording.com/en/m-gps-laptrigger.

技術情報

09

一般的な情報	158
アンチロックブレーキシステム (ABS)	158
ダイナミックダンピングコントロール(DDC)	161
ダイナミックトラクションコントロール (DTC)	162
走行モード	163
DYNAMIC BRAKE CONTROL	165
シフトアシスト	166
ヒルスタートアシスト(HILL START CONTROL)	167

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下をご覧ください：bmw-motorrad.com/technik

アンチロックブレーキシステム (ABS)

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント/リヤホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合、リヤブレーキのみの作動となります。



重要事項

インテグラル機能を見逃し てBurn-outを試す

リヤブレーキおよびクラッチが損傷

- Burn-out を行ってよいのは、車両停止状態からのみに限られています。Burn-out は通常のモーターサイクル用途ではないため、エラーメッセージが出る場合があります。

ABS はどのように作動するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低くなるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。このような状況になる前に、ABS が介入して、ブレーキ圧を伝達される最大ブレーキフォースに適応させます。それによりホイールが回転し続け、路面状態に関係なく走行安定性が維持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、再び路面に接触する際の走行安定性を確保するために ABS はブ

レーキ圧を低減する必要があり
ます。この時、想定できるいかな
る状況においてもホイールが
回転し、それにより走行安定性
が確保されるよう、BMW Motorrad
Integral ABS では摩擦係数を非
常に低く見積もっています（砂
利、凍結、積雪の場合）。実際の状
況が明らかになった後、システム
はブレーキ圧を最適な値にセッ
トしなおします。

BMW Motorrad ABS Pro の作動は、 ライダーにとってどのように感 じられるでしょうか？

前述の状況により、ABS が制動力
を制限する必要がある場合、ブ
レーキレバーに振動が感じられ
ます。

ブレーキレバーを操作すると、
インテグラル機能によりリヤホ
イールでもブレーキ圧が生成さ
れます。その後ブレーキペダル
を操作すると、ブレーキペダルを
ブレーキレバーの前またはそれ
と同時に操作した場合よりも、
すでに生成されているブレーキ
圧が背圧として早めに感じられ
ます。

リヤホイールの浮き上がり

タイヤと路面の間の路面保持性
が高い場合、強いブレーキをかけ
ると反応が非常に遅くなるか、
フロントホイールのロックがで
きなくなります。それに応じて、
ABS 制御も大幅に遅れるか、また

は作動しません。この場合、リヤ
ホイールが浮き上がることがあ
り、モーターサイクルの転倒につ
ながるおそれがあります。



警告

急激なブレーキによるリヤホ イールの浮き上がり

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御
は、必ずしも常にリヤホイ
ールの浮き上がりを防ぐもの
ではないことに注意してくださ
い。

ABS はどのように設計されている のでしょうか？

ABS は走行物理的な範囲内で、
いかなる路面でも走行安全性を
確保します。このシステムは、
レーストラックの過酷な状況で
生じるような、特別な要求を満
たすために設計されたものでは
ありません。走行の仕方は、走行能
力および路面状態に基づいて調
整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知する
ために、特にフロントホイール
とリヤホイールの回転数が比
較されます。比較的長時間にわ
たり、正常でない値が検知され
ると、安全のためにABS が停止
し、ABS の故障が表示されます。
エラーメッセージの表示には、

160 技術情報

自己診断が終了していることが前提となります。

BMW Motorrad ABS Pro の問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります。

特殊な運転／走行状態：

- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。
- エンジブレーキによる長時間のリアホイールのロック(急勾配での発進時など)。

特殊な走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、ABS 機能は、イグニッションを OFF / ON にすることにより再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム
事故の危険

- BMW Motorrad ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず順守してください。

安全を確保するための予防措置

ABS により制動距離が短くなるからといって、軽率な運転は避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング
ABS を装備していても事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。

ABS Pro

ABS Pro は特にコーナリングでのブレーキ操作時に安全性を高めます。ABS Pro は、急なブレーキ操作時のホイールのロックを回避します。ABS Pro は、特に急ブレーキ時の操舵力の急激な変動を低減させ、望ましくない車両の立ち上がりを起こりにくくします。


ABS 制御

技術的には、ABS Pro はABS 制御をその都度ごとの走行条件に合わせ、モーターサイクルのバンク角に適合させています。モーターサイクルのバンク角を算出

するため、ロールレート信号、ヨーレート信号、横方向加速度信号が使用されます。これはヨーレートセンサーを基にしており、すでにダイナミックトラクションコントロールDTC用およびダイナミックダンピングコントロールDDC用に採用されています。バンク角が大きくなると共に、ブレーキ開始時のブレーキ圧の変化度の制限がますます厳しくなります。これにより、圧力上昇に時間がかかります。さらにABS制御において均等に圧力変換が行われます。

ライダーにとっての利点

ライダーにとってのABS Proの利点は、コーナーにおいても最適な減速を可能にする高精度の応答性、制動安定性および走行安定性です。

 ABS Proは走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC、RACEでONの状態です。走行モードRACE PROではABS Proを個別に設定することができます。

ダイナミックダンピングコントロール(DDC)

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC

DDCは車高センサーを介してサスペンションの動きを検知し、それに反応してEDCバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

-走行モードPro^{OE} 装備

フロントホイールとリアホイールのダンパー値は、メニューRACE PRO設定から14段階で調整できます(段階1:「最もソフト」調整; 段階14:「最もハード」調整)。リヤホイールのリバウンドステージとプレッシャステージの個別設定が可能です。

フロントホイールの衝撃吸収値をリバウンドステージとコンプレッションステージで個別に調整するには、フロントフォークにスプリングトラベルセンサー(レンシュポルト(レーシングスポーツ)アクセサリ)を取り付ける必要があります。

追加のスプリングトラベルセンサーがフロントフォークに取り付けられた場合、既存のリヤスプリングストラットの車高レベルセンサーが交換された場合、またはサスペンションの高さが変更された場合には、必ずキャリブレーションを実行してください。校正は、メニュー設定、車両設定、DDCキャリブレーションでスタートできます。

ダイナミックトラクションコントロール (DTC)

ダイナミックトラクションコントロールはどのように作動するのでしょうか？

DTCはモーターサイクルのバンク角を考慮し、快適に制御し、サーキットでのラップタイムを向上させるのに適しています。

ダイナミックトラクションコントロールはフロントホイールとリアホイールのホイール周速を比較します。速度の差から、リアホイールのスリップおよび安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

DTCは物理的限界の範囲内でのみ支援できます。物理的限界は走行路の路床状態、走行路の温度、タイヤ選択、タイヤ内部温度に大きく左右されます。レーシングコースで不適切なタイヤを使用すると過熱の危険があります。



警告

リスクな走行

DTC 搭載でも事故の危険性あり

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リアホイールの回転(空転) やスリップを検知するため、DTCでは特にフロントおよびリアホイールの回転数が比較され、バンク角が考慮されます。

一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTCがOFFになります。この場合には、DTCの不具合が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

次のような、通常とは異なる運転／走行状態においては、BMW Motorrad トラクションコン

トロールが自動的に OFF になる場合があります。

特殊な運転／走行状態：

- 長時間の後輪走行(ウィーリー)。
- フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転(空転)(バーンアウト)。
- 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転／走行状態に陥る場合があります。このような状態では、BMW Motorrad DTC による補正を行うことはできません。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせ、ご希望の走行体験に適したものにするため、走行モードを以下のものから選択することができます：

- RAIN
- ROAD
- DYNAMIC
- RACE

-走行モードPro^{OE} 装備

- RACE PRO 1
- RACE PRO 2
- RACE PRO 3

走行モードRACE PRO はアクティブ化の後に、走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC から切り替わりません。

それぞれの走行モード用に、システムエンジン、Engine Brake、DTC、ウィリー (DTC)、ABS、DDC 用に調整された設定が用意されています。

-走行モードPro^{OE} 装備

走行モードRACE PRO では、システムエンジン、Engine Brake、トラクション (DTC)、ウィリー (DTC)、ABS、DDC 用の設定は、個別に調整可能です。

トルクとスロットルレスポンス

- 走行モードRAIN：ソフトなスロットルレスポンス、低速ギヤでのトルク低減。
- 走行モードROAD およびDYNAMIC：最適なスロットルレスポンス、低速ギヤでのトルク低減。
- 走行モードRACE：最適なスロットルレスポンス、最大トルク。

164 技術情報

-走行モードPro^{OE} 装備
走行モードRACE PRO では、さらに：ソフトなスロットルレスポンス、最大トルク。

エンジブレーキによる減速効果

-走行モードRAIN およびROAD：最大限のエンジブレーキ効果。
-走行モードDYNAMIC およびRACE：中程度のエンジブレーキ効果。

-走行モードPro^{OE} 装備
走行モードRACE PRO では、さらに：最小限のエンジブレーキ効果。

トラクションコントロール(DTC)

-走行モードRAIN：濡れた路面での最大限の安定性。乾いた路面では加速が低減されることがあります。
-走行モードROAD：乾いた路面での高い安定性。乾いた路面でやや加速が低減されることがあります。
-走行モードDYNAMIC：乾いた路面での高いパフォーマンス。路面状態が悪い場合、最適な安定性は保証されません。
-走行モードRACE：最大限のパフォーマンス。路面状態が悪い場合やツーリングタイヤなどのように適切でないタイヤの場合には、安定性が損なわれることがあります。最適なパフォーマ

ンスを実現するため、走行モードRACE PRO でのトラクションコントロールを、走行中にDTCロッカースイッチを使用して微調整することができます。

Wheelie (DTC) - フロントホイールを浮き上がらせての走行

-走行モードRAIN：最大限の安定性。Wheelieを抑制しようとします。
-走行モードROAD、DYNAMIC、RACE：低いWheelieが可能、最適な駆動力。

-走行モードPro^{OE} 装備
-走行モードRACE PRO で設定 1：高いWheelieが可能。Wheelie 走行を避けるには、ライダーが自らリヤホイールにブレーキをかける必要があります。当該システムは遅れて介入します。
-走行モードRACE PRO で設定 0：システムはOFFの状態です。

ABS

-ウィリーアシストは、走行モードRAIN、ROAD、DYNAMICで作動します。
-走行モードRAIN、ROAD、DYNAMICでは、ABSはオンロード走行用に調整されています。
-走行モードRACEでは、ABSはサーキット走行用に調整されています。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードRACE PRO：ABSの使用を個別に調整することができません。

-Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 装備

DDC

- 走行モードRAIN およびROAD：快適な走行のためのダンピング特性の設定。
- 走行モードDYNAMIC：スポーティな走行のためのダンピング特性の設定。
- 走行モードRACE：サーキット走行のためのダンピング特性の設定。

- 走行モードPro^{OE} 装備
- 走行モードRACE PRO：ダンピング特性を個別に調整可能。

切替

走行モードは、イグニッションがONで車両が停止しているときに変更することができます。走行中の切替は、以下の条件が満たされていれば可能です：

- リアホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない。

走行中に切り替えるには、以下のステップを踏む必要があります：


- スロットルグリップを回し戻す。
- ブレーキレバーを操作しない。
- クルーズコントロールを作動解除します。

ご希望の走行モードをまず事前を選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。走行モードの切替が行われた後、ディスプレイの選択メニューが消えます。

DYNAMIC BRAKE CONTROL

- 走行モードPro^{OE} 装備

Dynamic Brake Control の機能

 Dynamic Brake Control 機能はすべての走行モードでONの状態です。ライダーは走行モードRACE PROでのみABSの個別設定によりOFFにすることができます。

Dynamic Brake Control の機能は緊急ブレーキ時にライダーをサポートします。

緊急ブレーキの検知


- フロントブレーキが瞬間的に力強く操作されると、緊急ブレーキとして検知されます。

緊急ブレーキの際の挙動

- 10 km/h を超える車速で走行しているときに緊急ブレーキが行われると、ABS 機能に加えて Dynamic Brake Control が作動します。
- ブレーキ圧力勾配の大きいパワーストールブレーキの場合、Dynamic Brake Control によりリアホイールのインテグラルブレーキ圧が上昇します。制動距離は短くなり、制御しながらブレーキ動作を行うことができます。

スロットルグリップの誤操作時の動作

- 緊急ブレーキ時にスロットルグリップが誤って操作された場合（グリップ位置 > 5 %）、Dynamic Brake Control が「スロットル開」を無視することにより、本来のブレーキ効果を確保します。緊急ブレーキの効果が確保されます。
- Dynamic Brake Control の介入中にスロットルが閉じられると（スロットルグリップ位置 < 5 %）、ABS ブレーキシステムによって要求されたエンジントルクが再び確立されます。
- 緊急ブレーキが終了してもスロットルグリップが操作されたままの場合、Dynamic Brake Control はエンジントルクを制御し、ライダーの要望に合うように戻します。

 ABS がオフの場合は、Dynamic Brake Control の機能も同時にオフになります。

シフトアシスト

ギヤシフトアシストPro

この車両には、元々レンシュポルト（レーシングスポーツ）において開発されたギヤシフトアシストが装備されています。この装備は公道走行に合うように適合化されています。これにより、全負荷範囲および全回転域において、シフトアップ／シフトダウンをクラッチ操作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- 走行時における全シフト動作の 70～80 % をクラッチ操作なしで行うことができます。
- シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- 減速およびシフトダウン（スロットルバタフライは閉じた状態）の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトを認識させるには、ライダーは、シフトレバーを事前に操作しない状態からアクセルレターのスプリングの抵抗を感じる「切替え位置」に向かって操作します。この操作は通常、素早く希望の方向に行き、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシスタント Pro を使用してのギヤシフトする場合、その都度、ギヤシフト前およびギヤシフト中の負荷状態(スロットルグリップ位置)を一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および／またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うギヤシフトでは、シフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

-シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 14600 min⁻¹

シフトアップ

-シフトアップ時にアイドル回転数が下がることにより、ギヤシフトアシストによるサポートは行われません。



アイドル回転数

1270 \pm 50 min⁻¹ (エンジンは通常の作動温度)

ヒルスタートアシスト (HILL START CONTROL)

発進アシストの機能

発進アシスタント Hill Start Control は、パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムに標的に介入することにより、ライダーがブレーキレバーを持続的に押さなくても、制御不能の状態に登り坂を後退することを阻止します。Hill Start Control の作動時、リアブレーキシステムに圧力をかけることで、斜面でもモーターサイクルは停止できます。ブレーキシステムのブレーキ圧は傾斜に応じて異なります。

168 技術情報

ブレーキ圧のおよび発進動作への傾斜の影響

- 傾斜が小さい場所で停止する場合は、わずかなブレーキ圧のみかかります。発進時のブレーキ解除は素早く行われます。ソフトな発進ができます。これに加えてスロットルグリップを緩める必要はほとんどありません。
- 傾斜が大きい場所で停止する場合は、大きなブレーキ圧がかかります。発進時のブレーキ解除は少し長くかかります。発進にはより大きなトルクが必要なため、さらにスロットルグリップを緩める必要があります。

車両が転がるまたは滑る場合の挙動

- Hill Start Control がオンの時に車両が転がると、ブレーキ圧が高くなります。
- リアホイールがスリップする場合、約1m後にブレーキが再び解除されます。それにより、リアホイールがロックした状態でのすべり落ちなどが防止されます。


エンジン停止または時間超過時のブレーキの解除

イグニッションキルスイッチでエンジンを停止させた場合、サイドスタンドを立てた場合、または時間超過(10分)後はHill Start Control はオフになります。

ライダーは、以下の動作を通して、インジケーター／警告灯に加えて、Hill Start Control の作動解除に注意を払う必要があります:

ブレーキ警告動作

- ブレーキが短時間解除され、すぐに再び作動します。
- その際、瞬間的な動きが感じられます。
- パーシャリーインテグラルABS ブレーキシステムは速度約1~2 km/hに制御します。
- ドライバーは車両を手動でブレーキする必要があります。
- 2分後またはブレーキ操作時、Hill Start Control が完全にオフになります。

 イグニッションオフ時には、ブレーキ警告で強く引かれることなく、即時に保持圧力は解放されます。

メンテナンス

10

一般的な情報	172
ツールキット	172
フロントホイールスタンド	173
リヤホイールスタンド	174
エンジンオイル	175
ブレーキシステム	176
クラッチ	180
クーラント	182
タイヤ	183
ホイールリム	184
ホイール	184
チェーン	192
ライトバルブ	195
トリム部品	195
ジャンプスタート	199
バッテリー	200
ヒューズ	203
診断コネクタ	205

一般的な情報

「メンテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

取り付ける際に専用の締付けトルクがある場合には、その締付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様(諸元)」の章にあります。

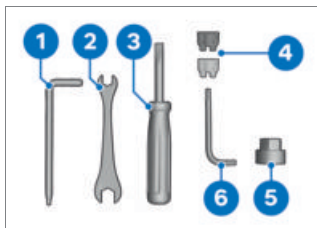
マイクロカプセルボルト

マイクロカプセルは化学的なねじ固定方法です。接着剤により、ボルトとナット、あるいはコンポーネント間の強固な接合を可能にします。そのため、マイクロカプセルボルトは1回限りの使用にのみ適しています。

取り外しの後には、内側のねじ山から接着剤を取り除く必要があります。取り付ける際には、必ず新しいマイクロカプセルボルトを使用してください。そのため、取り外す前には、ねじ山清掃用の適切なツールおよび交換用ボルトを持ち合わせていることを確認してください。不適切な作業が行われると、ボルトの固定機能が保証されなくなり、あなたに危険が及ぶおそれがあります。

記述されている作業の実施にあたっては、専用のツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場にお問い合わせください。

ツールキット



- 1 レバー
 - Dynamic Damping Control (DDC)^{OE} 非装備
 - リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 98)。
 - 車高をスイングアームピボットポイント調整で合わせる (▶▶▶ 107)。
- 2 オープンエンドレンチ
 - 口径 10/13 mm
 - バッテリーを取り外す (▶▶▶ 203)。
 - フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 97)。

- 2 -Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備
-リヤホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 100)。
- 3 リバーシブルブレードドライバークイーン
-マイナスブレードおよびトルクス T25
-トリム部品を脱着します。
-フロントシートを取り外す (▶▶▶ 66)。
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非装備
-フロントホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 101)。
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非装備
-フロントホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 102)。
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非装備
-リヤホイールのリバウンドダンピングを調整する (▶▶▶ 103)。
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非装備
-リヤホイールのコンプレッションダンピングを調整する (▶▶▶ 102)。
- 4 交換用ヒューズ
-7.5 A
- 4 -15 A
- 5 プラスチックアタッチメント
-フロントホイールのスプリングプリロードを調整する (▶▶▶ 97)。
- 6 トルクスレンチ T30
-トリム部品を脱着します。

フロントホイールスタンド

フロントホイールスタンドを取り付ける



重要事項

追加のメイン(センター)スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドでリフトアップする前に、メイン(センター)スタンドまたは補助スタンドで立ててください。

- モーターサイクルがしっかりと立っているか確認してください。
- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイール

174 メンテナンス

スタンドの使用をお勧めします。

- リヤホイールスタンドを取り付ける (174)。



- 正しい取り付け方の説明は、フロントホイールスタンドの説明書に記載されています。
- BMW Motorrad はそれぞれのモーターサイクルに適した補助スタンドを提供しています。適した取付けスタンドを選択する際は、BMW Motorrad ディーラーがお手伝いさせていただきます。

リヤホイールスタンド

リヤホイールスタンドを取り付ける



- 正しい取り付け方の説明は、リヤホイールスタンドの説明書に記載されています。
- BMW Motorrad はそれぞれのモーターサイクルに適した補助スタンドを提供しています。適した取付けスタンドを選択する際は、BMW Motorrad ディーラーがお手伝いさせていただきます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する


重要事項

オイル充填についての誤った解釈。オイルレベルは温度に対応して変化するため(温度が高くなるとオイルレベルも高くなる)

エンジンの損傷

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時にのみ、行います。

- 1分間アイドリングします。
- イグニッションを OFF にします。
- オイルがオイルパンに集まるまで、5分間待ちます。

 環境保護のため
にBMW Motorradは50 km以上走行した場合には時折エンジンオイルを点検するように推奨しています。

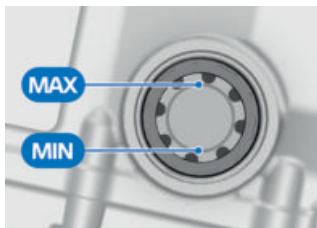


重要事項

モーターサイクルの転倒

転倒によるコンポーネントの損傷

- モーターサイクルを、転倒しないようにしっかりと支えます。もう1人、サポートできる人がいると最善です。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。
- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

MIN- と MAX-間のマーク (エンジンは暖機状態で、車両は真っ直ぐ立てます)



エンジンオイル補充量

max 1.3 l (MIN と MAX 間の差)

オイルレベルがMIN マークを下回っている場合：

- エンジンオイルを補充する (▶▶ 176)。

オイルレベルがMAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- オイル注入口周辺を清掃します。

- オイル注入口のキャップ **1** を取り外します。



重要事項

エンジンオイルの使用量が少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。

- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。
- エンジンオイルレベルを点検する (▶▶ 175)。
- オイル注入口のキャップ **1** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ハンドブレーキレバーを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- ブレーキペダルを操作します。
 - » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：

! 重要事項

ブレーキシステムにおける不適切な作業

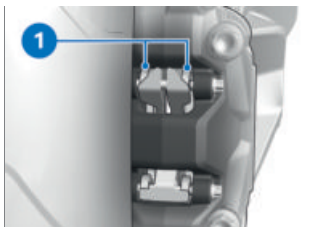
ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。

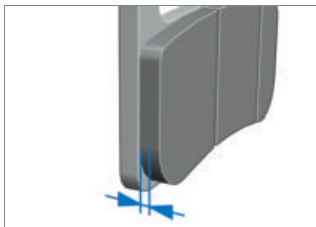
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。


フロントブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ハンドルを回します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド **1** の方へ。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

min 1 mm (ライニングのみ(キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター(溝)がはっきりと目視確認できなければなりません)

ブレーキパッドが摩耗している場合：

警告

パッドの使用限度厚を下回る制動作用の低下、ブレーキの損傷

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。


リヤブレーキパッド厚を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド 1 の方へ。



 リヤブレーキパッドの摩耗限度

min 0.9 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし。))

ブレーキパッドが摩耗している場合：

警告

パッドの使用限度厚を下回る制動作用の低下、ブレーキの損傷

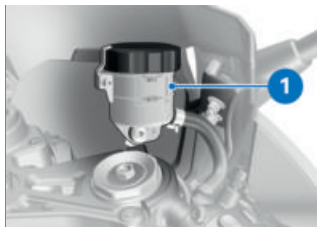
- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。

- BMW Motorrad ディーラー(最適) または専門の整備工場にブレーキパッドの交換を依頼してください。


フロントブレーキフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。


- ハンドルを直進位置にします。



- ブレーキフルードリザーバータンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキペダルがMIN マークを下回らないようにする。(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れているブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

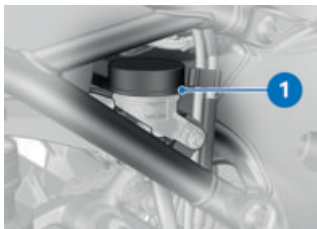
- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。


リヤブレーキフルードレベルを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。


180 メンテナンス



- リヤブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードレベル **1** を読み取ります。

 ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバータンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。



 後部ブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキレベルが**MIN** マークを下回らないようにする(ブレーキフルードリザーバータンクを水平状態にする)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

警告

ブレーキフルードリザーバータンクのブレーキフルードが少なすぎる、または汚れている
ブレーキシステム内の空気、汚れ、または水によるブレーキ性能の著しい低下

- 直ちに走行を調整し、不具合を解消します。
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。
- ブレーキフルードリザーバータンクのキャップを開く前に、キャップの汚れを取り除いてください。
- ブレーキフルードは必ず密封容器からのもののみを使用してください。

- BMW Motorrad ディーラー(最適)または専門の整備工場に、できるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
» 操作するにつれて、力の上昇が感じられるはずです。

操作するにつれて、力の上昇が感じられない場合：

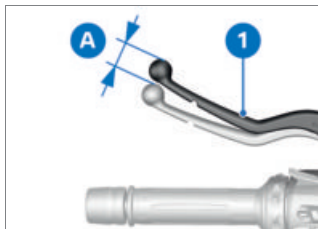
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

クラッチレバーの遊びを点検する

前提条件

エンジンが冷間状態であること。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ハンドルを直進位置にします。



- クラッチレバー **1** をグリップに密着するまで何回か操作します。
- 抵抗が感じられるまでクラッチレバー **1** を軽く操作し、その間にクラッチの遊び **A** を観察します。



クラッチレバーの遊び

3...5 mm (クラッチレバー外側、ハンドルバーが直進位置、エンジン冷間時に測定)

クラッチの遊びが許容範囲を越えている場合：

- クラッチの遊びを調整する (▶▶ 181)。

クラッチの遊びを調整する



- ロックナット **1** を緩めます。
- クラッチの遊びを大きくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングにねじ込みます。
- クラッチの遊びを小さくするには：アジャストスクリュー **2** をハンドルバーフィッティングから緩めます。

i ロックナットとナットの間隔(内側を測定)が、14 mmを上回ってはなりません。

さらに回して緩めなければ、クラッチの遊びを正しく調整できない場合は、専門の整備工場または可能な限り BMW Motorrad

182 メンテナンス

ディーラーに問い合わせてください。

- クラッチレバーの遊びを点検する (181)。
- アジャストスクリュー **2** を保持しながら、ロックナット **1** を締め付けます。

クーラント


クーラントレベルを点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- ハンドルを左に回します。



- リザーバータンク **1** でクーラントレベルを読み取ります。目視点検方向：前方から右側サイドフェアリングの内側へ。



 クーラント規定レベル

リザーバーのMIN とMAX マークの間 (冷却エンジンで)


クーラントレベルが規定値を下回った場合：

- クーラントを補充します。


クーラントを補充します



- リザーバータンクのキャップ **1** を開きます。
- クーラントを、適切なファンネルを使用して規定レベルまで補充します。

 クーラント補充量

0.15 l (MIN とMAX 間の差)

 クーラント補充量
2.4 l (クーラントサーキット全体)
FROSTOX HT-12 (クーラント)

- クーラントレベルを点検する (▶▶▶ 182)。
- リザーバータンクのキャップ 1 を閉じます。

タイヤ

タイヤ充填圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切

モーターサイクルの走行特性が悪化、タイヤ耐用年数の減少

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。



警告


高速時においてバルブコアが勝手に開く

突然のタイヤ充填圧の損失


- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。

 タイヤ空気圧(フロント)

2.5 bar (タイヤ冷間時)

 タイヤ空気圧(リヤ)

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する




警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して測定します。

 摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合

184 メンテナンス

は、タイヤが完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイールリム

ホイールリムを点検する

- モーターサイクルを、平坦で硬い路面の上に駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad デイラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

ホイール

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

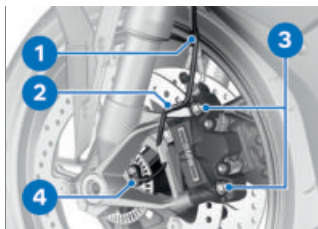
DTC ではホイールサイズが重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられて

いる制御システムに適合させる必要があります、交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前に BMW Motorrad デイラーにご相談ください。この場合、コントロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させる必要があります。

フロントホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (III▶ 174)。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に傷が付かないようにします。



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ 1 および 2 から外します。

- ボルト 4 を取り外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。



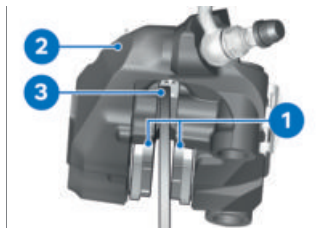
重要事項

ブレーキパッドが意図せず押し付け合わされる

ブレーキキャリパーの装着時またはブレーキパッドの押し付け合わせ時のコンポーネントの損傷

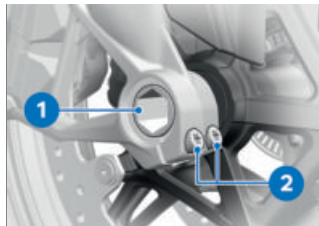
- ブレーキキャリパーが外れている(緩んでいる)状態で、ブレーキを操作しないでください。

- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト 3 を取り外します。



- ブレーキキャリパー 2 を回転させて、ブレーキパッド 1 をブレーキディスク 3 から少し離れるように押します。
- ブレーキキャリパーを慎重に後方外側へブレーキディスクから引き出します。

- モーターサイクル前部を持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付ける (▶▶▶ 173)。



重要事項

フロントサスペンション内のねじ付きブッシュの調整不良により、センサーリングとホイール回転数センサー間の間隔が適切でない

ホイール回転数センサーの損傷。ABS の機能不良

- 左クランプがねじ付きブッシュを固定しており、これを緩めたり、取り外したりしてはなりません。

- クランプボルト 2 を緩めます。
- ホイールを支持しながら、アクスルシャフト 1 を取り外します。

186 メンテナンス

- フロントホイールを前へ転がして取り外します。
- フロントホイールをフロントサスペンションに転がし入れます。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用

ABS およびDTC による制御介入時の機能障害

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびDTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。

重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける

ボルト締め付け部の損傷または緩み

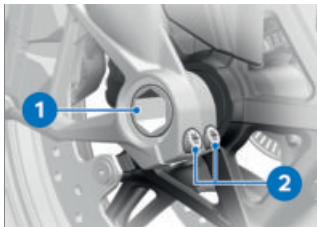
- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad デイラーに依頼してください。

重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆

事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。



- アクスルシャフト **1** にグリースを塗布します。



潤滑剤

Optimoly TA

- フロントホイールを持ち上げ、アクスルシャフト **1** を締め付けトルクで締め付けて取り付けます。

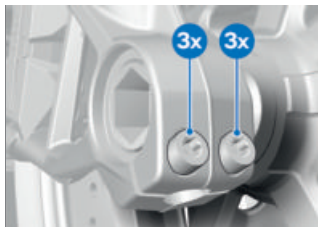



ねじ山付ブッシュのアクスルシャフト

M24 x 1.5

50 Nm

- クランプボルト **2** を締め付けトルクで締め付けます。



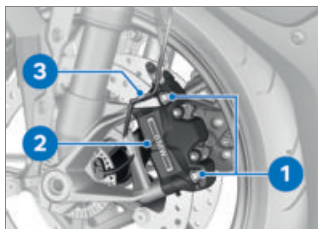
 アクスルサポート内のクランプボルト

締付け順序: ボルトを6回、交互に締め付ける


M8 x 35

19 Nm

- ブレーキキャリパーをブレーキディスクの上ののせます。

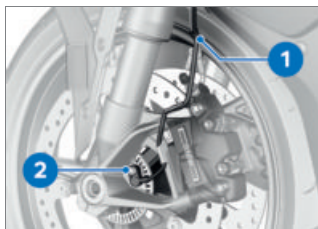


- 左ブレーキキャリパー **2** を組み込み、ケーブルガイド **3** を位置決めします。
- ボルト**1** を規定の締付けトルクで締め付けて取り付けます。


 ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポートへ

M10 x 65

38 Nm



- ホイール回転数センサー用ケーブルをホルダー **1** に固定します。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **2** で固定します。

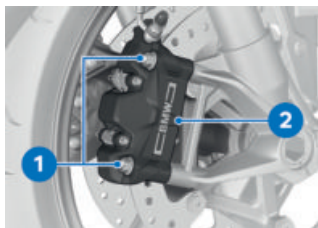
 フォークレグのフロントホイール回転数センサー

M6 x 16

ボルト固定剤: マイクロカプセル加工済

8 Nm

188 メンテナンス



- 右ブレーキキャリパー 2 を組み込み、ボルト 1 を規定の締め付けトルクで締め付けて取り付けます。

ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポートへ

M10 x 65

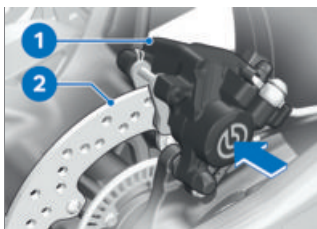
38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどはがします。
- プレッシャーポイントが感じられるようになるまで、ブレーキレバーを数回強く操作します。
- フロントホイールスタンドと補助スタンドを取り外します。

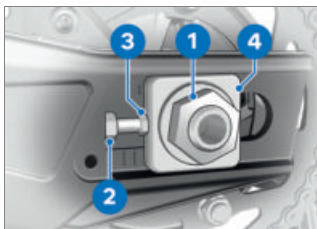
リヤホイールを取り外す

- モーターサイクルを持ち上げます。BMW Motorrad リヤホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- リヤホイールスタンドを取り付ける (174)。
- アクスルシャフトを取り外した後に転がり落ちないように、

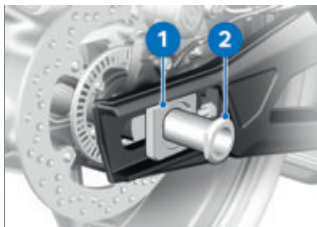
リヤホイールの下に木片などを挟んで支えます。



- ブレーキキャリパー 1 をブレーキディスク 2 に押しつけます。
» ブレーキピストンが押し戻されます。



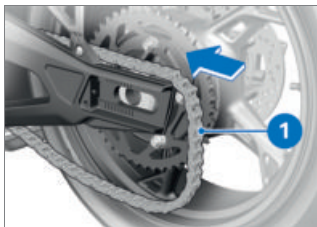
- アクスルナット 1 をワッシャーと共に取り外します。
- ロックナット 2(左右) を緩めます。
- アジャストスクリュー 3(左右) を緩めます。
- 調整プレート 4 を取り外し、アクスルをできるかぎり前方へずらして、チェーンを緩めます。




- アクスルシャフト 2 を取り外し、調整プレート 1 を取り外します。



- ブレーキキャリアサポート 1 を前方へ引き出し、脇に掛けておきます。
- リヤホイールをスイングアームの後方へ転がします。



- リヤホイールをできるかぎり前方へ転がし、チェーン 1 をスプロケットから外します。

 スプロケットと左右のスペーサーブッシュは、ホイールに緩めに組み込まれています。取り外しの際に、部品を損傷したり紛失したりしないよう注意してください。

リヤホイールを取り付ける

重要事項

タイヤサイズの変更

制御システムに影響します

- リヤタイヤサイズを 190 / 55 ZR 17 から 200 / 55 ZR 17 に変更、またはその逆に変更する場合、制御システムのパラメーターを専門の整備工場、またはBMW Motorradディーラーでコーディングする必要があります。


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付けるボルト締め付け部の損傷または緩み


- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorradディーラーに依頼してください。



- ジャック防止ダンパーエレメント 2 に損傷、変形、摩耗がないか点検し、必要に応じて交換します。

 ジャック防止ダンパーエレメントを交換した後は、BMW Motorrad 故障診断装置を使用してアダプション値をリセットする必要があります。この件につきましては、BMW Motorradディーラーにお問い合わせください。

- ジャック防止ダンパーエレメント 2 にグリスを塗布し、取り付けます。

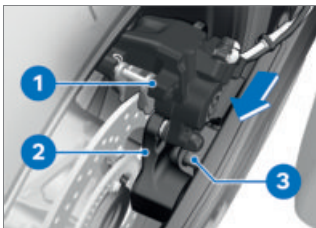
 取付け補助剤

シリコンスプレー


- スプロケットキャリア 1 を取り付けます。



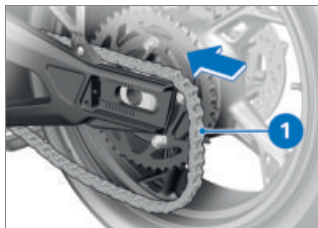
- リヤホイールをマットなどの上でスイングアームに転がし入れます。



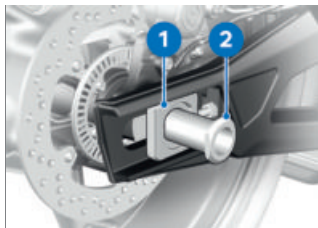
- ブレーキキャリパー 1 をブレーキキャリパーサポート 2 と共にスイングアームのガイド 3 に組み込みます。

 ブレーキラインおよびABS センサーケーブルが正しく取り付けられていることを確認してください。ブレー

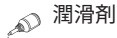
キラインおよびABS センサーケーブルは、リヤホイールやエキゾーストシステムと接触しないよう、ガイド内に収まっていないとなりません。



- リヤホイールをできるかぎり前方向へ転がし、チェーン **1** をスプロケットにのせます。



- 右側調整プレート **1** をスイングアームに組み込みます。
- アクスルシャフト **2** にグリースを塗布します。



潤滑剤

Optimoly TA

- リヤホイールを持ち上げ、アクスルシャフト **2** をブレーキ

キャリパーサポート内の調整プレートおよびリヤホイールに通して取り付けます。

- アクスルシャフトがレンチ面の切込み部に合うように注意してください。



- 左側調整プレート **1** を組み込みます。
- アクスルナット **2** をワッシャーとともに組み込みます。ただし、まだ締め付けないこと。



警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない
ブレーキ作用の遅延によって
事故を起こす危険あり。

- 運転開始前には、ブレーキ作用が遅延なくかかることを点検すること。
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- チェーンのたるみ量を調整する (▶▶▶ 193)。

192 メインテナンス

チェーン

チェーンの潤滑を行う

- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。

重要事項

ドライブチェーンの不適切な清掃と潤滑

より激しい摩耗

- ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。
- ぬかるみや、塵埃の中や、汚れた場所を走行した後は、適宜、早めに行ってください。



ドライブチェーンは定期的に潤滑します。

min 800 km

- チェーン性能を高く維持するため、BMW Motorrad は、BMW Motorrad チェーン潤滑剤の使用を推奨します。または：



潤滑剤

チェーンスプレー、Oリングに適合

- 潤滑剤が多すぎた場合は洗い流します。

ローメンテナンスのチェーンのケアおよび潤滑を行う

-M Endurance チェーン^{OE} 装備

重要事項

ドライブチェーンの不適切な清掃と潤滑

より激しい摩耗

- ドライブチェーンは定期的に清掃し、潤滑してください。



このローメンテナンスのドライブチェーンは、年に1回のサービスインターバルで清掃および潤滑が行われます。寿命の最適化のため、このローメンテナンスのチェーンを、さらにローメンテナンスチェーン用に適したチェーン潤滑剤で追加潤滑することができます。塩や塵埃、汚れなどにまみれた場所を走行して通常よりも負担がかかる場合には、適宜、潤滑を早めに行ってください。

- イグニッションを OFF にし、ニュートラルに設定します。
- ドライブチェーンを適切なクリーニング剤で清掃し、乾かして、チェーン潤滑剤を塗布します。チェーン性能を高く維持するため、BMW Motorrad は、BMW Motorrad チェーン潤滑剤の使用を推奨します。または：



潤滑剤

チェーンスプレー、0リングに
適合

- 潤滑剤が多すぎた場合は洗い流します。

チェーンのたるみ量を点検する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- リアホイールを回転させて、チェーンのたるみが一番小さくなる位置まで回します。



- ドライブsprocketとドリブンスprocket間の真ん中あたりで、ドライバーを使用してチェーンを上方向に押し、差 **A** を測定します。



チェーンのたるみ量

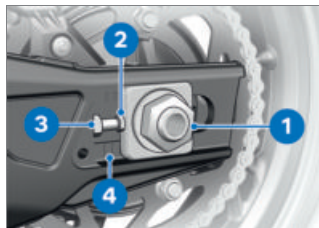
45...50 mm (モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態))

測定値が許容範囲を超えている場合：

- チェーンのたるみ量を調整する (▶▶ 193)。

チェーンのたるみ量を調整する

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。




- アクスルシャフトナット **1** を緩めます。
- 左右のロックナット **3** を緩めます。
- 左右のアジャストスクリュー **2** でチェーンのたるみ量を調整します。
- チェーンのたるみ量を点検する (▶▶ 193)。
- 調整値 **4** が左右で同じになるように注意してください。
- 左右のロックナット **3** を締付けトルクで締め付けます。



ドライブチェーンテンションボルトのロックナット


M8

194 メンテナンス

 ドライブチェーンテンションボルトのロックナット

19 Nm

- アクスルシャフトナット **1** を締付けトルクで締め付けます。

 スイングアームのリアホイールアクスルシャフト

M24 x 1.5

ボルト固定剤: メカニズム部分

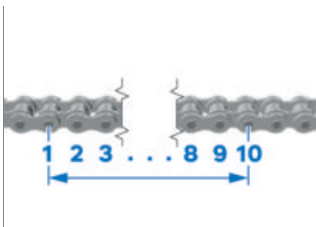
125 Nm


- チェーンのたるみ量を点検する (⇒ 193)。

チェーンの摩耗状態を点検する前提条件

チェーンのたるみは正しく調整されています。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- 1速に入れます。
- リヤホイールを進行方向に回し、チェーンがピンと張った状態になるようにします。
- リヤスイングアームの下側、10個のリベットの中央の上側のチェーンの長さを、3つの異なる箇所測定します。

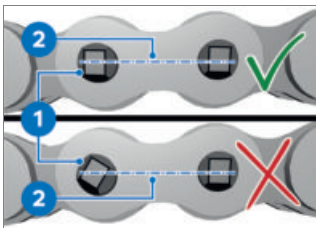


 許容チェーン長

max 144 mm (10 リベットの中央で測定、チェーンは引っ張った状態)

チェーンが許容長に達している場合:

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。



- リベット頭部 **1** がねじ曲がっていないか確認してください。リベット頭部はチェーン中心線 **2** と平行位置にあります。
- リベット打ちは正常です。

1個または複数のリベット頭部がねじ曲がっています。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ライトバルブ

LED 照明手段を交換する



警告

車両バルブ機能停止による道路交通での車両の見過ごし安全に関わる危険

- 故障したライトバルブはできるかぎり早く交換してください。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

車両のすべての照明手段はLED 照明手段です。LED 照明手段の耐用年数は取り付けられている車両の耐用年数よりも長くなっています。LED 照明手段が故障した場合は、専門の整備工場に、できればBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

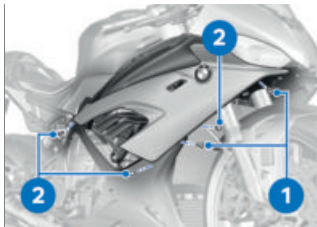
トリム部品

サイドフェアリングの取外し



ここに記述されている右サイドフェアリングについての作業手順は、左側にも同様に適用されます。

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。

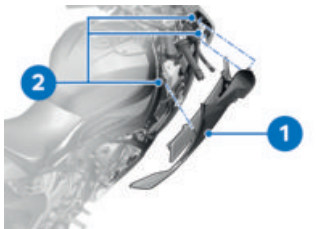


- ボルト 1 を取り外します。
- ボルト 2 を取り外します。



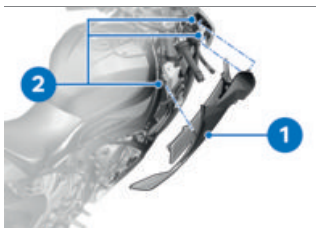
- エンジンスポイラー 2 を下方に少し曲げ、ボルト 1 を取り外します。

196 メンテナンス



- サイドフェアリング **1** をグローブメント **2** から緩めて取り外します。

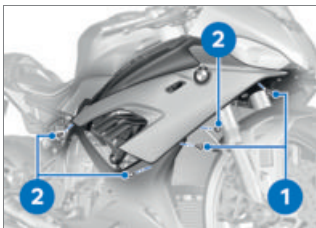
サイドフェアリングの取付け



- サイドフェアリング **1** をグローブメント **2** に組み込みます。



- エンジンスポイラー **2** を下方へ少し曲げ、ボルト **1** を取り付けます。



- ロングボルト **1** を取り付けます。
- ショートボルト **2** を取り付けます。

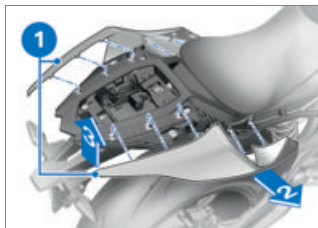
リアセクションカバーを取り外す

—パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- リヤシートを取り外す (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り外す (▶▶▶ 64)。



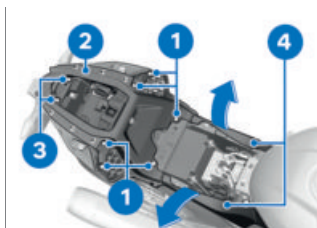
- ボルト 1 および 2 を取り外す。
- 左右のリアフェアリングを慎重に 矢印方向 にクランプ留めから外します。



- 左右のリアフェアリング 1 を慎重に、まずは水平方向に 2、次に垂直方向に 3、クランプ留めから外します。

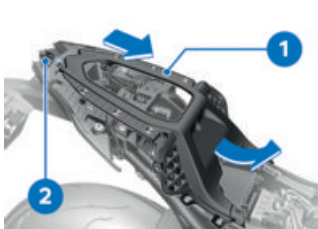


- フロントシート 1 のカバーを座面のところで少し前方へ押し、タブ 2 を露出させます。
- ボルト 3 を取り外します。
- フロントシート 1 の後部を持ち上げ、固定部 4 を外します。
- フロントシートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。



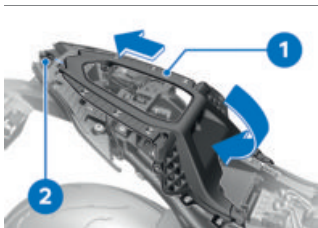
- ショートボルト 1 とロングボルト 3 をリアセクションカバー 2 から取り外します。
- カバー 4 を慎重に 矢印方向 にクランプ留めから外します。

198 メンテナンス

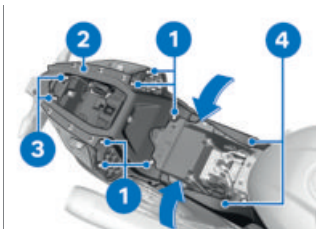


- リヤセクションカバー **1** を矢印方向に持ち上げ、固定用突起部 **2** から取り外します。

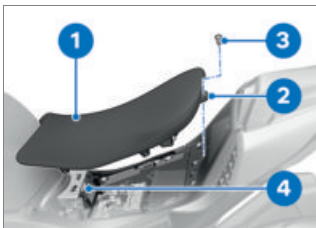
リアセクションカバーを取り付ける



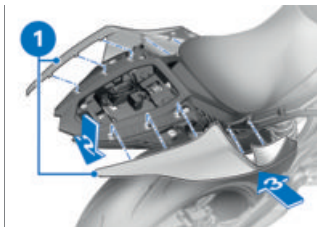
- リヤセクションカバー **1** を固定用突起部 **2** に組み込みます。



- カバー **4** を慎重に矢印方向にリヤセクションカバー **2** にクランプ留めします。
- ショートボルト **1** およびロングボルト **3** を取り付けます。



- フロントシート **1** の前部を固定部 **4** に組み込み、位置決めます。
- フロントシート **1** のカバーを座面のところで少し前方へ押し、タブ **2** を露出させます。
- ボルト **3** を組み込み、取り付けます。



- 左右のリアフェアリング **1** を慎重に、まずは垂直方向に **2**、次に水平方向に **3**、クランプ留めます。



- リアフェアリングを慎重に、**矢印方向** にクランプ留めます。
- ボルト **1** および **2** を取り付けます。

- パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- リヤシートを取り付ける (▶▶▶ 65)。◁
- リヤセクションカバーを取り付ける (▶▶▶ 65)。

ジャンプスタート

⚠ 注意

エンジン作動時に、イグニッションシステムの電圧を伝導する部品に接触
感電

- エンジン作動時は、イグニッションシステムの部品に決して触れないでください。

⚠ 重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触
ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。

⚠ 重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う
車両電装系の損傷

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V を上回ってはなりません。
- ジャンプスタートでは、バッテリーを車両電装システムから外しません。
- フロントシートを取り外す (▶▶▶ 66)。

200 メンテナンス

- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- ジャンパーコード(赤)の一方の先端を、まず放電したバッテリーのプラスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラスターミナルに接続します。
- ジャンパーコード(黒)の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナルに接続します。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その後プラスターミナルから外します。
- フロントシートを取り付ける (▶▶ 66)。

バッテリー

メンテナンスに関する注意

正しいメンテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。


バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。

重要事項

車両エレクトロニクス(時計など)により、接続されているバッテリーが放電する過放電、それによる保証要件からの除外

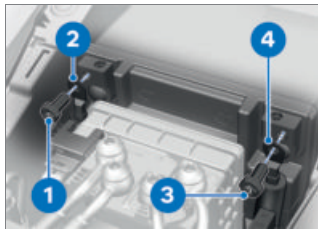
- 4週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。

 BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専用トリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状

態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

バッテリーを車両から外す

- モーターサイクルを、平坦で固くしっかりとした路面の上に駐車します。
- フロントシートを取り外す (▶▶ 66)。
- 盗難防止装置 (DWA) ^{OE} 装備
- 必要に応じてDWA をオフにします。◁



重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。

- ボルト **1** を取り外し、ワイヤハーネスマイナスターミナル **2** を取り外し、前方へ押しします。

- ボルト **3** を取り外し、ワイヤハーネスプラスターミナル **4** を取り外します。

—M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}



重要事項

バッテリーの接続を不適切な方法で切る

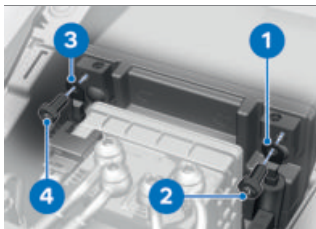
ショートのおそれ

- 接続を切る手順を遵守してください。

- ボルト **1** を取り外し、ワイヤハーネスマイナスターミナル **2** を取り外し、前方へ押しします。
- ボルト **3** を取り外し、ワイヤハーネスプラスターミナル **4** を取り外します。◁

202 メインテナンス

バッテリーを車両に接続する



! 重要事項

バッテリーの不適切な接続
ショートのおそれ

• 取付け順序を守る。

- ワイヤハーネスプラスターミナル **1** を位置決めし、ボルト **2** を取り付けます。
- ワイヤハーネスマイナスターミナル **3** を位置決めし、ボルト **4** を取り付けます。

-M Lightweight 車両バッテリー
搭載^{OE}



! 重要事項

バッテリーの不適切な接続
ショートのおそれ


• 取付け順序を守る。

- ワイヤハーネスプラスターミナル **1** を位置決めし、ボルト **2** を取り付けます。
- ワイヤハーネスマイナスターミナル **3** を位置決めし、ボルト **4** を取り付けます。◁
- フロントシートを取り付ける (▶▶ 66)。
- 盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じてDWAをONにします。◁

バッテリーを充電する

- バッテリーを車両から外す (▶▶ 201)。
- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。


 長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。

- バッテリーを車両に接続する (▶▶ 202)。

バッテリーを取り外す

- フロントシートを取り外す (▶▶ 66)。
- バッテリーを車両から外す (▶▶ 201)。
- バッテリーを持ち上げて取り外します。スムーズに外せない場合は、前後に動かすと外しやすくなります。

バッテリーを取り付ける

 車両にバッテリーが入っていない期間が長かった場合は、サービスインジケータの適切な機能が保証されるように、現在の日付をメーターパネルに登録する必要があります。

- バッテリーをバッテリートレイに入れ、プラス極を進行方向左側にします。

- バッテリーを車両に接続する (▶▶ 202)。
- フロントシートを取り付ける (▶▶ 66)。
- 時計を調整する (▶▶ 78)。

ヒューズ

ヒューズを交換する

- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す (▶▶ 66)。

重要事項

故障しているヒューズのバイパス


ショートや火災の危険

- 故障しているヒューズは交換してください。
- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

204 メインテナンス



- 故障しているヒューズ **2** を差し込み位置から上方向へ引き抜きます。
- ヒューズボックス **1** のヒューズ 2 個を交換するため、ヒューズボックスをホルダーから引き上げます。そのため、左右で、ヒューズボックスの突起部を内側に押し込みます。

 ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。

- ヒューズボックス **1** をホルダーに取り付けます。
- フロントシートを取り付ける (▶▶ 66)。

ヒューズ割当て



- 1** 15 A
メーターパネル
盗難警報装置(DWA)
イグニッションロック
診断コネクタ
- 2** 7.5 A
左コンビネーションスイッチ
タイヤ空気圧コントロール(RDC)
- 3** 40 A
オルタネーターレギュレーター

診断コネクタ

診断コネクタを外す



注意

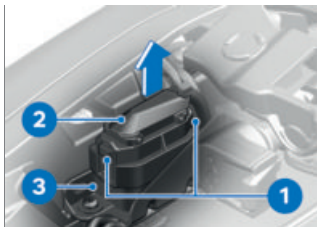
オンボード診断用診断コネクタを外す際の手順の誤り

モーターサイクルの機能障害

- 診断コネクタの取り外しは、必ず、専門の整備工場またはその他の認定されているメカニックに依頼し、BMW Motorrad サービス中に行ってもらうようにしてください。
- 適切なトレーニングを受けたメカニックに作業の実行を依頼します。
- モーターサイクルメーカーの規定を確認し、遵守してください。

–パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

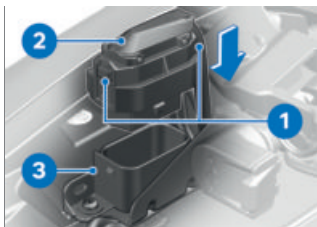
- リヤシートを取り外す (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り外す (▶▶▶ 64)。



- ロック **1** を押します。
- 診断コネクタ **2** をホルダー **3** から外します。
- » 診断システム／情報システム用インターフェースを診断コネクタ **2** に差し込むことができます。

診断コネクタを取り付ける

- 診断システム／情報システム用インターフェースを取り外します。



- 診断コネクタ **2** をホルダー **3** に差し込みます。
- » ロック **1** がかみ合います。

–パッセンジャーパッケージ^{OE} 装備

- リヤシートを取り付ける (▶▶▶ 65)。

アクセサリー

11

一般的な情報	210
アクセサリ用コネクタ	210
USB 充電ポート	212

一般的な情報



注意

他社製品の使用

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト／点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということはできず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリー製品のみご利用ください。

承認されていない部品やアクセサリーにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は一切の責任を負いません。

変更を加える場合にはすべてにおいて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリー、その他の製品を選択されるにあ

たり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリーに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/equipment

アクセサリ用コネクター

装備

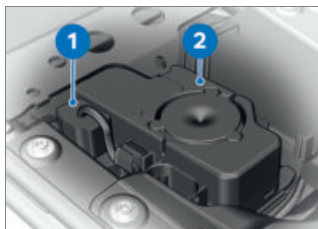
車両には以下のオプションアクセサリーおよびレンシュポルト（レーシングスポーツ）アクセサリー用コネクターが装備されています：

- スプリングトラベルセンサー
- M データロガー
- アクセサリー

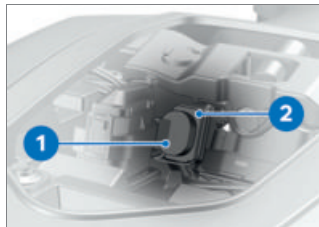
左サイドフェアリング下



- 1 オプションアクセサリおよびレンシュポルト(レーシングスポーツ)アクセサリ用コネクタ：電源供給およびLIN フロントフォーク用スプリングトラベルセンサー(レンシュポルト(レーシングスポーツ)アクセサリ)

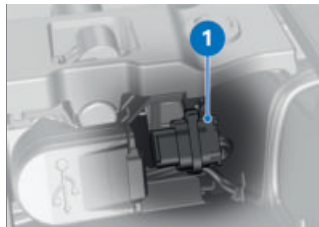
リヤセクションカバーの下
-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 装備

- 1 DWA およびM データロガー用コネクタ
- 2 DWA

リヤセクションカバーの下
-盗難防止装置 (DWA)^{OE} 非装備

- 1 終端抵抗
- 2 DWA およびM データロガー用コネクタ

リヤセクションカバーの下



- 1 アクセサリ用コネクタ (後部)


212 アクセサリー


オプションアクセサリーおよび レンシュポルト(レーシングス ポーツ) アクセサリーを取り付け る

前提条件

コネクタに手が届くように、
サイドフェアリング、リヤシート
またはリヤセクションカバーを
取り外します。

- サイドフェアリングをエン
ジンスポイラーと共に取り外
す (▶▶▶ 195)。
- パッセンジャーパッケージ^{OE}
装備
- リヤシートを取り外す (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り外
す (▶▶▶ 64)。
- リヤセクションカバーを取り外
す (▶▶▶ 196)。
- 保護キャップまたは終端抵抗を
ロック解除し、コネクタから
取り外します。
- オプションアクセサリーまたは
レンシュポルト(レーシングス
ポーツ) アクセサリーを差し込
みます。

 オプションアクセサリーま
たはレンシュポルト(レー
シングスポーツ) アクセサリーの
取付説明書を確認し、順守してく
ださい。

 それによってワイヤハーネ
スを正しく位置決めするこ
とができる。ワイヤハーネスが

コネクタと共に引っ張られな
いようにし、タイラップは最後に
締め付ける。

重要事項

空いているコネクタに汚れ や水分が入り込む

機能障害

- コネクタを外した後、保護
キャップまたは終端抵抗を再
び取り付けます。
- アクセサリーを外した後：保護
キャップまたは終端抵抗を再び
取り付けます。
- サイドフェアリングを取り付け
る (▶▶▶ 196)。
- パッセンジャーパッケージ^{OE}
装備
- リヤシートを取り付け
る (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り付
ける (▶▶▶ 65)。
- リヤセクションカバーを取り付
ける (▶▶▶ 198)。

USB 充電ポート

- USB 充電ソケット^{OE} 装備

ご利用のための注意事項

チャージ電流

最大 2.4 A の充電電流を使用可能
な 5 V USB 充電ポートを使用しま
す。

自動停止

以下の状況の場合、USB 充電ポートは自動的に OFF になります。

- バッテリー電圧が低すぎて、車両の始動性能を維持できない場合。
- 仕様(諸元)で規定されている最大負荷を超過している場合。
- 始動動作中。

電装系機器の接続

USB 充電ポートに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。車両電装システムの負荷解除のため、これらは、イグニッションを OFF にしてから 15 分以内に OFF になります。

水および振動から保護するため、BMW Motorrad は BMW Motorrad スマートフォン保護カバーの使用をお勧めします。

接続されている機器がない場合には、USB 充電ポートのカバーを閉じて汚れを防ぎます。

ケーブルの取り回し

ケーブルを取り回す際には、配線類が挟まっていないことを確認してください。

お手入れ

12

ケア用品	216
洗車	216
損傷しやすい車両部品のお手入れ	217
ペイントのお手入れ	218
保護コーティング	219
長期保管	219
モーターサイクルの再使用	219

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW Care Products については、原料のテストや研究機関による製品テストおよび試用テストが行われており、お客様の車両に使用されている素材のケアと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用

車両部品の損傷

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。



重要事項

強度の酸性またはアルカリ性の洗剤の使用について

車両部品の損傷

- 洗剤の包装に記載されている希釈濃度を確認し、遵守してください。
- 決して強度の酸性またはアルカリ性の洗剤を使用しないでください。

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前に BMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

フォークストラットは定期的に清掃し、汚れを取り除いてください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。




雨天走行後や湿度が高い場合、あるいは洗車後には、ヘッドライトの内側に結露が生じることがあります。そのような場合、ヘッドライトが一時的に曇ることがあります。ヘッドライト内に湿気や水分が長期にわたって溜まっているような場合には、BMW Motorrad ディーラー（最適）または専門の整備工場にお問い合わせください。

 **警告**

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド


ブレーキの効きの低下、事故を起こす危険

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレーキがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。

 **重要事項**

温水による塩の作用の増大腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。

 **重要事項**


高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷

ラベル、シーリング、油圧式ブレーキシステム、電装系およびシートの腐食、ショートまたは損傷

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック


 **重要事項**

不適切な洗剤の使用

プラスチック表面の損傷

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。

プラスチック部品は、水と BMW プラスチックケア製品を使用して清掃してください。該当部品：
 -ウインドシールドおよびウインドディフレクター
 -プラスチック製ヘッドライトレンズ
 -メーターパネルのカバーガラス
 -非塗装ブラックパーツ

 硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。

カーボン部品

カーボン部品を水およびマイクロファイバークロスを使用して清掃します。

218 お手入れ

TFT ディスプレイ

TFT ディスプレイを湯と洗剤を使用して清掃します。続いて、ペーパータオルなどの清潔なウェスで拭き取って乾かします。

クローム

クローム部品を十分な水とBMW Motorrad ケア製品シリーズのモーターサイクルクリーナーで丁寧に清掃します。これは特に融雪塩の影響を受けている場合に該当します。さらに処置を施す場合には、BMW Motorrad メタルポリッシュを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを避けるためです。園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。

重要事項

ラジエタープレートを折り曲げる

ラジエタープレートの損傷
・清掃の際に、ラジエタープレートを折り曲げないように注意してください。

ラバー

ラバー部品の清掃には、水またはBMW ラバークリーナーを使用してください。

重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用

ラバーシールの損傷

- ・シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。

ペイントのお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

特に侵食性の高い物質は、直ちに除去してください。ペイントの損傷や変色を引き起こすおそれがあります。侵食性の高い物質には、こぼれたフューエルやオイル、グリース、ブレーキ液、鳥のふんなどがあります。これには、BMW Motorrad クリーナーと、続けて防錆処理のためにBMW Motorrad 光沢ポリッシュの使用をお勧めします。ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見え

やすくなります。このような汚れは、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorradは、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。


保護コーティング

ペイントから水が垂れなくなったら、防錆処理する必要があります。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティングのため、BMW Motorrad 光沢ポリッシュおよびカルナバワックス、合成ワックスを含むコーティング剤を使用することをお勧めします。

長期保管

● モーターサイクルを満タンにします。

 ガソリン添加剤はフューエルインジェクションシステムおよび燃焼エリアを洗浄する効果があります。低品質の燃料を給油した場合、または、長期間使用しなかった場合には、ガソリン添加剤を使用する必要があります。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

- 洗車します。
- バッテリーを取り外す (▶▶▶ 203)。
- ブレーキレバー、クラッチレバー、サイドスタンドのピボット部に、適切な潤滑剤を塗布します。
- 金属部品やクロームメッキ部品に中性のグリース(ワセリン)を塗布します。
- モーターサイクルを、両ホイールに負荷がかからない状態にして、乾燥した場所に保管します。

モーターサイクルの再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付ける (▶▶▶ 203)。

テクニカルデータ

13

トラブルシューティング	222
ねじ止め部	225
燃料	229
エンジンオイル	229
クーラント	230
エンジン	230
クラッチ	230
ギヤボックス	231
リヤホイールドライブ	231
フレーム	231
サスペンション	232
ブレーキ	233
ホイールとタイヤ	234
電装系	235
盗難警報装置	236
寸法	236
重量	237
性能	238

222 テクニカルデータ

トラブルシューティング

エンジンが始動しない／始動しにくい。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドをたたみます。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油 (▶▶▶▶ 124)。
バッテリーが空になっている	バッテリーを充電する (▶▶▶▶ 202)。
スターターに対する過熱保護が作動した。スターターを稼働させる時間は制限されています。	スターターが使用できるようになるまで約1分間冷却します。

Bluetooth 接続が確立されません。

原因	修理
ペアリングに必要なステップが踏まれませんでした。	コミュニケーションシステムの Operating instructions で、ペアリングに必要なステップに関する情報を入手してください。
Connectivity 機能は、レーシングコース機能が作動しているため非作動です。	メニュー設定 を呼び出し、サーキット を作動解除します。
ペアリングを行ってもコミュニケーションシステムが自動的に接続されません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。
ヘルメットに保存されている Bluetooth 機器の数が多すぎます。	ヘルメットのすべてのペアリング登録を削除してください (コミュニケーションシステムの Operating instructions を参照)。
Bluetooth 対応機器を装備した他の車両が付近にあります。	複数の車両との同時ペアリングは避けてください。

Bluetooth 接続が阻害されています。

原因	修理
携帯端末機器との Bluetooth 接続が遮断されます。	省電力モードを OFF にしてください。
ヘルメットとの Bluetooth 接続が遮断されます。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。
ヘルメットの音量を調整することができません。	ヘルメットのコミュニケーションシステムを OFF にして、1～2分後に再度接続してください。

ねじ止め部

フレーム	数値	有効
右メインフレーム内の スイングアームピボッ トポイントブッシュの 位置決め		
M6 x 26.7	5 Nm	
左メインフレーム内の スイングアームピボッ トポイントブッシュの 位置決め		
M6 x 12	8 Nm	
スイングアームピボッ トとフレーム		
M27 x 1.25	締付けトルク、15 Nm	
	緩める、120°	
	締付けトルク、5 Nm	
ナットをスイングア ームアクスルへ		
M18 x 1.5、ナットを交 換する メカニズム部分	100 Nm	
フレームのスイング アームピボットポイン トブッシュ用ナット		
M36 x 0.75、ナットを交 換する Loctite 270、高粘度	70 Nm	

226 テクニカルデータ

フロントホイール	数値	有効
ねじ山付ブッシュのアクスルシャフト		
M24 x 1.5	50 Nm	
アクスルサポート内のクランプボルト		
M8 x 35	締付け順序: ボルトを 6回、交互に締め付ける	
	19 Nm	
ラジアルブレーキキャリパーをアクスルサポートへ		
M10 x 65	38 Nm	

リヤホイール	数値	有効
ドライブチェーンテンションボルトのロックナット		
M8	19 Nm	
スイングアームのリアホイールアクスルシャフト		
M24 x 1.5 メカニズム部分	125 Nm	
スイングアームアダプターとリヤスイングアーム		
M8 x 30	20 Nm	

リヤホイール	数値	有効
調整リングのボルト		
M5 x 16	6 Nm	-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 非装備
ステアリングリンケージとスプリングストラット		
M12 x 75 -10.9 マイクロカプセル加工済	100 Nm	
アジャスティングストラットと固定ボルト		
M6 x 25	8 Nm	

ミラー	数値	有効
フロントキャリアのミラー		
M6、ナットを交換するメカニズム部分	8 Nm	
ミラー固定用カバー		
M6 x 25	3 Nm	

フットレスト	数値	有効
フットレスト調整用ボルト締付け		
M8 x 40 メカニズム部分	20 Nm	-フライス加工部品パッケージ ^{OE} 装備

228 テクニカルデータ

フットレスト	数値	有効
ライダーフットレスト 用固定ボルト		
M8 x 25 メカニズム部分	20 Nm	-フライス加工 部品パッケージ OE 装備
ステップパーツとブ レーキペダル		
M6 x 20 マイクロカプセル加工 済	10 Nm	-フライス加工 部品パッケージ OE 装備
格納式ステップパーツ		
M6 x 16	10 Nm	-フライス加工 部品パッケージ OE 装備

リヤフレームとライセ ンスプレートベース	数値	有効
ライセンスプレート ベースとリヤフレーム		
M5 x 25、カラーなし	2 Nm	

ギヤシフトペダルとシ フトロッド	数値	有効
ギヤシフトペダルのシ フトロッド		
M6 x 20、ボルトを交換 する マイクロカプセル加工 済	8 Nm	

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大 5%エタノール、E5) 98 ROZ/RON 93 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛スーパー(出力および燃費における制約。)(エタノール 10%以下、E10) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエル容量	約 16.5 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
燃費	6.4 l/100 km、WMTC に準拠
CO2 排出	149 g/km、WMTC による
排ガス基準	EU 5

エンジンオイル

エンジンオイル容量	約 4.0 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SJ / JASO MA2、 添加剤(例えばモリブデンベースのもの) は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています
エンジンオイル補充量	max 1.3 l、MIN とMAX 間の差

230 テクニカルデータ

クーラント

クーラント補充量	0.15 l、MIN とMAX 間の差 2.4 l、クーラントサーキット全体 FROSTOX HT-12、クーラント
----------	--

エンジン

エンジン番号位置	右クランクハウジング下部
エンジン型式	A10A10A
エンジン型式	油冷／水冷 4 気筒 4 ストローク 並列エンジン、1 気筒あたり 4 バルブ
排気量	999 cm ³
シリンダーボア	80 mm
ピストンストローク	49.7 mm
圧縮比	13,3:1
最高出力	152 kW、エンジン回転数: 13500 min ⁻¹
最大トルク	113 Nm、エンジン回転数: 11000 min ⁻¹
最高回転数	max 14600 min ⁻¹
アイドル回転数	1270 ^{±50} min ⁻¹ 、エンジンは通常の作動温度

クラッチ

クラッチの仕様	湿式多板クラッチ(アンチホッピング)、自己強化式
---------	--------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式 6 速トランスミッションをエンジンプロックに内蔵
ギヤ比	1.652 (76 : 46 丁)、一次減速比 2.647 (45 : 17 丁)、1 速 2.091 (46 : 22 丁)、2 速 1.727 (38 : 22 丁)、3 速 1.500 (33 : 22 丁)、4 速 1.360 (34 : 25 丁)、5 速 1.261 (29 : 23 丁)、6 速

リヤホイールドライブ

駆動方式	チェーンドライブ
チェーンのたるみ量	45...50 mm、モーターサイクルをサイドスタンドで立てる(無負荷状態)
許容チェーン長	max 144 mm、10 リベットの中央で測定、チェーンは引っ張った状態
リヤホイールドライブ歯数 (ドライブsprocket / ドリブンスprocket)	17 : 45
ファイナルドライブ	2,647

フレーム

フレーム型式	アルミニウムラミネートブリッジフレーム、エンジン一体
型式プレートの位置	ステアリングヘッドの右フロントフレーム
車両識別番号の位置	ステアリングヘッドの右フロントフレーム

232 テクニカルデータ

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立式テレスコピックフォーク (45 mm 径)、スプリングプリロード、リバウンドおよびコンプレッションステージを調整可能
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	倒立式テレスコピックフォーク (45 mm 径)、DDC 電子制御、調整式スプリングプリロード、ショックアブソーバーを電子制御式で個別化可能
スプリングトラベル(フロント)	120 mm、フロントホイールで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	アルミニウム製ダブルスイングアーム
リアサスペンションの構造	コイルスプリング付きセンタースプリングストラット、調整式リバウンド/コンプレッションダンピングおよびスプリングプリロード
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	コイルスプリング付きセンタースプリングストラット、手動調整式スプリングプリロード、電動調整式リバウンド/コンプレッションダンピング
スプリングトラベル(リヤ)	117 mm、リヤホイールで

ブレーキ

フロントホイール

フロントブレーキ型式	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4ピストンブレーキキャ リパー
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4ピストンブレーキキャ リパー
-M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	ダブルディスクブレーキ、直径 320 mm、4ピストンブレーキキャ リパー
フロントブレーキパッドの材質	焼結合金
フロントブレーキディスク厚	4.5 mm、新品時の状態 min 4.0 mm、摩耗限度
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	min 5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
-M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	min 5.0 mm、新品時の状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキ操作の遊び (フロント ブレーキ)	0.6...1.4 mm、ピストン

リヤホイール

リヤブレーキ型式	ディスクブレーキ(220 mm 径)、 1ピストンフローティングキャ リパー
リヤブレーキパッドの材質	有機素材
リヤブレーキディスク厚	5 mm、新品状態 min 4.5 mm、摩耗限度
ブレーキペダルのブローバイク リアランス	2...3 mm、ブレーキペダルとフッ トレストプレートの間

234 テクニカルデータ

ホイールとタイヤ

推奨されるタイヤの組み合わせ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
----------------	--

タイヤ速度カテゴリー(フロント / リヤ)	W、少なくとも下記の値以上が必要: 270 km/h
-----------------------	----------------------------

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	カーボンホイール
-M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	アルミニウム鍛造ホイール
フロントホイールリムサイズ	3.50" x 17"
タイヤサイズ(フロント)	120/70 ZR 17
タイヤ荷重指数(フロント)	min 58
フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

リヤホイール

リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	カーボンホイール
-M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	アルミニウム鍛造ホイール
リヤホイールリムサイズ	6.0" x 17"
タイヤサイズ(リヤ)	190/55 ZR 17
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	200/55 ZR 17
-M 鍛造ホイール ^{OE} 装備	200/55 ZR 17
タイヤ荷重指数(リヤ)	min 75
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 5 g

タイヤ充填圧

タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装系**ヒューズ**

メインヒューズ	40 A、オルタネーターレギュレーター、遮断リレー、BCL、BMS-0、ABS、SAF
クランプ 1	15 A、DWA、OBD、イグニッションスイッチ、メーターパネル
クランプ 2	7.5 A、左コンビネーションスイッチ、RDC コントロールユニット、センサーボックス

バッテリー

バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat : グラスマット吸収式)
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	リチウムイオン
バッテリー電圧	12 V
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	12 V
バッテリー容量	8 Ah
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	5 Ah

スパークプラグ

スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR9FI-10G
-------------------	-----------------

236 テクニカルデータ

ライトバルブ	
ハイビーム用バルブ	LED
ロービームのバルブ	LED
ポジションライト／パーキング ライトバルブ	LED
テールライト／ブレーキライト バルブ	LED
ウインカー用バルブ	LED
ライセンスプレートライト用バ ルブ	LED

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s

寸法

全長	2073 mm、リアホイールを含む
全高	1151 mm、空車時、ミラーを含む 1155 mm、ミラーなしの DIN 空車 重量
全幅	848 mm、ミラー含む 740 mm、組付け部品を含まない
フロントシート高さ	824 mm、ライダー非乗車時、 DIN 空車時
ライダーステップアーチレング ス	1827 mm、ライダー非乗車時、 DIN 空車時

重量

空車重量	197 kg、DIN 空車時、走行可能状態、燃料満載時の 90 %、オプション非装備
-M パッケージ ^{OE} 装備	193.7 kg
-Race パッケージ ^{OE} 装備	195.3 kg
-パッセンジャーパッケージ ^{OE} 装備	197.8 kg
-M カーボンホイール ^{OE} 装備	195.3 kg
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	195.1 kg
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	198.2 kg
許容総重量	407 kg
最大積載荷重	210 kg
-M パッケージ ^{OE} 装備	213.3 kg
-Race パッケージ ^{OE} 装備	211.7 kg
-パッセンジャーパッケージ ^{OE} 装備	209.2 kg
-M パッケージ ^{OE} 装備 -M カーボンホイール ^{OE} 装備 -M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	212 kg
-M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	211.9 kg
-パッセンジャーパッケージ ^{OE} 装備 -M Lightweight 車両バッテリー搭載 ^{OE}	211.2 kg
-Dynamic Damping Control (DDC) ^{OE} 装備	208.8 kg

238 テクニカルデータ

性能

最高速度

>200 km/h

サービス

14

リサイクリング	242
BMW MOTORRAD サービス	243
BMW MOTORRAD サービス履歴	244
BMW MOTORRAD モバイルサービス	244
メンテナンス作業	244
BMW サービス	244
メンテナンススケジュール	246
メンテナンスの確認	247
一般整備記録	259

242 サービス

リサイクリング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは(社) 全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

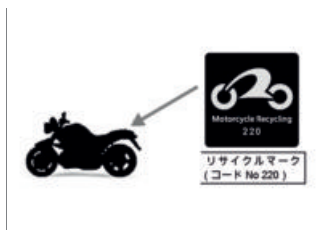
リサイクルマーク(3 cm × 3 cm)が車体(シートの下)に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源

化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、および指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。

尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。

また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問い合わせ

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財)自動車リサイクル促進センター内

- 二輪車リサイクルコールセンター
- 電話番号 03-3598-8075
- 受付時間 9時30分～17時00分
(土日祝日、年末年始等を除く)
- インターネット：
www.jarc.or.jp

BMW MOTORRAD サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 か国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実に行うた

めの技術情報および技術的ノウハウを備えています。

最寄りのBMW Motorrad ディーラーについては、こちらのインターネットサイトをご参照ください：

bmw-motorrad.com



警告

不適切に行われたメンテナンスや修理作業

損傷による事故の危険

- BMW Motorrad では、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを順守することをお勧めします。

実施されているすべてのメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的な整備されていたことが必要条件になります。

244 サービス

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW MOTORRAD サービス履歴

記入項目

実施したメンテナンス作業が整備手帳に記入されます。整備手帳の記入項目は、定期メンテナンスの証明になります。

車両の電子サービス履歴に記入が行われると、サービスに関するデータがドイツ・ミュンヘンにあるBMW AG 本部 IT システムに保存されます。

サービス履歴に記入されたデータは、車両所有者変更後、新しい所有者も見ることができます。BMW Motorrad ディーラーや専門の整備工場もサービス履歴に記載されているデータを見ることができます。

異議申し立て

車両所有者は、車両を所有する間BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に対して、サービス履歴への記入およびそれに関わる車両データの保存および自動車メーカーへのデータ転送に関して異議を申し立てることができます。この場合、車両のサービス履歴の記入が行われなくなります。

BMW MOTORRAD モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます(モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など)。

モビリティサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検

BMW 納車前点検は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検

BMW 初回点検は 500 km～1200 km の間に行います。

BMW サービス

BMW サービスは1年に1度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行した距離に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1年間にかかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前に

サービスを実施する必要があります。その場合には、適合する最大限の走行距離が一般整備記録に追加で記入されます。次回のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合には、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

TFT ディスプレイのサービス表示により、登録日の約1か月前または登録距離の約1000 km前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下をご覧ください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

246 サービス

メンテナンススケジュール

	500-1200 km 300 - 750 mls	10 000 km 6 000 mls	20 000 km 12 000 mls	30 000 km 18 000 mls	40 000 km 24 000 mls	50 000 km 30 000 mls	60 000 km 36 000 mls	70 000 km 42 000 mls	80 000 km 48 000 mls	90 000 km 54 000 mls	100 000 km 60 000 mls	12 months	24 months
1	X												
2												X	
3		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X ^a	
4				X			X			X			
5				X			X			X			
6				X			X			X			
7		X	X	X	X	X	X	X	X	X	X		
8				X			X			X			
9												X ^b	X ^b

- 1 BMW Motorrad 初回点検(オイル交換を含む)
- 2 BMW Motorrad 標準サービス範囲
- 3 エンジンオイルを交換する(フィルター交換時)
- 4 バルブクリアランスを点検する
- 5 バルブタイミングを点検する
- 6 すべてのスパークプラグを交換する
- 7 エアクリーナーエレメントを交換する
- 8 テレスコピックフォークのオイル交換

- 9 システム全体のブレーキフルードを交換する
 - a 1年に1回または10000 kmごと(どちらか先に該当した方)
 - b 初回は1年後、その後は2年ごと

メンテナンスの確認

BMW Motorrad サービス標準範囲

次に、BMW Motorrad サービス標準範囲の作業が挙げられます。車両に該当するサービス範囲は、実際には異なる場合があります。

- BMW Motorrad 診断システムで車両テストを実施する
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検
- ブレーキパッドとフロントブレーキディスクの摩耗点検
- フロントブレーキフルードレベルを点検する
- リアブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗を点検する
- リアブレーキフルードレベルを点検する
- ステアリングヘッドベアリングを点検する
- クーラントレベルを点検する
- クラッチケーブルとクラッチレバーの遊びを点検する
- チェーンドライブを点検し、潤滑する
- タイヤ空気圧およびトレッドの溝の深さを点検する
- カーボンホイールを点検する
- サイドスタンドがスムーズに動くか点検する
- 照明および信号装置を点検する
- エンジン始動抑止機能の機能点検
- 最終点検および走行安全性の点検
- BMW Motorrad 診断システムを用いて、サービス時期および残余走行距離をセットする
- バッテリー充電状態を点検する
- 車載書類に記載されているBMW Motorrad サービスについて確認する

248 サービス

BMW プリデリバリーチェック (PDI)

実施済み

日付 _____

押印、署名

BMW 初回点検

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エンジンオイルおよびフィルターの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアクリーナーエレメント交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォークのオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

250 サービス

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

はい なし

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する(シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換 バルブクリアランスの点検 バルブタイミングを点検する(シリンダーヘッドカバーを取り外した状態) 全スパークプラグ交換 エアクリーナーエレメント交換 テレスコピックフォークのオイル交換 ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エンジンオイルおよびフィルターの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブタイミングを点検する(シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアクリーナーエレメント交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォークのオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

はい なし

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

	はい	なし
BMW Motorrad サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エンジンオイルおよびフィルターの交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブクリアランスの点検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
全スパークプラグ交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エアクリーナーエレメント交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレスコピックフォークのオイル交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意事項

押印、署名

BMW Motorrad サービス

実施済み

日付 _____

距離(km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または最短

距離(km) _____

実施された作業

BMW Motorrad サービス

はい なし

エンジンオイルおよびフィルターの交換

バルブクリアランスの点検

バルブタイミングを点検する (シリンダーヘッドカバーを取り外した状態)

全スパークプラグ交換

エアクリーナーエレメント交換

テレスコピックフォークのオイル交換

ブレーキシステム全体のブレーキフルード交換

注意事項

押印、署名

電子式エンジン始動ロックシステム(イモビライザー) に関する認証

263

TFT メーターパネル用認証

266

Declaration of Conformity

Radio equipment electronic immobiliser (EWS4)

For all countries without EU

Technical information

Frequency Band: 134 kHz
(Transponder: TMS37145 /
Type DST80, TMS3705
Transponder Base Station IC)
Output Power: 50 dB μ V/m

Manufacturer and Address

Manufacturer:
BECOM Electronics GmbH
Address: Technikerstraße 1,
A-7442 Hochstraß

Argentina

 **RAMATEL**

H-25246

Australia/New Zealand



R-NZ

Brunei



TA No: DTA-007061

United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
ER89926/20

DEALER No:
DA96133I20

Philippiens



NTC

Type Approved
No.: ESD-RCE-2023298

South Africa



TA-2020/6131

APPROVED

India

ETA-SD-20200905860

Belarus



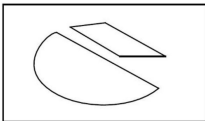
Indonesia

72790/SDPPI/2021
13349



Dilarang melakukan perubahan
Spesifikasi yang dapat
Menimbulkan gangguan fisik
dan/atau elektromagnetik
terhadap lingkungan sekitarnya

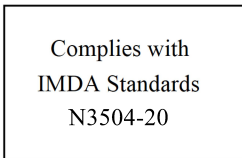
Paraguay



CONATEL

NR: 2020-11-I-0834

Singapore



Taiwan



低功 電波 射性電機管 辦法
第十二條 經型式認證合格之低
功率射頻電機，非經許可，公
司、商號或使用者均不得擅 自變
更頻率、加大功率或變更原設計
之特性及 功能。第十四條 低功
率射頻電機之使用不 得影響飛航
安全及干擾合法通信；經發現有
干 擾現象時，應立即停用，並改
善至無干擾時方 得繼續使用。前
項合法通信，指依電信法規定作
業之無線電 通信。

Malaysia



RFCL/47A/0920/S(20-3358)

Israel

מספר אישור אלחוטני של משרד התקשורת הוא
51-74908
אסור להחליף את האנטנה המקורית של המכשיר
ולא
לעשות בו כל שינוי טכני אחר

United States (USA)

Contains FCC ID:

ODE-MREWS5012

FCC § 15.19 Labelling requirements

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada's licence-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC § 15.21 Information to user

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

RF Exposure Requirements

To comply with FCC RF exposure compliance requirements, the device must be installed to provide a separation distance of at least 20 cm from all persons.

Serbia



P1620118300

Canada

Contains IC:

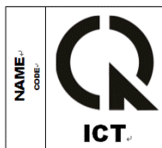
10430A-MREWS5012

This device complies with part 15 of the FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Vietnam



A1109091120AF04A3

Declaration of Conformity

Radio equipment TFT instrument cluster

For all Countries without EU

Technical information

BT operating frq. Range:
2402 – 2480 MHz
BT version: 4.2 (no BTLE)
BT output power: < 4 dBm
WLAN operating frq. Range:
2412 – 2462 MHz
WLAN standards:
IEEE 802.11 b/g/n
WLAN output power: < 20 dBm

Manufacturer and Address

Manufacturer:
Robert Bosch Car Multimedia
GmbH
Address: Robert Bosch Str. 200,
31139 Hildesheim, Germany

Turkey

Robert Bosch Car Multimedia
GmbH, ICC6.5in tipi telsiz
sistemini 2014/53/EU
nolu yönetmeliğe uygun olduğunu
beyan eder. AB Uygunluk
Beyanı'nın tam metni, aşağıdaki
internet adresinden görülebilir:
<http://cert.bosch-carmultimedia.net>

Argentina

 **RAMATEL**

C-24711

Brazil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

Canada

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Korea

적합성평가에 관한 고시
R-CMM-RBR-ICC65IN
상호 : Robert Bosch Car
Multimedia GmbH모델명 :
ICC6.5in
기자재명칭 : 특정소출력 무선기
기
(무선데이터통신시스템용 무선기
기)
제조사 및 제조국가 : Robert
Bosch Car Multimedia GmbH /
포르투갈
제조년월 : 제조년월로 표기
이 기기는 업무용 환경에서 사용
할 목적으로 적합성평가를 받은
기기로서 가정용 환경에
서 사용하는 경우 전파간섭의 우
려가 있습니
다.

Mexico

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Taiwan, Republic of

根據 NCC 低功率電波輻射性電機
管理辦法 規定: 第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電
機, 非經許可, 公司、商號或使用
者均不得擅自變更頻率、加大功率
或變更原設計之特性及功能。
第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛
航安全及干擾合法通信; 經發現有
干擾現象時, 應立即停用, 並改善
至無干擾時方得繼續使用。
前項合法通信,
指依電信法規定作業之無線電通
信。
低功率射頻電機須忍受合法通信或
工業、科學及醫療用電波輻射性電
機設備之干擾。

Thailand

เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์ นี้

มีความสอดคล้องตามข้อกำหนดของ กทช.

(This telecommunication equipments is in compliance with NTC requirements)

United States (USA)

This device complies with Industry Canada's licence-exempt RSSs and part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

270 索引

A

ABS

- 技術情報, 158
- 自己診断, 117
- 表示, 39

B

Bluetooth, 79

- ペアリング, 79

D

DDC

- 技術情報, 161
- キャリブレーションを行う, 108

DTC, 18

- OFFにする, 53
- ONにする, 53
- インジケーター／警告灯, 40
- 技術情報, 162
- 自己診断, 118
- 制御を調整する, 139
- 操作する, 53

DWA, 36

- 仕様(諸元), 236

Dynamic Brake Control, 165

- 技術情報, 165

H

Hill Start Control, 58, 167

- オン/オフ, 59
- 技術情報, 167
- 作動不可, 43
- 操作する, 58
- 表示灯および警告灯, 43

Hill Start Control Pro

- 技術情報, 167
- 操作する, 59
- 調整する, 60

L

Laptimer

- 時間計算を終了する, 133
- 操作する, 133
- タイム計測を開始する, 133
- 調整する, 133

P

Pairing, 79

Pre-Ride-Check, 117

R

RACE PRO, 135

- 環境設定を行う, 136
- 初期設定に戻す, 136

U

USB 充電ソケット

- 車両における位置, 17

あ

アクセサリ

- M Cover Kit, 150
- アクセサリ用コネクター, 210
- 一般的な情報, 210

値

- 表示, 27
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ, 121
- ライディングにあたって, 112

い

イグニッション

- OFFにする, 49
- ONにする, 48

イグニッションキルスイッチ, 19

- 操作する, 50

インジケーター／警告灯, 20

- 全体図, 24

う

ウインカー

操作する, 50

操作部, 18

操作部(右側), 19

ウインドシールド

調整エレメント, 16

え

エアクリナー

車両内の位置, 16

エマージェンシーコール

OFFにする, 135

エンジン, 37

エンジンエレクトロニクス警告
表示, 37

エンジン制御系警告表示, 38

駆動システム故障警告灯, 36

始動, 116

仕様(諸元), 230

駐車, 49

エンジンオイル

充填レベル表示, 16

充填レベルを点検する, 175

仕様(諸元), 229

注入口, 16

補充する, 176

エンジン回転数表示, 20

エンジン回転数表示, 77

エンジン始動ロック

スペアキー, 49

お

お手入れ

クローム, 218

ペイント保護コーティング,
219

オンボードコンピューター, 64

か

型式プレート

車両における位置, 16

き

キー, 48

記号と意味, 4

ギヤチェンジ

シフトポイント用フラッ
シュ, 120

ギヤボックス

仕様(諸元), 231

給油する, 124

燃料品質, 123

く

クーラント

異常高温用警告表示, 36

充填レベルを点検する, 182

仕様(諸元), 230

補充する, 182

駆動システム故障警告灯, 36, 37

クラッチ

遊びを調整する, 181

遊びを点検する, 181

機能を点検する, 180

仕様(諸元), 230

ハンドルレバーを調整する, 93

グリップヒーター

操作する, 63

操作部, 19

クルーズコントロール, 18

操作する, 55

け

警告灯, 20

全体図, 24

警告表示, 37

ABS, 39

DTC, 40

272 索引

- DWA, 36
- Hill Start Control, 43
- My Motorcycle, 82
- エンジンコントロール, 38
- エンジン電装, 37
- ギア未学習, 43
- 駆動システム故障警告灯, 36
- 車両電装システム電圧, 33
- 転倒検知センサー, 38
- 盗難警報装置, 35
- 表示, 27
- フューエルリザーブ容量, 42
- ライトコントロールの故障, 35
- ライトバルブの故障, 34
- 冷却水温, 36
- 警告表示一覧, 29
- こ**
- コンビネーションスイッチ
 - 左側面, 18
 - 右側面, 19
- さ**
- サービス, 243
 - サービス履歴, 244
- サービス表示, 44
- サスペンション
 - 仕様(諸元), 232
- し**
- シート
 - 脱着する, 64
 - ロック, 14
- 始動, 116
 - 操作部, 19
- 始動補助, 199
- シフトアシスト, 119, 166
 - ギア未学習, 43
 - 技術情報, 166
 - 走行, 119
 - シフト表示, 119
 - ONにする／OFFにする, 61
 - 調整する, 61
 - シフトレバー
 - 逆シフトパターン, 153
 - 締め付けトルク, 225
 - 車高
 - 調整する, 14, 107
 - 車両識別番号
 - 車両における位置, 16
 - 車両電装システム電圧
 - 警告表示, 33
 - 重量
 - 仕様(諸元), 237
 - 積載荷重一覧, 14
 - 仕様(諸元)
 - 一般的な情報, 5
 - エンジン, 230
 - エンジンオイル, 229
 - 規格, 5
 - ギヤボックス, 231
 - クーラント, 230
 - クラッチ, 230
 - サスペンション, 232
 - 重量, 237
 - スパークプラグ, 235
 - 寸法, 236
 - 電装系, 235
 - 盗難警報装置, 236
 - 燃料, 229
 - バッテリー, 235
 - ヒューズ, 235
 - ブレーキ, 233
 - フレーム, 231
 - ホイールとタイヤ, 234
 - ライトバルブ, 236
 - リヤホイールドライブ, 231

照明警告

OFFにする, 135

ショックアブソーバー

調整エレメント(フロント), 14

調整エレメント(リヤ), 14

調整する, 101

調整する(DDC非装備), 101

診断コネクタ

固定する, 205

車両における位置, 17

外す, 205

す**スイングアーム**

スイングアームピボットポイントを調整する, 14, 104

ステアリングダンパー

ステアリングダンパー, 14

調整する, 96

ステアリングロック

ロックする, 48

ステータスバー(上側)

調整する, 75, 76

スパークプラグ, 235**スピードメーター, 20****スプリングプリロード**

調整エレメント(フロント), 14

調整エレメント(リヤ), 14, 16

調整する, 97

寸法

仕様(諸元), 236

せ**制限速度情報**

ONまたはOFFにする, 76

全体図

My Motorcycle, 82

TFTディスプレイ, 25, 26

インジケーター/警告灯, 24

運転席シートの下部, 17

左コンビネーションスイッチ, 18

左側面, 14

右コンビネーションスイッチ, 19

右側面, 16

メーターパネル, 20

そ**走行モード**

技術情報, 163

操作部, 19

調整する, 54

装備, 5

それまでで最高のラップ, 134

た**タイヤ**

充填圧, 235

充填圧表, 14

充填圧を点検する, 183

仕様(諸元), 234

トレッドの溝の深さを点検する, 183

慣らし走行, 119

ち**チェーン**

潤滑する, 192

たるみ量を調整する, 193

たるみ量を点検する, 193

摩耗状態を点検する, 194

チェックコントロール

ダイアログ画面, 27

表示, 27

チェックリスト, 115

駐車, 123

274 索引

- つ**
ツールキット
車両における位置, 17
内容, 172
- て**
TFT ディスプレイ, 20
全体図, 25, 26
操作する, 74, 75
操作部, 18
表示を選択する, 71
データ記録
データ記録, 154
電装系
仕様(諸元), 235
転倒検知センサー
表示灯, 38
電話
操作する, 88
- と**
盗難警報装置(DWA)
インジケーター/警告灯, 20
警告表示, 35
操作する, 61
時計
調整する, 78
トラクションコントロール, 162
DTC, 162
トラブルシューティング, 222
- な**
ナビゲーション
操作する, 85
慣らし走行, 118
- に**
荷物
積載に関する注意, 112
- ね**
燃料
給油する, 124
仕様(諸元), 229
燃料品質, 123
- は**
パーキングライト, 51
ハザードランプ
操作する, 50
操作部, 18, 19
バッテリー
車両から外す, 201
車両における位置, 17
車両に接続する, 202
充電, 202
仕様(諸元), 235
取り付ける, 203
取り外す, 203
ボードエレクトリック電源電圧
に関する警告表示, 33
メンテナンスに関する注意, 200
- バルブ**
LED 照明手段を交換する, 195
仕様(諸元), 236
バルブの不具合に関する警告表示, 34
- ひ**
ピットレーンリミッター, 139
最高回転数を設定する, 138
操作する, 139
調整する, 138
- Pure Ride
全体図, 25
- ヒューズ**
交換する, 203
車両における位置, 17
テクニカルデータ, 235

ふ

- フェアリング
 - サイドフェアリングの取り付け, 196
 - サイドフェアリングの取り外し, 195
 - リアセクションカバーを取り付ける, 198
 - リアセクションカバーを取り外す, 196
- フォローミーホームライト, 51
- フェュエルリザーブ容量
 - 警告表示, 42
 - 航続可能距離, 77
- ブレーキ
 - ABS Pro, 160
 - ABS Pro は走行モードに対応, 122
 - 安全に関する注意事項, 121
 - 機能を点検する, 176
 - 仕様(諸元), 233
 - ハンドルレバーを調整する, 92
- ブレーキパッド
 - 慣らし走行, 119
 - フロントを点検する, 177
 - リヤを点検する, 178
- ブレーキフルード
 - フロント充填レベルを点検する, 178
 - フロントリザーバータンク, 16
 - リヤ充填レベルを点検する, 179
 - リヤリザーバータンク, 16
- フレーム
 - 仕様(諸元), 231
- フロントホイールスタンド
 - フロントホイールスタンド, 173

へ

- ヘッドライト
 - 光軸, 92
 - 右側 / 左側走行の設定, 92

ほ

- ホイール
 - サイズ変更, 184
 - 仕様(諸元), 234
 - フロントホイールを取り付ける, 186
 - フロントホイールを取り外す, 184
 - ホイールリムを点検する, 184
 - リヤホイールを取り付ける, 189
 - リヤホイールを取り外す, 188
- ホーン, 18
- 本書の記述について, 6

ま

- マルチコントローラー, 18
- マルチファンクションディスプレイ
 - サーキット走行用表示, 130

み

- ミラー
 - 脱着する, 142
 - 調整する, 92

め

- メンテナンス
 - 一般的な情報, 172
 - メンテナンススケジュール, 246
 - メンテナンススケジュール, 244
 - メンテナンスの確認, 247

276 索引

メーターパネル
周囲輝度センサー, 20
全体図, 20

メディア
操作する, 87

メニュー
呼び出す, 74

も
モーターサイクル
お手入れ, 214
固定する, 126
再使用, 219
清掃する, 214
駐車, 123
長期保管, 219
モビリティサービス, 244

ら
ライセンスプレートベース
脱着する, 145

ライト
操作部, 18
パーキングライト, 51
ハイビームを操作する, 51
パッシングライトを操作する, 51
フォロワーホームライト, 51
ロービーム, 50

り
リアセクションカバー
取り付ける, 198
取り外す, 196
リサイクル, 242
リヤホイールスタンド
取り付ける, 174
リヤホイールドライブ
仕様(諸元), 231

れ
レースサーキット, 135
Launch Control を使用したレーススタート, 137
サーキット走行用表示, 128
サスペンション調整, 141
ピットレーンリミッター, 139

ろ
ローンチコントロール, 135, 136
レーススタート, 137

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリ、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

© 2021 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。
オリジナル取扱説明書、Printed in Germany

燃料補給用データ：

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン(ハイオク) (最大5%エタノール、E5) 98 ROZ/RON 93 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛スーパー(出力および燃費における制約。)(エタノール10%以下、E10) 95 ROZ/RON 90 AKI
フューエル容量	約 16.5 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
タイヤ充填圧	
タイヤ空気圧(フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ空気圧(リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

ご使用の車両に関する詳細情報については、こちらのサイトをご覧ください：
bmw-motorrad.com

